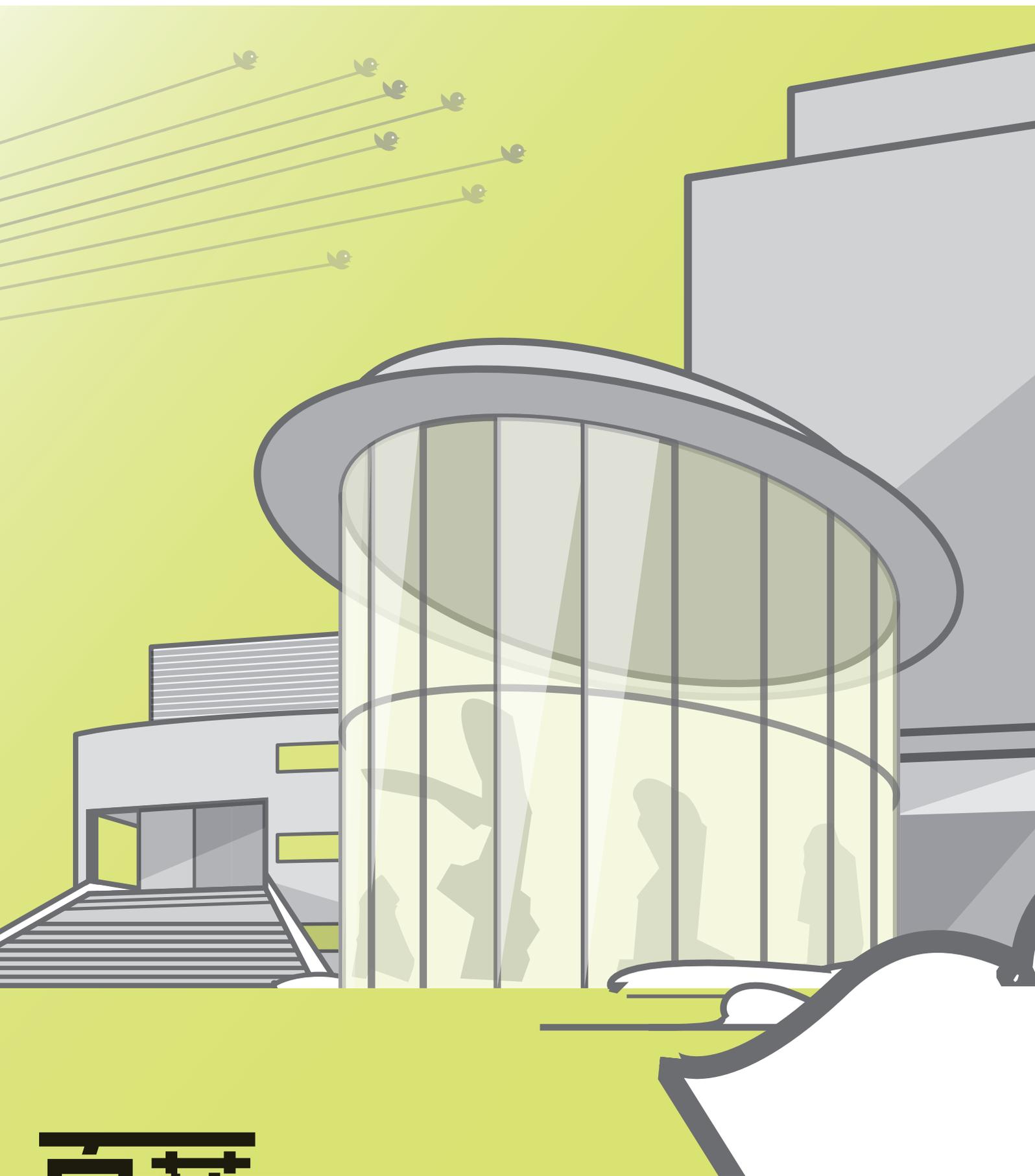


# 2026年度 受験用入試案内



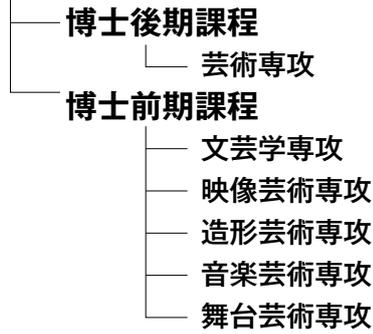
**百藝**

Art Transformation since 1921  
Nihon University College of Art

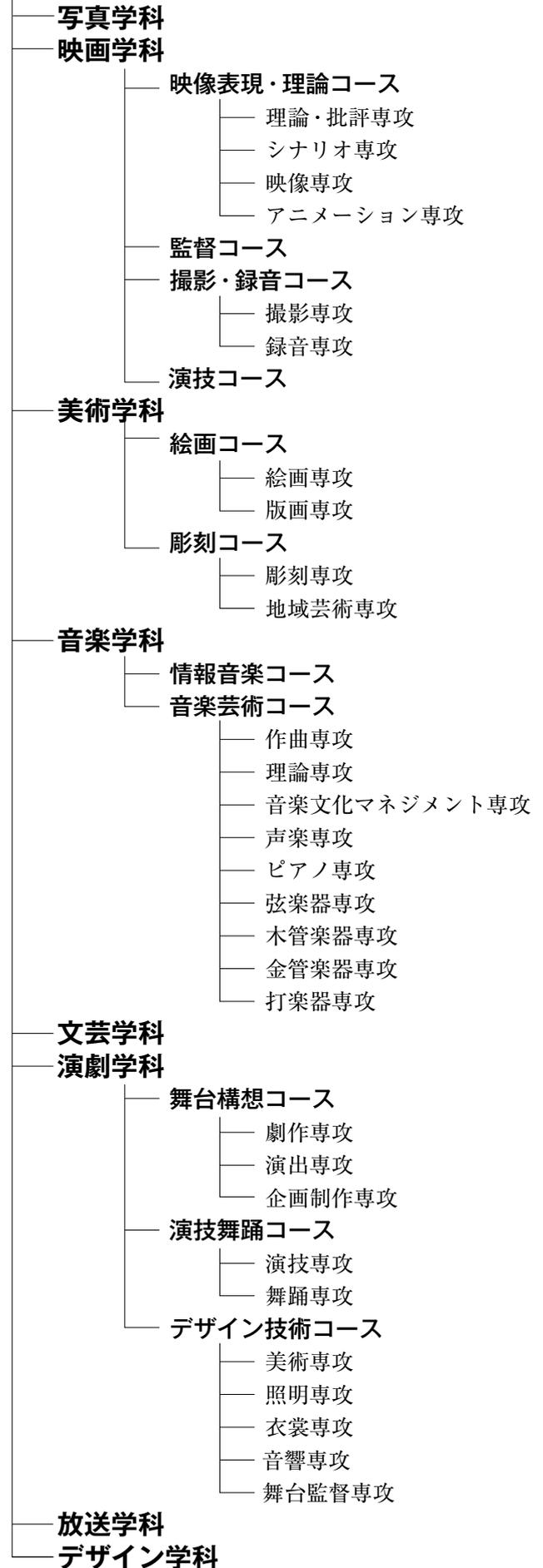
# 日本大学芸術学部

# 日本大学芸術学部教育体系

## 大学院芸術学研究科



## 芸術学部



## 掲載内容について

2025年4月現在の情報を掲載しています。  
今後、内容に変更等が発生した場合には、  
本学部ホームページにてお知らせします。

入学者選抜等に関するお問い合わせは…

- ・入学者選抜に関する質問
- ・学部資料請求
- ・キャンパス見学 (72 ページ参照)

等については、入試係までお願いします。

また、入学者選抜情報等については、ホームページでもご覧いただけます。

# 日本大学芸術学部 2026年度受験用入試案内

## CONTENTS

令和8年度一部学科におけるコース・専攻の変更について	2
入試広報カレンダー	4

### 総合型選抜

2026年度 総合型選抜について	5
2026年度 総合型選抜概要	6
2025年度 総合型選抜結果	10
2025年度 総合型選抜科目(課題)一覧	11

### 学校推薦型選抜(公募制)

2026年度 学校推薦型選抜(公募制)について	16
2026年度 学校推薦型選抜(公募制)概要	17
2025年度 学校推薦型選抜(公募制)結果	20
2025年度 学校推薦型選抜(公募制)課題一覧	21

### 一般選抜

2026年度 一般選抜について	24
2026年度 一般選抜N全学統一方式学力検査型概要	25
2026年度 一般選抜N全学統一方式(第1期)学力検査型概要	26
2025年度 一般選抜N全学統一方式(第1期)学力検査型結果	27
2026年度 一般選抜N全学統一方式(第1期)専門試験併用型概要	28
2026年度 一般選抜N全学統一方式(第1期)専門試験併用型専門試験実施内容	30
2025年度 一般選抜N全学統一方式(第1期)専門試験併用型結果	31
2025年度 一般選抜N全学統一方式(第1期)専門試験併用型小論文・作文課題一覧	32
2025年度 一般選抜N全学統一方式(第1期)専門試験併用型実技科目(課題)一覧	33
2026年度 一般選抜N全学統一方式(第2期)学力検査型概要	36
2025年度 一般選抜N全学統一方式(第2期)結果	37

### 2026年度 その他の入学者選抜

外国人留学生・帰国生選抜、校友枠選抜	38
編入学・転部試験/2025年度 編入学・転部試験結果	39

### 2026年度 音楽学科実技課題曲案内

### 各学科専門試験参考資料

### 学部Q&A

### 学部概要

授業等について	66
入学金・授業料等納入金について	68
入学後のキャリア形成について ~卒業後の「職」を考える~	69
卒業制作等、学生の作品発表を見るには…	70
外部進学相談会について/キャンパス見学について	72
校舎案内	

総合型選抜

学校推薦型選抜

一般選抜

各種選抜等

実技課題曲  
学部Q&A  
専門試験参考資料

学部概要

日本大学芸術学部 入試係

03 - 5995 - 8282

〒176-8525 東京都練馬区旭丘 2-42-1

(事務取扱時間)

月曜日～金曜日 9:00～17:00

土曜日 9:00～12:00

日本大学芸術学部ホームページ  
<http://www.art.nihon-u.ac.jp/>



日本大学ホームページ  
<http://www.nihon-u.ac.jp/>



表紙デザイン

中村 至男 (グラフィックデザイナー・日本大学芸術学部美術学科卒)

# 令和8年度から一部学科でコース・専攻を変更します。

日本大学藝術学部では、芸術総合教育のより一層の充実と芸術・文化全般にわたる広い視野を持った人材の養成を目的とし、学士課程全体を見据えたカリキュラム体系を教育目標に照らしながら系統的に整備することにより、学生の学修満足度を高める事を目標として、令和8年度以降の入学者を対象としたカリキュラム変更及び一部の学科においてコースの改編を行います。

## 音楽学科 2コースに再編、新たに音楽文化マネジメント専攻を新設

令和8年度の学則変更に伴い、「情報音楽コース」と「音楽芸術コース」(作曲, 理論, 音楽文化マネジメント, 声楽, ピアノ, 弦楽器, 木管楽器, 金管楽器, 打楽器)の2コース9専攻にわかれます。

情報音楽コースはデジタル技術を身につけ、これまでにない新たな音楽分野を開拓しています。

音楽芸術コースはバロックから現代まで、様々な時代の音楽芸術を系統的に学習し、それぞれの専攻実技によって自己表現を追求します。作曲ではピアノなどの小品からオーケストラのような大曲、声楽では歌曲やアリア、器楽ではバロックから近現代の作品を個人レッスンにより学びます。理論は音楽を言葉で論じる学習を行います。新たに新設される音楽文化マネジメント専攻では、音楽と文化に関わるプロジェクトを支援し、社会との橋渡しを担う人材の育成を目指します。

ルネッサンス以降、人類は数多くの素晴らしい音楽作品を受け継いでいます。その魅力を現代の手法によって、次の世代へと繋いでいくのが音楽芸術コースのミッションです。

情報音楽  
コース

音楽芸術  
コース

- 作曲専攻
- 理論専攻
- 音楽文化マネジメント専攻**
- 声楽専攻
- ピアノ専攻
- 弦楽器専攻
- 木管楽器専攻
- 金管楽器専攻
- 打楽器専攻

新設

## 映画学科 映像表現・理論コースにアニメーション専攻を新設

映像表現・理論コースでは、2年次より専攻に分かれた授業設計となっています。令和8年度の学則変更に伴い、これまでの理論・批評専攻、シナリオ専攻、映像専攻の3専攻に加えて、新たにアニメーション専攻を設置することになりました。

アニメーション専攻は、手描きアニメーションからデジタル作画表現まで多様な表現技法を学び、映像芸術としてのアニメーションを総合的に探究し、基礎技術の習得から企画・制作・演出までを一貫して学ぶことで、動きと映像表現を両立させたアニメ制作のスキルを身につけます。また、キャラクター造形、動きの表現、空間演出、シナリオ作成に加え、アニメーションの歴史や理論、世界各国の作品から多様なスタイルと技法を探究します。

1年次

2年次以降

全専攻の  
カリキュラム実施

映像表現・理論  
コース

- 理論・批評専攻
- シナリオ専攻
- 映像専攻
- アニメーション専攻**

新設

## 演劇学科 4コースから3コース 10 専攻に変更

演劇学科は、様々な表現方法の確立や社会構造の変化を見据え、高い専門性と専攻横断的な学びが共存するコース再編を行いました。舞台構想コース(劇作, 演出, 企画制作), 演技舞踊コース(演技, 舞踊), デザイン技術コース(美術, 照明, 衣裳, 音響, 舞台監督)という3コース10専攻の中で、学生自身が学びをレイアウトします。各専攻に特化した実習授業を積み上げることも可能ですし、横断的な学びで構成することも可能です。

成果発表として授業内での小発表や劇場を利用した公演、地域社会との連携企画等、学内施設を活用した幅広い成果発表に向き合い、現代社会における舞台芸術の役割について、新しい可能性を拓く人材を養成します。

舞台構想コース

演技舞踊コース

デザイン技術  
コース

- 劇作専攻
- 演出専攻
- 企画制作専攻
- 演技専攻
- 舞踊専攻
- 美術専攻
- 照明専攻
- 衣裳専攻**
- 音響専攻
- 舞台監督専攻

新設

## 試験別 昨年度からの主な変更点

### 【総合型選抜】

音楽学科音楽芸術コース作曲専攻，理論専攻，声楽専攻，弦楽器専攻，木管楽器専攻，金管楽器専攻及び打楽器専攻，演劇学科舞台構想コース，演技舞踊コース及びデザイン技術コースの選考方法をそれぞれ変更します。

### 【学校推薦型選抜（公募制）】

音楽学科音楽芸術コース作曲専攻，理論専攻，声楽専攻，弦楽器専攻，木管楽器専攻，金管楽器専攻及び打楽器専攻，演劇学科舞台構想コース，演技舞踊コース及びデザイン技術コースの選考方法をそれぞれ変更します。

### 【一般選抜N全学統一方式（第1期）学力検査型】

- 美術学科の試験科目を変更し，国語（「現代の国語，言語文化〈漢文を除く〉」）および英語（「英語コミュニケーションⅠ，英語コミュニケーションⅡ，英語コミュニケーションⅢ，論理・表現Ⅰ，論理・表現Ⅱ，論理・表現Ⅲ」）を必須科目とします。
- デザイン学科の試験科目を変更し，国語（「現代の国語，言語文化〈漢文を除く〉」）を必須科目とします。

### 【一般選抜N全学統一方式（第1期）専門試験併用型】

- 音楽学科音楽芸術コース作曲専攻，理論専攻，声楽専攻，弦楽器専攻，木管楽器専攻，金管楽器専攻及び打楽器専攻の試験科目を変更します。
- 演劇学科演技舞踊コースの試験科目を変更します。

### 【一般選抜N全学統一方式（第2期）】

- 美術学科の試験科目を変更し，国語（「現代の国語，言語文化〈漢文を除く〉」）および英語（「英語コミュニケーションⅠ，英語コミュニケーションⅡ，英語コミュニケーションⅢ，論理・表現Ⅰ，論理・表現Ⅱ，論理・表現Ⅲ」）を必須科目とします。

## 日本大学学則及び教育研究上の基礎的な情報について

日本大学学則及び「学部入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）」、「学部教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）」、「学部卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）」等について、芸術学部ホームページにてお知らせしています。

<http://www.art.nihon-u.ac.jp/about/relations/>

※「学則等」については，ホームページ中程に記載があります。



2025	6	6/22(日)	オープンキャンパス	
	7			
	8	8/2(土)・3(日)	オープンキャンパス	
	9			
	10	10/26(日)	総合型選抜	5ページ
	11	11/2(日)・3(月・祝)	日芸祭同時開催・入試相談会	
		11/23(日・祝)	学校推薦型選抜 (公募制・指定校制・付属高等学校等)	16ページ
	12	12/14(日)	校友枠選抜 外国人留学生・帰国生選抜 編入学・転部試験	38ページ
			※外国人留学生選抜デザイン学科のみ12/7(日)に一次試験を実施	
2026	1			
	2	2/1(日)	一般選抜N全学統一方式(第1期) 学力検査型・ 専門試験併用型	25ページ
		2/2(月)～ 2/9(月)の 各学科指定日	一般選抜N全学統一方式(第1期) 専門試験併用型	28ページ
	3	3/4(水)	一般選抜N全学統一方式(第2期) 学力検査型	36ページ
		3/8(日)	春のオープンキャンパス	

こんな方におすすめ (タイプ別入試紹介)

- 日藝が第1希望!
- 早く合格して入学後の学びに備えたい
- 各学科のカリキュラムに興味があり、熱意を伝えたい

→ **総合型選抜** (5ページ～)

- 高校生活でがんばったことを評価してほしい
- アート, エンタメ, 映像, 音楽, 演劇, 文芸などの学びに情熱がある

→ **学校推薦型選抜** (16ページ～)

- 「国語」と「英語」の2科目に自信がある
- 小論文や面接, 身体表現・デッサンなどの専門試験に自信がある

→ **一般選抜N全学統一方式(第1期) 専門試験併用型** (28ページ～)

- 小論文や面接, 身体表現・デッサンなどの専門試験は不安だけど得意な教科がある
- 遠方から首都圏に受験しに行くのは負担だ
- いろいろな学びに興味があり, 日本大学の他学部と併願したい

→ **一般選抜N全学統一方式学力検査型** (25ページ～)

総合型選抜は、芸術各分野における入学後の目的が明確であり、その目的を実現するのに十分な能力を持っていること、さらにその能力を具体的に表現できることを基本的な出願条件として、公募に基づき選抜する試験です。学力検査だけでは判定することができない、「あなた」を具体的に表現できるか、その適性を求める入学者選抜です。



## 総合型選抜の流れ

(期日はすべて2025年となります)

### 【エントリーシートのダウンロード】

もっとも興味・関心を持った学科の所定の「エントリーシート」を本学部ホームページからダウンロードしてください（7月上旬に掲載予定）。



### 【エントリー】

#### ① エントリーシートの提出

受付期間：9月1日（月）～9月3日（水）（簡易書留郵便にて締切日必着）

#### ② 結果通知：9月26日（金）

エントリーシート等の内容により入学試験対象者を決定し、通過の可否にかかわらず全員に通知します。  
なお、通過者には出願書類（「募集要項」等）を同封します。

※エントリーまでは、入学検定料は徴収しません。



### 【入学者選抜】

出願期間：10月1日（水）～10月7日（火）（簡易書留郵便にて締切日必着）

選考日：10月26日（日）

選考方法：学科・コースにより異なります。

入学検定料：35,000円



### 【合格発表】

発表日：11月4日（火）（オンライン合否案内）

(期日はすべて2025年となります)

## 1 募集学科・コース及び募集人員

学 科	コ ー ス	募集人員
写 真		50名
映 画	映像表現・理論, 監督, 撮影・録音, 演技	40名
美 術	絵画, 彫刻	30名
音 楽	情報音楽, 音楽芸術	42名
文 芸		36名
演 劇	舞台構想, 演技舞踊, デザイン技術	42名
放 送		20名
デザイン		23名

※映画, 美術, 音楽, 演劇の各学科を志望する場合は, コースを1つだけ選択してください

※学科・コースの併願はできません

## 2 試験日程

内 容	期 日
エントリーシート 受付期間	9月1日(月)～9月3日(水) (簡易書留郵便に限る・締切日必着)
出願期間	10月1日(水)～10月7日(火) (簡易書留郵便に限る・締切日必着)
選考日	10月26日(日)
合格発表日	11月4日(火) (オンライン合否案内)
入学手続期間	11月4日(火)～12月8日(月) ※入学時納入金は, 入学手続期間内に一括納入となります

## 3 出願資格・出願要件

## &lt;出願資格&gt;

高等学校または中等教育学校等を卒業した者あるいは2026年3月卒業見込みの者、及びそれと同等以上の学力があると認められる者。

## &lt;出願要件&gt;

- ①試験の内容をよく理解した上で、エントリーを経て審査を通過した者。
- ②下表に示した、各学科が求める学生像をよく理解し、かつ本学部(学科)を第一志望とし、合格した場合は本学部(学科)に入学することを確約できる者。

学 科	求める学生像
写 真	次のいずれかに該当する者を求めます a 写真が好きで、積極的に学びたいと考えている者 b 表現を写真でしたい者 c 写真で社会とつながりを持ちたい者 d 写真表現でできることが、まだまだあると思っている者 e 今おきていることを伝えたいと思っている者
映 画	芸術分野に対する豊かな感受性を有し、映像表現分野における創作活動、あるいは映像理論分野における研究活動に対する能力が認められる者を求めます
美 術	芸術領域において創造的・積極的な姿勢を持っている者で次のいずれかの分野に関する能力が認められる者を求めます a 絵画・版画・彫刻における創作活動 b 社会と芸術に関わる創作活動 c 美術に関する理論的研究活動
音 楽	次のaまたはbの要件を満たし、自己をアピールしプレゼンテーションができる者を求めます a 音楽学科各コース・各専攻の教育内容を理解し、考・動・創・力に富み、芸術、とりわけ音楽の素質豊かな潜在能力を有し、創作力、実技演奏力、論文表現力等に秀で、豊かな人間性を感じさせる者 b 音楽活動(オーディション、コンクール、ライブ等)に積極的に参加し、実績をあげた者
文 芸	次のいずれかに該当する者を求めます a 創作、評論を問わず、文芸表現を第一義にめざす者 b 文芸表現分野において顕著な成果をあげている者
演 劇	大学で舞台芸術を学ぶことについて積極的な動機を持ち、次のいずれかに該当する者を求めます a 演劇・舞踊に特別な可能性を見いだす者 b 学力試験的な方法以外で実力をアピールしたい者 c 一回限りの面接ではなく段階的また多面的に自己をアピールしたい者 d 調査書にあらわれない学業的成果をもって自己をアピールしたい者 e その他の、意外なまたは例外的な経歴・個性あるいは「力」をアピールしたい者
放 送	次のいずれかに該当する者を求めます a 放送学科のカリキュラムを理解し、将来アナウンサーを志す者 b 放送学科のカリキュラムを理解し、将来放送分野での活躍を志す者
デザイン	次のいずれかに該当し、自己をアピールしプレゼンテーションができる者を求めます a デザインに関する明確な将来の志望を持っている者 b デザインを通じて社会・文化に貢献したいと考えている者 c デザインを通じて新たなものごとやシステムを考え、論理的な視点から創作することをめざす者 d デザインに関わる新技術に興味を持ち、新たな「表現」や「ものづくり」に関心がある者 e デザインにおいて顕著な成果を上げた者

※出願に先立ち、「エントリーシート」の提出が必要です。

## 4 エントリー

本学部に興味や関心を持っていただいた方は、以下の要領に従ってエントリーをしてください。

### (1) エントリーシートの提出

芸術学部ホームページから「もっとも興味・関心を持った学科」のエントリーシート（学部統一書式）及び宛名シートをダウンロードし、必要事項を記入の上、本学部入試係あてに提出してください（複数学科の提出は不可）。

### (2) エントリーシート受付期間

9月1日(月)～9月3日(水) 簡易書留郵便に限る（締切日必着）

### (3) 提出書類

#### ①エントリーシート（写真1枚貼付）

ここでは、「あなた」が「日藝」で学びたいことをテーマとして、表現していただきます。

#### ②宛名シート

#### ③学科指定の提出物

音楽学科、文芸学科及びデザイン学科については、別途指定の提出物を提出してください（下表参照）。

なお、以下の学科以外でも、学科指定の提出物が課される場合があります。

学 科	学科指定の提出物
音 楽	各種芸術活動を証明する書類の写し
文 芸	文芸表現分野での実績がある者は、各種文芸賞または作文コンクール等の受賞や文芸活動を証明する書類の写し
デザイン	作品ポートフォリオ（A4サイズ以上） ※ポートフォリオは、面接時に返却します。事前課題のプレゼンテーションボードは返却しません。

### (4) 審査及び審査結果通知日

提出されたエントリーシート（学科指定の提出物を含む）をもとに審査を行い、試験対象者を決定します。

審査結果は、9月26日(金)に通過の可否にかかわらず全員に通知を発送します。

## 5 入学者選抜

### (1) 出願期間

10月1日(水)～10月7日(火) 簡易書留郵便に限る（締切日必着）

### (2) 試験会場 芸術学部校舎

### (3) 出願書類

#### ①出願確認票

#### ②出身学校調査書等

※美術学科志願者は、出願後すみやかに、受験する専攻及び画材を選択すること（詳細は「募集要項」で指示します）。

※音楽学科志願者は、受験曲目等を学科サイトより別途入力すること（詳細は「募集要項」で指示します）。

### (4) 出願者に対する課題等

音楽学科音楽芸術コース音楽文化マネジメント専攻以外、**選考日当日持参**となります（詳細についてはエントリー通過者に別途通知します）。

学 科	課 題
写 真	①小論文 ②学科が定める条件を満たす学びのテーマを示すポートフォリオ（A4サイズ） （写真関連分野における実績のある場合は、関連資料〔写し可〕を加えてください） ※45ページの【写真学科】専門試験参考資料を参照
美 術	作品のポートフォリオ（A4サイズ、また彫刻コース地域芸術専攻の志願者は、芸術活動報告をまとめたものでも可） ※作成時の注意事項は、ホームページで公開されているものを参照してください
音 楽	情報音楽コース志願者は、自身が演奏している映像をスマートフォン、タブレット端末、PC等で再生できるよう準備して持参してください（口頭試問で参考にします） 音楽芸術コース作曲専攻志願者は、自作曲の楽譜を3部持参してください（編成・長さは自由、1曲のみとします。返却はしません） 音楽芸術コース理論専攻志願者は、音楽に関するレポートを3部持参してください（書式・長さは自由、手書き、1点のみとします。返却はしません） 音楽芸術コース音楽文化マネジメント専攻志願者は、600字程度の文章を事前に提出してください ※課題等の詳細については、『2026年度音楽学科実技課題曲案内』に従ってください
演 劇	デザイン技術コース志願者は、自分の芸術活動にちなんだポートフォリオ（A4サイズ）
デザイン	事前課題を具体的に表現したプレゼンテーションボード（A2サイズ）2枚 ※エントリー通過者のみに事前課題のテーマを通知します

6 試験科目

学科・コース		科 目	
写 真		①当日持参したポートフォリオに関する口頭試問 ②小論文(事前回答のうえ当日持参) ③面接	
映 画	映像表現・理論コース	①小論文 ②コース別試験 ③面接	
	監督コース	①小論文 ②コース別試験 ③面接	
	撮影・録音コース	①小論文 ②コース別試験 ③面接	
	演技コース	①小論文 ②コース別試験 ③面接	
美 術	絵画コース 絵画専攻	①実技(油彩・アクリル・木炭・鉛筆のいずれかを選択し、静物を描く〔5時間30分〕) ②実技に関するレポート(30分・400字以内) ③面接	
	版画専攻	①実技(デッサン 鉛筆・木炭のいずれかを選択し、静物を描く〔5時間30分〕) ②実技に関するレポート(30分・400字以内) ③面接	
	彫刻コース 彫刻専攻	①実技(デッサン 鉛筆・木炭のいずれかを選択し、モノと空間を描く〔5時間30分〕) ②実技に関するレポート(30分・400字以内) ③面接	
	地域芸術専攻	①小論文(60分・800字以内) ②面接	
※各コースとも、出願後すみやかに受験する専攻及び画材を選択してください(詳細は『募集要項』で指示します)			
音 楽	情報音楽コース	①口頭試問 ②面接	
	音楽芸術コース	作曲専攻	①実技(作曲) ②口頭試問(持参する自作品の審査を含む) ③面接
		理論専攻	①実技(任意の器楽曲の演奏) ②口頭試問(持参する音楽に関するレポートの審査を含む) ③面接
		音楽文化 マネジメント専攻	①実技(グループディスカッション) ②口頭試問(事前課題に対する審査を含む) ③面接
		声楽専攻	①実技(声楽) ③面接
		ピアノ専攻	①実技(ピアノ) ②面接
		弦楽器専攻	①実技(専攻する弦楽器の演奏審査) ②面接
		木管楽器専攻	①実技(専攻する木管楽器の演奏審査) ②面接
		金管楽器専攻	①実技(専攻する金管楽器の演奏審査) ②面接
打楽器専攻	①実技(専攻する打楽器の演奏審査) ②面接		
※課題曲等の詳細については、40~43ページの『2026年度音楽学科実技課題曲案内』に従ってください ※受験曲目等を学科サイトより別途入力してください(詳細は「募集要項」で指示します)			
文 芸		①小論文または作文(180分・3,200字以内) ※辞書持ち込み可(電子辞書不可)。また、学科指定施設内の資料も参照可 ②面接	
演 劇	舞台構想コース	①作文(60分・800字程度) ②実技(グループディスカッション) ③面接	
	演技舞踊コース	①作文(60分・800字程度) ②実技(演技舞踊にかかわるもの) ③面接 ※希望する専攻に応じた格好(稽古着, レオタード, 着物等, シューズ可)で参加してください	
	デザイン技術コース	①作文(60分・800字程度) ②実技(グループディスカッション) ③面接	
放 送		アナウンサー志願者 ①適性をみる課題 ②小論文(80分・800字程度) ③面接 放送分野志願者 ①適性をみる課題 ②作文(60分・600字程度) ③面接	
デザイン		①小論文 ②実技 ③面接(プレゼンテーションを含む)	

学科・コース		項目	募集人員	エントリー者数	試験対象者数	試験志願者数	受験者数 (A)	合格者数 (B)	競争率 (A/B)	2024年度競争率
写真学科			44	111 ( 45)	66 ( 33)	64 ( 32)	63 ( 32)	46 ( 21)	1.4倍	1.7倍
映画学科	映像表現・理論コース	}	38	68 ( 39)	48 ( 33)	46 ( 31)	46 ( 31)	17 ( 12)	2.7倍	2.9倍
	監督コース			64 ( 28)	33 ( 18)	31 ( 17)	31 ( 17)	12 ( 9)	2.6倍	2.9倍
	撮影・録音コース			49 ( 24)	31 ( 19)	31 ( 19)	31 ( 19)	14 ( 11)	2.2倍	1.8倍
	演技コース			66 ( 50)	24 ( 16)	23 ( 15)	23 ( 15)	7 ( 4)	3.3倍	3.2倍
	計		38	247 (141)	136 ( 86)	131 ( 82)	131 ( 82)	50 ( 36)	—	—
美術学科	絵画コース	}	30	49 ( 33)	47 ( 32)	40 ( 28)	38 ( 28)	25 ( 16)	1.5倍	2.9倍
	彫刻コース			7 ( 5)	7 ( 5)	7 ( 5)	7 ( 5)	7 ( 5)	1.0倍	1.8倍
	計		30	56 ( 38)	54 ( 37)	47 ( 33)	45 ( 33)	32 ( 21)	—	—
音楽学科	作曲・理論コース	}	40	12 ( 5)	11 ( 5)	11 ( 5)	11 ( 5)	6 ( 1)	1.8倍	1.4倍
	音楽教育コース			4 ( 3)	2 ( 2)	2 ( 2)	2 ( 2)	1 ( 1)	2.0倍	—
	声楽コース			7 ( 5)	5 ( 4)	5 ( 4)	5 ( 4)	2 ( 1)	2.5倍	1.5倍
	ピアノコース			10 ( 8)	9 ( 7)	9 ( 7)	9 ( 7)	7 ( 5)	1.3倍	1.8倍
	弦管打楽コース			18 ( 15)	13 ( 13)	12 ( 12)	12 ( 12)	9 ( 9)	1.3倍	1.9倍
	情報音楽コース			109 ( 43)	23 ( 17)	23 ( 17)	23 ( 17)	15 ( 13)	1.5倍	1.8倍
計		40	160 ( 79)	63 ( 48)	62 ( 47)	62 ( 47)	40 ( 30)	—	—	
文芸学科			33	78 ( 43)	77 ( 43)	75 ( 42)	74 ( 42)	37 ( 27)	2.0倍	2.8倍
演劇学科	舞台構想コース	}	28	48 ( 39)	21 ( 17)	21 ( 17)	21 ( 17)	7 ( 6)	3.0倍	4.3倍
	演技コース			69 ( 45)	28 ( 20)	26 ( 18)	26 ( 18)	6 ( 4)	4.3倍	5.0倍
	舞台美術コース			29 ( 24)	20 ( 15)	20 ( 15)	20 ( 15)	9 ( 7)	2.2倍	2.4倍
	舞踊コース			22 ( 17)	16 ( 11)	16 ( 11)	16 ( 11)	10 ( 6)	1.6倍	1.9倍
	計		28	168 (125)	85 ( 63)	83 ( 61)	83 ( 61)	32 ( 23)	—	—
放送学科			15	119 ( 84)	54 ( 42)	52 ( 40)	51 ( 39)	15 ( 10)	3.4倍	3.2倍
デザイン学科			23	89 ( 58)	37 ( 28)	37 ( 28)	37 ( 28)	27 ( 22)	1.4倍	1.3倍
合計			251	1,028 (613)	572 (380)	551 (365)	546 (364)	279 (190)	—	—

( )内は女子内数

総合型選抜 科目(課題) 一覧

学科・コース	科目・課題
写 真	<p>①事前小論文課題(選考日当日持参) 1978年にThe Museum of Modern ArtでJohn Szarkowskiの企画により「Mirrors and Windows」という写真展が開催されました。鏡派とは写真を自己表現の手段としてとらえた写真で、窓派とは社会を含む外の世界に目を向けた写真ということです。 21世紀に撮られた写真の中から鏡派と窓派と考えられる写真を探し、それぞれその理由と作品の感想を述べてください。(1,000字程度)</p> <p>②学科が定める条件を満たす学びのテーマを示すポートフォリオ(選考日当日持参) 「探究活動, 生徒会・委員会, 学校行事, 部活動, 学校以外の活動, 留学・海外経験, 表彰・顕彰, 資格・検定」の8項目から、自身の学びのテーマに関連する項目を選択し、あなた自身をプレゼンテーションできるポートフォリオを制作してください。また、写真作品や写真関連の業績がある場合には前述頁以降に加えてください。 ポートフォリオはA4サイズのポケットファイル(20ポケット・40頁以内)とする。</p> <p>③作品ポートフォリオ(選考日当日持参) A4サイズのポケットファイルを使用し10枚以上の写真で構成している形式、もしくは市販のフォトブックサービスの利用も可。フォトブックの場合もA4サイズ程度が好ましい。</p> <p>④当日持参したポートフォリオに関する口頭試問</p> <p>⑤面 接</p>
全コース	<p>①小論文(60分・600字) 次の文章を読んで、自由な観点から論じてください。 ※千葉雅也「センスの哲学」文藝春秋, 2024年, 202~204ページ</p> <p>②面 接</p>
映像表現・理論	<p>記述試験(80分・800字) 作品を鑑賞し、あなたの考えを自由に述べなさい。 ※月岡貞夫「玉座」1977年</p>
監 督	<p>記述試験(90分・1,000字) 責任と謎を題材に用いて物語を作りなさい。</p>
撮影・録音	<p>記述試験(80分・800字) 映画のファーストカットとして、別紙にある8枚の画像から1枚だけ選んでください。 このファーストカットに続くストーリーはどんなものですか?理由を含めて論じてください。 なお、選ばなかった残りの7枚の画像は使用しないものとします。 ※平成28・29・30年度 卒業制作作品</p>
映 画	<p>実 技</p> <p>発声1 次の内容をはっきりと述べてください。 受験番号( )番,( 氏名 )です。出身は( 都道府県名 )で、学校は( 学校名 ) 高校を卒業する予定です。年齢は,( )歳です。</p> <p>発声2 次の文章を朗読してください。 ※「王道貫いた『SHOGUN』」日本経済新聞記事より抜粋, 2024年9月18日</p> <p>動作 次の内容をしぐさのみで表現してください。 〔設定〕部活が終わって帰宅する途中にゲリラ豪雨に遭った。なんとか家まで辿り着いたが、傘を持っていなかったのでびしょ濡れだ。</p> <p>演技</p> <p>カバンの中から鍵を探し出し、ドアを開け家に入る。 シャワーを浴びようと浴室へ向かう。 浴室の電気を点け、タオルを準備しようとするので電気が消えた。 電気スイッチをもう一度押してみるが点かない。 暗がりの中を手探りでタオルを探し出す。 停電か、と窓外を確認するが外の様子はここからは伺えない。 手探りでリビングに向かおうとすると、何かに躓いた。 咄嗟に壁に手を付き、倒れるのを免れた。 玄関のチャイムが鳴る。 両親も外出から帰ってきたようだ。鍵を開けるために玄関へと向かう。 (そのまま退出してください)</p>

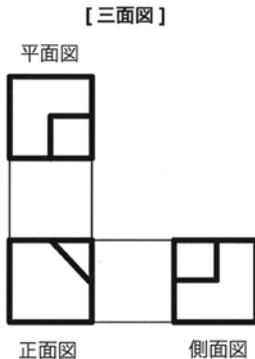
学科・コース	科目・課題														
全コース	<p>①<b>作品のポートフォリオ</b> (選考日当日持参)                      これまでに自ら制作した各専門領域に関する作品や活動等をファイルにまとめた「ポートフォリオ」を選考日当日に持参してください。                      ※ポートフォリオの持参については、美術学科各コース・各専攻のいずれを受験する場合にも共通です。                      ※彫刻コース地域芸術専攻においては、活動が多岐にわたるため、美術全般・地域芸術全般・課外活動・ボランティア活動・学校での委員会等、自らの活動報告をまとめたものでも可。</p> <p>○ポートフォリオの形式について                      ・市販のクリアファイル (A4サイズ) 1冊にまとめること。                      ・ページ数、添付作品写真の枚数は自由とする。                      ・ファイルの1ページ目に、必ず以下の項目を記入した表紙を入れること。                      受験コース (絵画コース/彫刻コース)                      受験専攻 (絵画専攻/版画専攻/彫刻専攻/地域芸術専攻)                      受験番号 (オンライン受験票に記載されている受験番号)                      氏名</p> <p>○ポートフォリオの返却について                      実技試験中、ポートフォリオ等を参考に順次面接を行い、面接終了後、ポートフォリオは各自に返却します。</p> <p>②<b>面接</b></p>														
美術 絵画 (絵画専攻)	<p>①<b>実技</b> (5時間30分)                      油彩・アクリル・木炭・鉛筆のいずれかを選択し、静物を描く。                      &lt;キャンバスはF15号、木炭選択者は木炭紙65cm×50cm、鉛筆選択者は画用紙60cm×50cm&gt;</p> <p><b>[モチーフ]</b></p> <table border="0"> <tr><td>水差し</td><td>×1</td></tr> <tr><td>瓶</td><td>×1</td></tr> <tr><td>レモン</td><td>×1</td></tr> <tr><td>深皿</td><td>×1</td></tr> <tr><td>赤りんご</td><td>×1</td></tr> <tr><td>青りんご</td><td>×1</td></tr> <tr><td>布</td><td>×2</td></tr> </table> <p>②<b>実技に関するレポート</b> (30分・400字以内)</p>	水差し	×1	瓶	×1	レモン	×1	深皿	×1	赤りんご	×1	青りんご	×1	布	×2
水差し	×1														
瓶	×1														
レモン	×1														
深皿	×1														
赤りんご	×1														
青りんご	×1														
布	×2														
美術 絵画 (版画専攻)	<p>①<b>実技</b> (5時間30分)                      デッサン 鉛筆・木炭のいずれかを選択し、静物を描く。                      &lt;画用紙または木炭紙65cm×50cm&gt;</p> <p><b>[モチーフ]</b></p> <table border="0"> <tr><td>籠</td><td>×1</td></tr> <tr><td>瓶</td><td>×1</td></tr> <tr><td>かぼちゃ</td><td>×1</td></tr> <tr><td>布</td><td>×1</td></tr> </table> <p>②<b>実技に関するレポート</b> (30分・400字以内)</p>	籠	×1	瓶	×1	かぼちゃ	×1	布	×1						
籠	×1														
瓶	×1														
かぼちゃ	×1														
布	×1														
彫刻 (彫刻専攻)	<p>①<b>実技</b> (5時間30分)                      デッサン 鉛筆・木炭のいずれかを選択し、モノと空間を描く。                      &lt;画用紙または木炭紙65cm×50cm&gt;</p> <p><b>[モチーフ]</b></p> <table border="0"> <tr><td>栗の木</td><td>×3</td></tr> </table> <p>②<b>実技に関するレポート</b> (30分・400字以内)</p>	栗の木	×3												
栗の木	×3														
彫刻 (地域芸術専攻)	<p><b>小論文</b> (60分・800字以内)                      日本国内、国外に限らず、あなたの考える地域をあげ、その場で行われる芸術祭やイベントなどを行う場合において、下記にある言葉の中から2つ以上を用いて、必要な問題点を述べてください。                      地域 里山 集落 高齢化 少子化 過疎 伝統 SNS 若者 都市 アート 継続                      学校 SDGs 災害 ガイドツアー オーバーツーリズム 自然環境 多様性 五感</p>														



学科・コース		科目・課題
音 楽	作曲・理論	<p>作曲 ①実 技</p> <p>(1)当日持参した自作品の審査及び口頭試問 自作曲の楽譜(編成・長さは自由, 1曲)を当日提出</p> <p>(2)作曲(80分) 与えられた旋律を冒頭におき, フルーツ独奏(ピアノ伴奏なし)のための小品を作りなさい。</p> <p>②面 接</p> <p>理論 ①実 技</p> <p>(1)当日持参した音楽に関するレポートの審査及び口頭試問 音楽に関するレポート(書式・長さは自由, 手書きに限る, 1点)を当日提出</p> <p>(2)実技(演奏) 楽器もしくは歌の楽曲, 1曲の演奏。音楽のジャンル, 楽器の種類, 選曲は自由。</p> <p>②面 接</p>
	音楽教育	<p>①小論文(60分・800字程度) 次のテーマから1つを選び800字程度の小論文を書きなさい。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 中学校または高校の音楽の授業でインターネットや電子教材を活用することについて</li> <li>2. 学校と地域社会をつなぐための音楽活動について</li> <li>3. 多様化する現代社会において学校の音楽教育で教えるべきことについて</li> </ol> <p>②実 技 ピアノ</p> <p>③面 接</p>
	声 楽	<p>①実 技 声乐(声楽曲)<sup>(※)</sup> (※)『2025年度音楽学科実技課題曲案内』のそれぞれの課題曲の中から曲目を選択</p> <p>②面 接</p>
	ピアノ	<p>①実 技 ピアノ</p> <p>(1)練習曲または J. S. Bach 平均律ピアノ曲集<sup>(※)</sup></p> <p>(2)ソナタ<sup>(※)</sup></p> <p>(※)『2025年度音楽学科実技課題曲案内』のそれぞれの課題曲の中から曲目を選択</p> <p>②面 接</p>
	弦管打楽	<p>①実 技 それぞれの専攻する弦楽器, 管楽器または打楽器 任意の楽曲または練習曲(自分の能力を最大限アピールできる楽曲を選曲のこと)</p> <p>②面 接</p>
	情報音楽	<p>①口頭試問 持参した演奏映像に対する口頭試問</p> <p>②面 接</p>
文 芸	<p>①小論文または作文(180分・3,200字以内) 次の二つのうち一つを選んで文章を書いてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1)「思い出せない人」が登場する話を作文してください。</li> <li>(2)「生成系 AI と表現」について自由に論じてください。</li> </ol> <p>②面 接</p>	
演 劇	全コース	<p>①作 文(60分・800字程度) 「他人の感情」をタイトルとし, あなたの思うことや物語を自由に作文してください。</p> <p>②面 接</p>

学科・コース		科目・課題
演 劇	舞台構想	<b>実 技(グループディスカッション)</b> (60分) これから発表するテーマについて、皆で自由にディスカッションしてください。 テーマを変えて2回行います。1回30分です。 1. 「芸術が社会に果たす役割」(30分) 2. 「見て見ぬふり」(30分)
	演 技	<b>実 技</b> (セリフ及び身体表現に関する適性試験) <b>事前課題</b> 「ピーター」と「ジェリー」両方の台詞を覚えて選抜に臨んで下さい。 <b>問 題</b> 課題戯曲を演じてください。「ピーター」と「ジェリー」両方の役を順番に演じます。 ※エドワード・オールビー著、鳴海四郎訳「動物園物語」『エドワード・オールビー I 動物園物語 / ヴァージニア・ウルフなんかこわくない』早川書房、2006年、10～12ページ
	舞台美術	① <b>事前課題</b> (選考日当日持参) 自分の芸術活動にちなんだポートフォリオ (A4サイズ) ② <b>実 技(グループディスカッション)</b> (60分) これから発表するテーマについて、皆で自由にディスカッションしてください。 テーマを変えて2回行います。1回30分です。 1. 「演劇鑑賞とスポーツ観戦の違い」(30分) 2. 「時間とお金」(30分)
	舞 踊 (日舞)	<b>実 技</b> 日本舞踊曲または日本の伝統舞踊(郷土芸能を含む)を一曲自己選択し、実演してください。
	舞 踊 (洋舞)	<b>実 技</b> ① <b>基本運動</b> ストレッチ、ウォーミングアップ ムーブメント(モダンダンス・テクニク) ② <b>イメージによる動き(インプロヴィゼーション)</b> 題「圧力」 ◆課題に従いイメージのダンス化(動きのデザイン) 10分(全員) ◆デザインした課題のダンス表現 2分(1人) ◆発想の説明 約1分(1人)
放 送	<b>【A アナウンサー志願者】</b> ① <b>適性をみる課題</b> テレビスタジオで音声・カメラテストを行う。 2分程度の自己紹介を考え、指定の原稿を読む。 ※「編集手帳」読売新聞日刊、2024年10月12日記事より抜粋、読売新聞東京本社 ② <b>小論文</b> (80分・800字) 気象庁は9月2日、今年の夏(6月～8月)の全国の平均気温は平年と比べ1.76度高く、これまで最高だった昨年と並び、統計のある1898年以降で最も暑かったと発表した。この未曾有の暑さは東京大学や気象庁気象研究所などの解析で地球温暖化によってもたらされたと考えられている。地球温暖化は私たちの生活にどのような影響を与えるかを論述しなさい。 ③ <b>面 接</b> <b>【B 放送分野志願者】</b> ① <b>適性をみる課題</b> 文化庁が行った令和5年度「国語に関する世論調査」で、「1ヶ月に本を1冊も読まない人」は回答者の6割を超えるという結果が出た。このことについて、現代人の読書量と本を読まなくなった理由を40分間ディスカッションし、その後、20分間で「多くの人に本を読みたくさせる仕掛け」を各自考え、用紙にまとめる。 ※「令和5年度『国語に関する世論調査』の結果の概要」(文部科学省) ( <a href="https://www.bunka.go.jp/koho_hodo_oshirase/hodohappyo/94111701.html">https://www.bunka.go.jp/koho_hodo_oshirase/hodohappyo/94111701.html</a> )より抜粋、2024年9月17日、23ページ ② <b>作 文</b> (60分・600字) 「いくらなんでも」 ③ <b>面 接</b>	

学科・コース	科目・課題
デザイン	<p>①事前課題 (選考日当日持参)</p> <p>事前にホームページ上で公開された事前課題を具体的に表現したプレゼンテーションボード (A2サイズ) 2枚 (面接時に使用します)</p> <p>「AI (人工知能) が社会に及ぼす影響とその活用法についてあなたが考えるデザイン提案をしてください」</p> <p>[注意点]</p> <p>A2サイズのボード1~2枚に完成させて当日持ってきてください。</p> <p>ケントボードに直接描くか別の紙に描いたものをボードに貼っても構いません。</p> <p>回答作品ですので折ったり丸めたりしないでください。</p> <p>本課題は返却しません。</p> <p>裏面の右下に名前 (フルネーム) を記載してください。</p> <p>②小論文 (120分・1,000字)</p> <p>気候温暖化やその他の諸々の原因により、鳥獣の生息域が変化してきて私たちの社会生活にも影響を及ぼしています。鳥獣の中でも特にシカは繁殖力が高く、被害が全国に拡大し、山間地の環境破壊のみならず都市部にまで深刻化してきています。</p> <p>これらの問題に関する以下の資料を読み解き、問題の背景と被害の実態を整理分析し、考えられ得る具体的な対策を論じたうえで、デザイン的な発想でどのような問題解決ができるのか自論を述べてください。</p> <p>添付資料：</p> <p>(1) NHK NEWS WEB - 特集「伊吹山に迫る危機」百名山の伊吹山で繰り返される土砂災害 その原因は…? ※NHK NEWS WEB記事より抜粋, 2024年10月3日</p> <p>(2) 高知県ホームページ - 「ニホンジカの生態と被害対策について」 ※高知県ホームページより抜粋, 2024年1月31日</p> <p>(3) 環境省 - 「いま、獲らなければならない理由—共に生きるために—」 ※環境省ホームページ</p> <p>(4) 新聞報道 - 土砂崩れを起こしたのは「シカ」だった 伊吹山麓で起きた災害が「東京は関係ない」では済ませられない事情 ※東京新聞オンライン記事より抜粋, 2024年7月31日</p> <p>③実技</p> <p>ドローイング (4時間)</p> <p>「三面図を読み解き、立体として手に持った様子を想像し描きなさい。 立体の素材は柔らかく、その程度は (手に持った際に多少歪むほど) と設定する」</p> <p>〈B3画用紙〉</p> <p>※立方体の1辺が約15センチと想定すること</p> <p>右記の三面図を読み解き、想定した立方体を手とともに描き込み、画用紙に鉛筆でデッサンしてください。構図、背景は自由に設定してください。</p> <p>・はかり棒は使用してもよい</p> <p>④面接 (プレゼンテーション含む)</p>



※上記は、昨年度試験内容であるため、2026年度実施の試験内容では科目が変更となっている場合があります。  
 ※著作物に該当するため原文等は掲載いたしません。

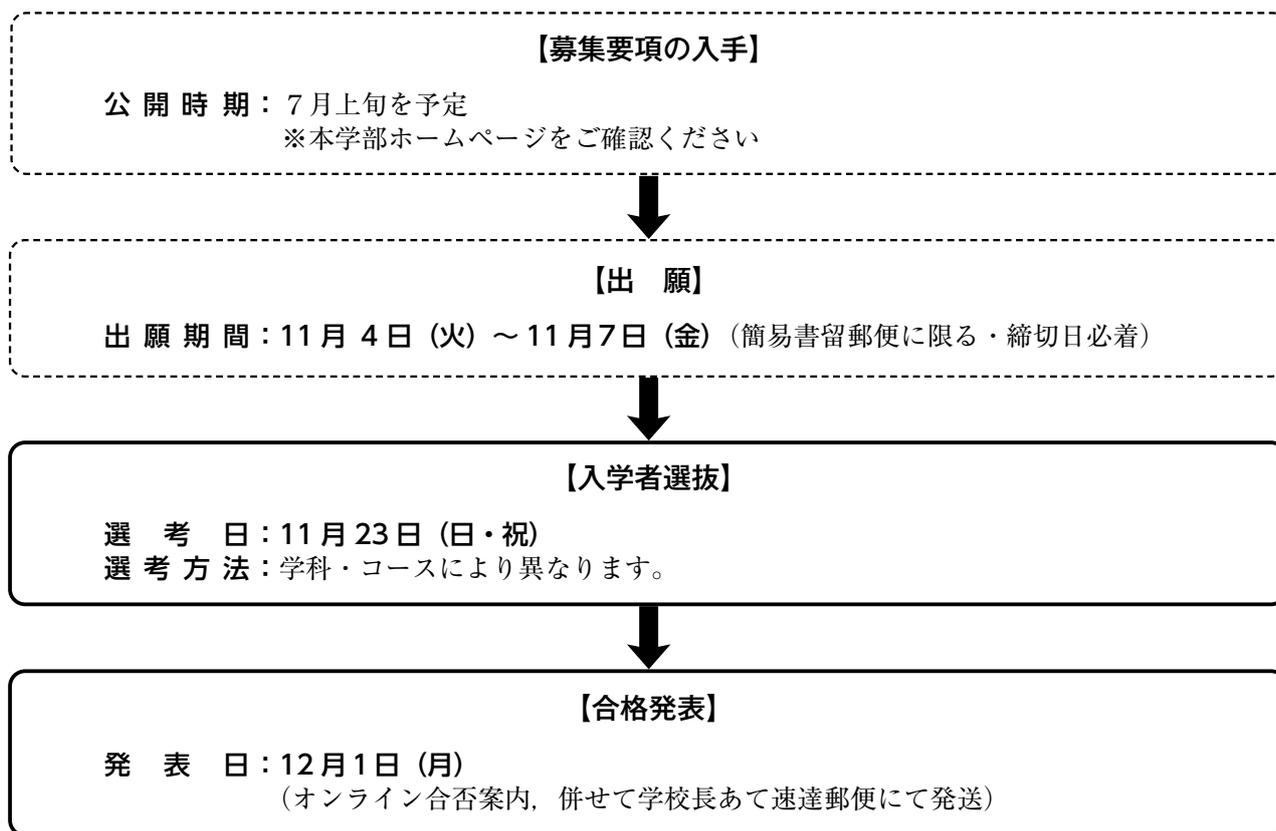
**全国から意欲ある受験生を求めます！**

学校推薦型選抜（公募制）は、学校推薦型選抜（指定校制）とは異なり、広く全国の高等学校あるいは中等教育学校等の現役生を対象にした推薦入学試験です。

皆さんの学力は、出身学校の調査書をもとに判断し、小論文、作文、面接、実技等の学科別試験によって適性を判定します。

**学校推薦型選抜（公募制）の流れ**

（期日はすべて2025年となります）

**学校推薦型選抜（指定校制）について**

試験日等については公募制と同様ですが、指定校については、高等学校経由でお知らせします。

## 1 募集方法

（期日はすべて2025年となります）

公募制

## 2 募集学科・コース及び募集人員

学 科	コ ー ス	募集人員
写 真		17名
映 画	映像表現・理論, 監督, 撮影・録音, 演技	22名
美 術	絵画, 彫刻	5名
音 楽	情報音楽, 音楽芸術	5名
文 芸		20名
演 劇	舞台構想, 演技舞踊, デザイン技術	28名
放 送		5名
デザイン		20名

※ 映画, 美術, 音楽, 演劇の各学科を志望する場合は, コースを1つだけ選択してください

※ 学科・コースの併願はできません。

## 3 試験日程

内 容	期 日
出願期間及び方法	11月4日(火)~11月7日(金) (簡易書留郵便に限る・締切日必着)
選 考 日	11月23日(日・祝)
合 格 発 表 日	12月1日(月)(オンライン合否案内, 併せて学校長あて速達郵便にて発送)
入 学 手 続 期 間	12月1日(月)~12月12日(金) ※入学時納入金は, 入学手続期間内に一括納入となります

※ 出願方法, 提出書類等の詳細は「募集要項」を確認してください

## 4 出願資格・出願要件

① 学業・人物が優秀で, 高等学校または中等教育学校等を2026年3月卒業見込みの者。

ただし, 本学付属高等学校等(26校)に在学の者は除きます。

② それぞれの分野に対する強い情熱を有し, 芸術的資質に恵まれていて, 将来性のある者。かつ本学部(学科)を第一志望とし, 合格した場合は本学部(学科)に入学することを確約できる者。

③ 下記の学科で定めた資格を有する者

学 科	学科別の詳細
写 真	下記のAからCのいずれかの条件を満たす者 A 全体の学習成績の状況が3.0以上の者 B 「全国高等学校総合文化祭写真部門」に出展し, 高等学校文化連盟全国写真専門部の推薦書があり, 全体の学習成績の状況が2.7以上の者 C 全国高等学校写真選手権大会「写真甲子園」ブロック予選に出場した選手で, 全国高等学校写真選手権大会「写真甲子園」(東川町写真の町課)の推薦書があり, 全体の学習成績の状況が2.7以上の者
映 画	全体の学習成績の状況が3.5以上の者。
美 術	下記のAまたはBの条件を満たす者。 A 美術・デザイン・造形に関する専門科目を24単位以上修得見込みの者で, 全体の学習成績の状況が3.0以上の者。 B 全体の学習成績の状況が3.5以上の者。
音 楽	下記のAまたはBの条件を満たす者。 A 学校長が認めた音楽活動を行い, 全体の学習成績の状況が4.0以上の者。 B 音楽の単位を6単位以上修得見込みの者で, 全体の学習成績の状況が3.5以上の者。
文 芸	全体の学習成績の状況が3.8以上の者。
演 劇	全体の学習成績の状況が3.5以上の者。
放 送	全体の学習成績の状況が3.8以上の者。
デザイン	全体の学習成績の状況が3.5以上の者。

## 5 推薦者

在学する高等(中等教育)学校長

## 6 試験科目

学科・コース		科 目
写 真		①書類選考 ②小論文(60分・800~1,000字) ③面接
映 画	映像表現・理論コース	①書類選考 ②小論文(100分・1,000字程度) ③面接
	監督コース	①書類選考 ②小論文(100分・1,000字程度) ③面接
	撮影・録音コース	①書類選考 ②小論文(100分・1,000字程度) ③面接
	演技コース	①書類選考 ②実技(基礎的な音声及び身体表現) ③面接 ※服装については、動きやすい普段着とします
美 術	絵画コース	①書類選考 ②実技(油彩・アクリル・木炭・鉛筆のいずれかを選択し、静物を描く〔6時間〕) ③面接
	版画専攻	①書類選考 ②実技(デッサン 鉛筆・木炭のいずれかを選択し、静物を描く〔6時間〕) ③面接
	彫刻専攻	①書類選考 ②実技(デッサン 鉛筆・木炭のいずれかを選択し、モノと空間を描く〔6時間〕) ③面接
	地域芸術専攻	①書類選考 ②小論文(60分・800字以内) ③面接
<p>※各コースとも、出願後すみやかに受験する専攻及び画材を選択してください(詳細は『募集要項』で指示します)</p> <p>※実技については、出願時に選択した描画材料を持参してください</p> <p>※キャンバス(F15号)、画用紙または木炭紙、カルトン、イーゼル、クリップは大学で用意します</p> <p>※木炭紙の下敷きの用意はありません</p>		
音 楽	情報音楽コース	①書類選考 ②口頭試問 ③面接
	作曲専攻	①書類選考 ②実技((1)作曲 (2)任意の器楽曲の演奏) ③面接
	理論専攻	①書類選考 ②実技(任意の器楽曲の演奏) ③小論文(80分・1,000字程度) ④面接
	音楽文化 マネジメント専攻	①書類選考 ②実技(グループディスカッション) ③口頭試問(事前課題に対する審査を含む) ④面接
	声楽専攻	①書類選考 ②実技(声楽) ③面接
	ピアノ専攻	①書類選考 ②実技(ピアノ) ③面接
	弦楽器専攻	①書類選考 ②実技(専攻する弦楽器の演奏審査) ③面接
	木管楽器専攻	①書類選考 ②実技(専攻する木管楽器の演奏審査) ③面接
	金管楽器専攻	①書類選考 ②実技(専攻する金管楽器の演奏審査) ③面接
	打楽器専攻	①書類選考 ②実技(専攻する打楽器の演奏審査) ③面接
<p>※課題曲等の詳細については、40~43ページ『2026年度音楽学科実技課題曲案内』に従ってください。</p> <p>※受験曲目等を学科サイトより別途入力してください。詳細は『募集要項』で指示します。</p>		
文 芸		①書類選考 ②小論文または作文(60分・800字以内) ③面接
演 劇	舞台構想コース	①書類選考 ②作文(60分・600字) ③面接
	演技舞踊コース	①書類選考 ②実技((1)身体を使ったウォーミングアップ (2)台詞, ダンス, 舞踊のいずれかを用いた自由表現(3分程度)) ③面接 ※希望する専攻に応じた格好(稽古着, レオタード, 着物等, シューズ可)で参加してください
	デザイン技術コース	①書類選考 ②口頭試問(これまでの創作活動について) ③面接
放 送		①書類選考 ②小論文(80分・800字程度) ③面接
デザイン		①書類選考 ②実技 鉛筆によるデッサン(4時間)またはデザインプレゼンテーション(4時間)のいずれかを選択 ※実技試験科目のいずれかを事前に選択する必要がありますので募集要項内で指定されたWebサイトより別途入力してください(詳細は『募集要項』で指示します) ※選択にかかわらず、デッサン用鉛筆、クリップ、消しゴム(練ゴム)、カッターナイフ等を持参してください(デッサン及びデザインプレゼンテーションとも定規やコンパスの使用は不可) ※デッサン用具以外に使用する道具については大学で用意します ③面接

7 試験会場

芸術学部校舎

8 出願者に対する課題等

写真学科、音楽学科情報音楽コース及び音楽芸術コース音楽文化マネジメント専攻、演劇学科デザイン技術コース及びデザイン学科志願者は、面接試験の参考資料とするため、自作作品等を出願時に提出あるいは選考日当日に持参してください。（下表参照）

学 科	持 参 作 品 等
写 真	学科が定める条件を満たす学びのテーマを示すポートフォリオ（A4サイズ） （写真関連分野における実績のある場合は、関連資料〔写し可〕を加えてください） ※45ページの【写真学科】専門試験参考資料を参照
音 楽	情報音楽コース志願者は、自身が演奏している映像をスマートフォン、タブレット端末、PC等で再生できるように準備して持参してください（口頭試問で参考にします） 音楽芸術コース音楽文化マネジメント専攻志願者は、600字程度の文章を事前に提出してください ※課題等の詳細については、『2026年度音楽学科実技課題曲案内』に従ってください
演 劇	デザイン技術コース志願者は、自分の芸術活動にちなんだポートフォリオ（A4サイズ）
デザイン	自作作品5点。 なお、映像作品についてはタブレット端末またはノートPC持参での発表は可とします

※持参作品等については、面接試験終了後に返却します。

9 募集要項

募集要項は7月上旬より公開予定です。詳細については、本学部ホームページにて確認してください。

10 出願資格確認等のための提出物

写真学科志願者のうちBまたはCの条件で出願する者は、出願資格の確認及び面接の参考とするため指定された推薦書を提出してください。また、音楽学科志願者のうちAの条件で出願する者は、出願資格の確認及び面接の参考とするため、「学校長が認めた音楽活動」を証明する資料を提出してください。審査の結果、条件を満たさないと判断された場合は、出願資格を充足しないことになり、出願書類は受理できません。

※証明する資料は出願期間内に提出してください（詳細は「募集要項」にてお知らせします）。

学校推薦型選抜（公募制）結果

学校推薦型選抜

項目		募集人員	志願者数	受験者数 (A)	合格者数 (B)	競争率 (A/B)	2024年度競争率
学科・コース							
写真学科		21	22 ( 10)	20 ( 9)	18 ( 8)	1.1倍	1.6倍
映画学科	映像表現・理論コース	18	26 ( 18)	26 ( 18)	7 ( 5)	3.7倍	3.8倍
	監督コース		15 ( 7)	15 ( 7)	4 ( 3)	3.8倍	5.4倍
	撮影・録音コース		15 ( 8)	15 ( 8)	4 ( 1)	3.8倍	1.7倍
	演技コース		31 ( 25)	31 ( 25)	4 ( 2)	7.8倍	6.5倍
	計	18	87 ( 58)	87 ( 58)	19 ( 11)	—	—
美術学科	絵画コース	4	8 ( 6)	8 ( 6)	3 ( 3)	2.7倍	2.2倍
	彫刻コース		2 ( 2)	2 ( 2)	2 ( 2)	1.0倍	—
	計	4	10 ( 8)	10 ( 8)	5 ( 5)	—	—
音楽学科	作曲・理論コース	5	0 ( 0)	0 ( 0)	0 ( 0)	—	1.0倍
	音楽教育コース		1 ( 1)	1 ( 1)	0 ( 0)	—	—
	声楽コース		1 ( 1)	1 ( 1)	1 ( 1)	1.0倍	—
	ピアノコース		2 ( 2)	2 ( 2)	2 ( 2)	1.0倍	3.0倍
	弦管打楽コース		1 ( 1)	0 ( 0)	0 ( 0)	—	—
	情報音楽コース		18 ( 10)	18 ( 10)	2 ( 2)	9.0倍	2.3倍
計	5	23 ( 15)	22 ( 14)	5 ( 5)	—	—	
文芸学科		20	21 ( 11)	21 ( 11)	21 ( 11)	1.0倍	1.1倍
演劇学科	舞台構想コース	30	25 ( 21)	25 ( 21)	11 ( 11)	2.3倍	2.9倍
	演技コース		31 ( 20)	31 ( 20)	13 ( 9)	2.4倍	3.4倍
	舞台美術コース		6 ( 6)	6 ( 6)	3 ( 3)	2.0倍	2.2倍
	舞踊コース		6 ( 5)	6 ( 5)	3 ( 3)	2.0倍	4.5倍
	計	30	68 ( 52)	68 ( 52)	30 ( 26)	—	—
放送学科		5	22 ( 15)	22 ( 15)	6 ( 6)	3.7倍	7.0倍
デザイン学科		18	37 ( 27)	37 ( 27)	24 ( 17)	1.5倍	2.1倍
合計		121	290 (196)	287 (194)	128 ( 89)	—	—

( )内は女子内数

学科・コース		時間	字数	課 題
写 真		60分	800～ 1,000字	<小論文> 写真は未来へ向けて、どのように活用されていくことが望ましいか、あなたの考えを述べなさい。
映 画 (演技を除く)		100分	1,000字 程度	<小論文> なぜ人間は得体の知れないものに憧れると思いますか?あなたの考えを述べなさい。 ※「天声人語」朝日新聞日刊, 2024年4月21日記事より抜粋, 朝日新聞社
美 術 (彫刻コース 地域芸術専攻)		—	—	【当該専攻志願者なし】
音 楽	作曲・理論 (理論)	—	—	【当該専攻志願者なし】
	音楽教育	60分	800字 程度	<小論文> 次のテーマから1つを選び800字程度の小論文を書きなさい。 1. コロナ禍で体験した音楽の授業から学んだことについて 2. 少子化社会および高齢化社会において音楽が果たす役割について 3. 多様化する児童生徒に対して音楽教員が配慮すべきことについて
文 芸		60分	800字 以内	<小論文または作文> 次の二つのうち一つを選んで、文章を書いてください。 (タイトルは自分でオリジナルのものをつけてください) ①「気づいてはならないこと」がある話を作文してください。 ②「承認欲求」について自由に論じてください。
演 劇 (舞台構想コース)		60分	—	<b>記述式の記事問題</b> <b>Ⓐ</b> ウィリアム・サローヤン『夕空晴れて』(加藤道夫訳)の冒頭からのシーンを読み、以下の設問に答えてください。 問1 声は誰の声なのか?あなたの考えを答えてください(40字以内)。 問2 バッチとキャロル,二人のシーンにタイトルをつけてください(20字以内) 問3 この物語のラストシーンを自由に創作し,簡潔に記述してください(80字以内)。 問4 今,この場面が劇場で上演されています。どんな音・音楽が聞こえてくるか,あなたのイメージを答えてください(80字以内)。 ※ウィリアム・サローヤン著,加藤道夫訳「夕空晴れて」『ウィリアム・サローヤン戯曲集』早川書房,1987年,92～102ページ <b>Ⓑ</b> 以下の問いに答えてください。(Ⓐとは違う設問です) 問5 高校生に大人気な舞台作品があります。どんな作品なのか想像してその特徴を答えてください(120字以内)。
放送学科		80分	800字 程度	<小論文> 放送において表現の自由とコンプライアンス遵守のバランスをとるためには,制作者がどのような視点を持つべきか。あなたの考えを述べなさい。

※上記は、昨年度試験内容であるため、2026年度実施の試験内容では科目が変更となっている場合があります。  
※著作物に該当するため原文等は掲載いたしません。

学科・コース	科目・課題																	
映画 (演技)	<p><b>基礎的な音声及び身体表現</b>  <b>発声1</b> 次の内容をはっきりと述べてください。            受験番号( )番, ( 氏名 )です。出身は( 都道府県名 )で, 学校は( 学校名 )高校を卒業する予定です。年齢は, ( )歳です。  <b>発声2</b> 次の文章を朗読してください。            ※村上春樹「国境の南, 太陽の西」講談社, 2005年, 8~9ページ</p> <p><b>動作</b> 次の内容をしぐさのみで表現してください。            [設定] 母に頼まれてスーパーに買い物に来た。            メモに書かれた物を見つけてはカゴに入れていく。            メモに書かれた全てがカゴにあることを確認し, レジへ向かう。            レジの列に並ぶ。前のお年寄りが財布から小銭を出せずにいる。後ろに並んでいるおじさんの舌打ちが聞こえる。その時, 別のレジが空いたので向かう。            レジの台にカゴを置くと, また舌打ちが聞こえる。            支払いを済ませ, レジを後にする。            (そのまま退出してください)</p>																	
美術 絵画 (絵画専攻)	<p><b>実技</b> (油彩・アクリル・木炭・鉛筆のいずれかを選択し, 静物を描く)            (6時間) ≪油彩・アクリル選択者はF15号キャンバス,            木炭選択者は木炭紙65cm×50cm, 鉛筆選択者は画用紙65cm×50cm≫</p> <p>[モチーフ]</p> <table border="0"> <tr><td>水差し</td><td>×1</td></tr> <tr><td>枝</td><td></td></tr> <tr><td>レモン</td><td>×2</td></tr> <tr><td>コーヒーカップ</td><td>×1</td></tr> <tr><td>ソーサー</td><td>×1</td></tr> <tr><td>ポット</td><td>×1</td></tr> <tr><td>洋梨</td><td>×1</td></tr> <tr><td>布</td><td>×1</td></tr> </table>	水差し	×1	枝		レモン	×2	コーヒーカップ	×1	ソーサー	×1	ポット	×1	洋梨	×1	布	×1	
水差し	×1																	
枝																		
レモン	×2																	
コーヒーカップ	×1																	
ソーサー	×1																	
ポット	×1																	
洋梨	×1																	
布	×1																	
美術 絵画 (版画専攻)	<p><b>実技</b> (デッサン 鉛筆・木炭のいずれかを選択し, 静物を描く)            (6時間) ≪画用紙または木炭紙 65cm×50cm≫</p> <p>[モチーフ]</p> <table border="0"> <tr><td>ポインセチア</td><td>×1</td></tr> <tr><td>水差し</td><td>×1</td></tr> <tr><td>かぼちゃ</td><td>×1</td></tr> <tr><td>布</td><td>×1</td></tr> </table>	ポインセチア	×1	水差し	×1	かぼちゃ	×1	布	×1									
ポインセチア	×1																	
水差し	×1																	
かぼちゃ	×1																	
布	×1																	
美術 彫刻 (彫刻専攻)	<p><b>実技</b> (デッサン 鉛筆・木炭のいずれかを選択し, モノと空間を描く)            (6時間) ≪画用紙または木炭紙 65cm×50cm≫</p> <p>[モチーフ]</p> <table border="0"> <tr><td>ドライフラワー (蓮の実)</td><td>×17</td></tr> <tr><td>木箱 (小)</td><td>×4</td></tr> </table>	ドライフラワー (蓮の実)	×17	木箱 (小)	×4													
ドライフラワー (蓮の実)	×17																	
木箱 (小)	×4																	
音楽 作曲・理論 (作曲)	【当該専攻志願者なし】																	
音楽 作曲・理論 (理論)	【当該専攻志願者なし】																	
音楽 音楽教育	ピアノ																	
音楽 声楽	<p><b>声楽</b> (声楽曲) (※)            (※) 『2025年度音楽学科実技課題曲案内』のそれぞれの課題曲の中から曲目を選択</p>																	
音楽 ピアノ	<p><b>ピアノ</b> (※)            (※) 『2025年度音楽学科実技課題曲案内』のそれぞれの課題曲の中から曲目を選択</p>																	
音楽 弦管打楽	<p>それぞれの専攻する<b>弦楽器, 管楽器または打楽器</b> (※)            (※) 『2025年度音楽学科実技課題曲案内』のそれぞれの課題曲の中から曲目を選択</p>																	
音楽 情報音楽	<p><b>口頭試問</b>            持参した演奏動画に対する口頭試問</p>																	

学科・コース		科目・課題
演 劇	演技	<b>実技</b> <b>①演技</b> 【課題1】受験者Aは受験者Bに向かって次の詩を読んでください。 ※谷川俊太郎「二十億光年の孤独」『谷川俊太郎詩集』思潮社、1993年、106～107ページ 【課題2】受験者Bは次の質問を読み、受験者Aは質問に答えてください。 ※谷川俊太郎「33の質問」『新選 谷川俊太郎詩集』より抜粋、思潮社、1986年、125～126ページ <b>②音感・リズム感</b> 【音感】アカペラで一人ずつ歌います (1分、自由課題)。 【リズム感】カウントを聞きながら、全身を使って、自由に歩く・動くをしてください (2～3人ずつ、4/4拍子を2分間、6/8拍子を2分間)。
	舞台美術	<b>プレゼンテーション</b> 別紙の戯曲を上演するとして、あなたの考える舞台空間を提案しなさい。 60分間、プレゼンテーションシート (形式自由) を作成し、その後、それについて口頭で5分間のプレゼンテーションを行います。 ※松井周「聖地」戯曲デジタルアーカイブ、2010年、8～11ページ
	舞踊 (日舞)	【当該専攻志願者なし】
	舞踊 (洋舞)	<b>リズム運動、舞踊的身体運動及びイメージ表現</b> ①ストレッチ、ウォーミングアップ ②ムーブメント (モダンダンス・テクニック) ③イメージを基にした動き (インプロヴィゼーション) 課題『浮力』 ◆課題に従い、イメージをダンス化する (動きのデザイン) (全員) *各自が得意とするジャンルに合わせて自由に表現してください ◆各自で発想の説明を行う (約1分)
デザイン	<b>鉛筆によるデッサン (4時間) またはデザインプレゼンテーション (4時間) のいずれかを選択</b> <b>①鉛筆によるデッサン (4時間) &lt;B3画用紙&gt;</b> 与えられたモチーフ、「密閉保存容器」、「粉スコップ」、2枚の「ストライプ模様の紙 (B4版)」を以下の条件にもとづき、台紙の上にセットし鉛筆でデッサンしなさい。 [モチーフ] 密閉保存容器 × 1 粉スコップ × 1 ストライプ模様の紙 (B4版) × 2 【条件】 1. モチーフは「密閉保存容器」、「粉スコップ」、2枚の「ストライプ模様の紙 (B4版)」とする。 2. 2枚の「ストライプ模様の用紙」のうち、1枚は変形させずにストライプ模様を上にして、他のモチーフの下に敷いた状態でセットし、もう1枚は、折る、丸めるなどの加工を加え、密閉容器に入れること。 またその際、密閉容器の蓋は必ず閉じること。 3. モチーフの固定には、ねりゴムを使用してもよい。 4. 台紙は描かなくてもよい。 5. 配布した白いコピー用紙 (A3版) は下書きに使ってもよい。 6. 定規、コンパス、デッサンスケールは使用不可とする。ただしはかり棒の使用は可。 <b>②デザインプレゼンテーション (4時間) &lt;B3ケント紙+PMパッド1枚&gt;</b> わたしたちの身近にある「公園」にかかわる問題を見つけ出し、あなたが考えたデザインによる「問題提起」もしくは「問題解決」をしなさい。 ただし、本試験においては主に「近隣居住者が憩いや遊びを楽しむために利用する公園」を対象とする。 この「公園」においてどのような問題があり、どうしたらそれをデザインで解決できるのか具体的に提案してください。または、気づきにくい問題点や面白さに着目し広く知ってもらうための提案でも構いません。 例えば、新しい「製品」「空間」「サイン表示」、または「問題点や面白さを知ってもらうための広告」など、あなたが得意とする分野での実現可能な提案を求めます。 【条件】 1. 用紙は2枚あり、PMパッド (薄い紙) 1枚はアイデアやメモ用として自由に使い、ケント紙には最終回答を記入すること。 2. 表現方法は自由 (筆記用具は鉛筆および配布された色鉛筆を使用すること。定規類やコンパスの使用は不可とする)。 3. 用紙は氏名欄が右上になるように横位置で使用し、氏名欄に答案が被らないようにすること。 4. 用紙は2枚とも提出とし、2枚の総合評価とする。	

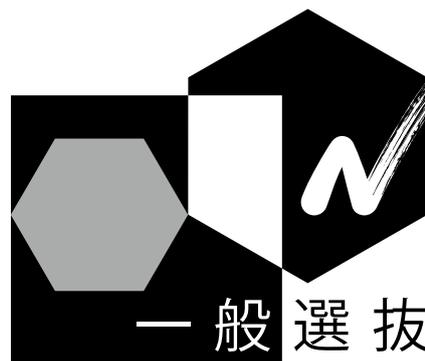


※上記は、昨年度試験内容であるため、2026年度実施の試験内容では科目が変更となっている場合があります。

※著作物に該当するため原文等は掲載いたしません。

## 2月・3月で3回入学者選抜を実施します！

芸術学部が実施する一般選抜には、学力検査のみ実施する【学力検査型】と学力検査と各学科の専門試験を実施する【専門試験併用型】があり、2月にN全学統一方式（第1期）【学力検査型】と【専門試験併用型】、3月にN全学統一方式（第2期）【学力検査型】を実施します。



### 学力検査型と専門試験併用型の違いについて

比較項目	学力検査型	専門試験併用型
方式	日本大学が同一試験日に実施する試験です。	日本大学が同一試験日に実施する学力検査に加え、学科により専門試験期日が設定されます。
試験会場	全国各地の会場で実施します。 ※第1期と第2期で実施会場が異なります。	学力検査は全国各地の会場で実施します。 専門試験は芸術学部校舎で実施します。
併願	日本大学の複数学部(学科)や、本学部内の複数学科の併願が可能です。	受験学科により併願が可能です。
試験科目	学科指定の試験科目(学力検査)のみ実施します。 各学科の専門試験は実施しません。	学力検査(外国語・国語)及び各学科の専門試験(学科・コースにより科目は異なります)を実施します。

### 一般選抜の流れ

#### 【一般選抜募集要項の入手】

2025年10月頃に日本大学ホームページ上で公開する予定です。



#### 【出願】

2026年1月6日(火)より、日本大学入試センターで郵送受付を開始します  
(出願締切日必着。また、試験により出願締切日は異なります)。

	出願締切日	学力検査日	専門試験日	合格発表日時	入学手続締切日	二段階最終入学手続締切日	
学力検査型(第1期)	1月22日(木)	2月1日(日)		2月12日(木) 13:00	2月20日(金)	3月11日(水)	
専門試験併用型			映画学科	2月2日(月)			2月16日(月) 13:00
			文芸学科 デザイン学科	2月2日(月)または 2月9日(月)			
			放送学科	2月3日(火)			
			美術学科	2月3日(火)または 2月9日(月)			
			写真学科	2月4日(水)			
			音楽学科	2月5日(木)			
演劇学科	2月4日(水) 2月5日(木)						
学力検査型(第2期)	2月25日(水)	3月4日(水)		3月13日(金) 13:00	3月18日(水)		

N全学統一方式学力検査型は、日本大学の学部・学科間併願だけでなく、芸術学部内の複数学科への併願が可能です。あらゆる学問領域を網羅し、同じ学問領域においても多面的アプローチが可能な学部・学科を擁する日本大学だからこそ、1回の受験で複数の学科を併願することができるのは大きなメリットです。



## POINT ▶ 1

**学部間併願，同一学部内の複数学科への併願もできる**  
 複数の学部・学科を同一試験日，同一問題で併願できます。学部間併願はもちろん，同一学部内の複数学科への併願も可能で多彩な併願パターンを選択することができます。

## POINT ▶ 2

### 入学検定料の負担を軽減

入学検定料は18,000円と受験生の負担を軽減し，安心して受験に臨んでいただけます。  
 ※専門試験併用型の入学検定料については『一般選抜募集要項』をご確認ください。

## N全学統一方式 (第1期) 学力検査型

実施学部	芸術	法	文理	経済	商	国際	危機管理	スポーツ科	理工	生産工	工	医	歯	松戸歯	生物資源科	薬	短大			
																	教養	ビジネス	デザイン	生活・建築

## POINT ▶ 3

N全学統一方式第1期

### 全学部全学科において実施する日本最大級の統一入試

16学部86学科・短期大学部3学科，計89学科で実施します。関心のある学部・学科間で併願しやすく，学部選択で悩む受験生の進路選択の一助になります。

## POINT ▶ 4

N全学統一方式第1期

### 2月1日実施の試験なので，早めの入試対策が可能！

首都圏の大学の一般選抜が本格化するのは2月10日前後。2月1日に実施するN全学統一方式第1期なら，受験の機会も増えて，併願計画が立てやすくなります。

## POINT ▶ 5

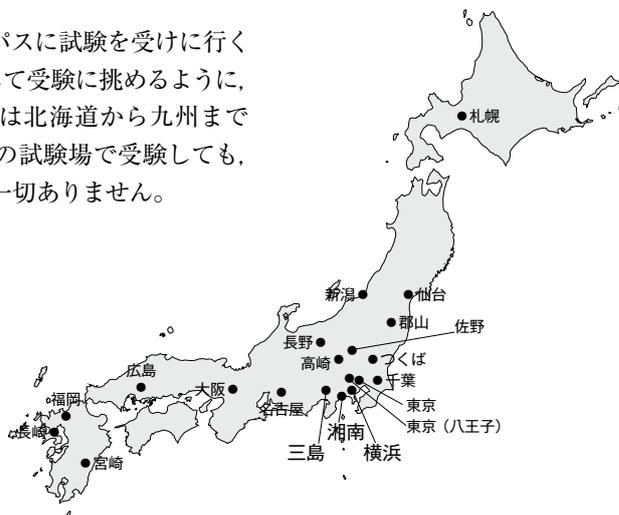
N全学統一方式第1期

### 全国各地に試験場を設置

遠方から首都圏のキャンパスに試験を受けに行く負担や不安がなく，安心して受験に挑めるように，N全学統一方式第1期では北海道から九州まで全国に試験場を設置。どの試験場で受験しても，合否判定に有利・不利は一切ありません。

#### 試験場一覧 (昨年度参考)

札幌/仙台/郡山/つくば/佐野/高崎/千葉/東京/東京(八王子)/横浜/湘南/新潟/長野/三島/名古屋/大阪/広島/福岡/長崎/宮崎



※上記の試験場は予定であり，変更になる場合がありますので，必ず募集要項でご確認ください。また，試験場については，収容人員の関係上，希望にそえない場合があります。

## N全学統一方式 (第2期) 学力検査型

実施学部	芸術	法	文理	経済	商	国際	危機管理	スポーツ科	理工	生産工	工	医	歯	松戸歯	生物資源科	薬	短大			
																	教養	ビジネス	デザイン	生活・建築

## POINT ▶ 6

N全学統一方式第2期

### 試験日が3月4日。3月に受験することができる統一入試

3月に受験できる大学は比較的少ない上，多くの大学が大学入学共通テスト利用入試なので，今一度自分の力を発揮できるチャンスです。併願することにより一回の受験で合格のチャンスを広げることができます。

(期日はすべて2026年となります)

## 1 出願手続

学 科	出 願 期 間
全学科・コース	1月6日(火)～1月22日(木)

※ 映画、美術、音楽、演劇の各学科を志望する者は、コースを1つだけ選択してください

※ 出願方法、提出書類等の詳細は「一般選抜募集要項」を確認してください

## 2 選考日及び試験科目

試験科目は学科により異なります。また、本試験では学科専門試験を実施しません。

選考日	学科 [コース]	募集 人員	教 科	科 目※1	時間	配 点
2月1日 (日)	映画 [全コース]	6	国語	「現代の国語・言語文化(漢文を除く)」	60分	100点
	文芸	3	外国語	「英語コミュニケーションⅠ, 英語コミュニケーションⅡ, 英語コミュニケーションⅢ, 論理・表現Ⅰ, 論理・表現Ⅱ, 論理・表現Ⅲ」	60分	100点
	演劇 [全コース]	2	地理歴史	「歴史総合・日本史探究」「歴史総合・世界史探究」「地理総合・地理探究」	60分	100点
	放送	10	公民	「公共, 政治・経済」		
			数学①	「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A(図形の性質, 場合の数と確率)・数学B(数列)・ 数学C(ベクトル)」		
	デザイン	2	理科	「物理基礎・物理」「化学基礎・化学」「生物基礎・生物」 のうちから1科目選択 ※2		
	写真	3	国語	「現代の国語・言語文化(漢文を除く)」	60分	100点
	美術	1	外国語	「英語コミュニケーションⅠ, 英語コミュニケーションⅡ, 英語コミュニケーションⅢ, 論理・表現Ⅰ, 論理・表現Ⅱ, 論理・表現Ⅲ」	60分	100点
	音楽 [全コース]	3				

※1 選択科目を指定科目数以上受験した場合は、高得点の科目を合否判定に使用します

※2 「理科」については、医学部併願者は2科目選択、その他の出願者は1科目のみ選択となります。2科目受験する場合は、解答順に「第1解答科目」「第2解答科目」に区分し、合否判定に使用する場合は、「第1解答科目」のみを使用します

## 3 合格発表及び入学手続

### 1 合格判定

すべての学科とも、学力検査の総合得点により合格判定を行います。

### 2 合格発表期日、発表方法及び入学手続

合格発表日時	発表方法	入学手続締切期日
2月12日(木) 13:00	オンライン合否案内	2月20日(金)

所定の手続を行うことにより、3月11日(水)まで入学手続を延期することができます(二段階手続方式)。

### 本試験についての注意事項【重要】

各学科の試験教科及び科目については同ページに記載のとおりですが、同一時間割での実施の場合は、受験可能な科目が制限されます。また、併願する学部(学科)により受験教科及び科目が異なりますので、これらの点も含めた本試験の詳細については、[日本大学ホームページ](#)、[一般選抜募集要項](#)等で必ず確認してください。

学科・コース	項目 募集人員	志願者数	受験者数(A)	合格者数(B)	競争率 (A/B)	2024年度 競争率	総点	合格者最低点		
								2025年度	2024年度	
写真学科	3	78 ( 43)	78 ( 43)	8 ( 4)	9.8倍	8.1倍	200	141	221	
映画学科	}	映像表現・理論コース	147 ( 71)	123 ( 59)	21 ( 11)	5.9倍	7.8倍	300	222	227
		監督コース	71 ( 28)	60 ( 23)	6 ( 2)	10.0倍	10.5倍		232	224
		撮影・録音コース	80 ( 50)	70 ( 44)	7 ( 5)	10.0倍	5.9倍		200	205
		演技コース	68 ( 45)	57 ( 38)	3 ( 2)	19.0倍	12.3倍		240	232
計	8	366 (194)	310 (164)	37 ( 20)	—	—	—	—	—	
美術学科	}	絵画コース	107 ( 61)	103 ( 60)	1 ( 0)	103.0倍	7.3倍	200	185	132
		彫刻コース	21 ( 15)	21 ( 15)	1 ( 1)	21.0倍	3.7倍		159	129
	計	1	128 ( 76)	124 ( 75)	2 ( 1)	—	—	—	—	—
音楽学科	}	作曲・理論コース	29 ( 12)	28 ( 12)	8 ( 5)	3.5倍	4.2倍	200	117	140
		音楽教育コース	25 ( 15)	24 ( 15)	0 ( 0)	—	2.5倍		—	106
		声楽コース	14 ( 10)	14 ( 10)	1 ( 1)	14.0倍	3.0倍		157	143
		ピアノコース	8 ( 5)	7 ( 5)	0 ( 0)	—	9.0倍		—	132
		弦管打楽コース	12 ( 9)	12 ( 9)	2 ( 2)	6.0倍	3.0倍		148	141
		情報音楽コース	123 ( 48)	122 ( 47)	2 ( 1)	61.0倍	8.3倍		178	135
計	3	211 ( 99)	207 ( 98)	13 ( 9)	—	—	—	—	—	
文芸学科	3	156 ( 71)	126 ( 60)	16 ( 10)	7.9倍	5.1倍	300	224	133	
演劇学科	}	舞台構想コース	67 ( 46)	59 ( 41)	7 ( 5)	8.4倍	6.2倍	300	224	131
		演技コース	83 ( 55)	68 ( 46)	0 ( 0)	—	40.0倍		—	161
		舞台美術コース	44 ( 39)	38 ( 34)	0 ( 0)	—	4.0倍		—	112
		舞踊コース	13 ( 10)	11 ( 8)	0 ( 0)	—	—		—	—
計	2	207 (150)	176 (129)	7 ( 5)	—	—	—	—	—	
放送学科	10	271 (172)	241 (154)	62 ( 33)	3.9倍	6.6倍	300	193	194	
デザイン学科	2	182 (115)	121 ( 80)	4 ( 3)	30.3倍	19.0倍	300	252	153	
合計	32	1,599 (920)	1,383 (803)	149 ( 85)	—	—	—	—	—	

( )内は女子内数

一般選抜

(期日はすべて2026年となります)

## 1 出願手続・出願要件・併願

学 科	出 願 期 間
全学科・コース	1月6日(火)～1月22日(木)

※ 映画、美術、音楽、演劇の各学科を志望する者は、コースを1つだけ選択してください

※ 出願方法、提出書類等の詳細は「一般選抜募集要項」を確認してください

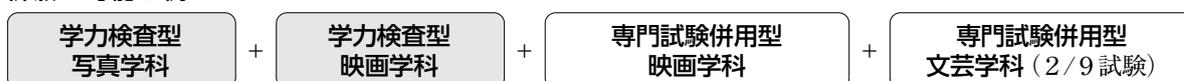
## 《出願要件》

一般選抜N全学統一方式専門試験併用型に出願するためには、芸術学部学科・コースの学力検査型を1学科以上出願し、外国語(英語)及び国語を受験する必要があります(専門試験併用型のみ出願は認めません)。

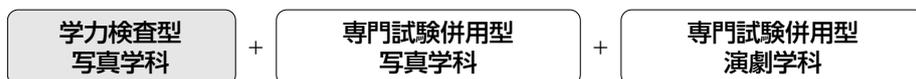
## 《併願について》

専門試験併用型では、2月2日(月)から2月9日(月)の間で各学科が専門試験を実施します。専門試験日が分かれば併願も可能なので、下記の専門試験日一覧表をご確認ください。

## ○ 併願が可能な例：



## × 併願ができない例：



## 2 試験日程

学 科	2/1(日)	2/2(月)	2/3(火)	2/4(水)	2/5(木)	2/9(月)	
写 真	学力検査			専門試験			
映 画		専門試験					
美 術			専門試験※			専門試験※	
音 楽					専門試験		
文 芸		専門試験※				専門試験※	
演 劇				専門試験(2日間)			
放 送			専門試験				
デザイン		専門試験※					専門試験※

※ 美術学科・文芸学科・デザイン学科の専門試験日は、出願時に複数日程のうち1日を選択してください。

## 3 試験会場

学力検査	専門試験
全国各地の試験場(25ページ参照)	芸術学部校舎(東京都)

## 4 試験科目・配点

### 1 学力検査科目

教科	科目	試験時間
外国語	「英語コミュニケーションⅠ，英語コミュニケーションⅡ，英語コミュニケーションⅢ，論理・表現Ⅰ，論理・表現Ⅱ，論理・表現Ⅲ」	60分
国語	「現代の国語・言語文化（漢文を除く）」	60分

※ 全問マークシート方式

### 2 学科（コース）別試験科目・募集人員

学科	募集人員	コース	学力検査		専門試験						総合点
			外国語	国語	小論文	作文	実技	面接	配点	備考	
写真	15	—						●	200点		400点
映画	40	映像表現・理論			●			●	150点		350点
		監督			●			●	150点		350点
		撮影・録音			●			●	150点		350点
		演技					●	●	150点		350点
美術	14	絵画					●※	●	300点	※レポートを含む	500点
		彫刻	●	●	●※		●※	●	300点	※彫刻専攻は実技（レポートを含む）， 地域芸術専攻は小論文	500点
音楽	25	情報音楽	●	●			●	●	300点		500点
		音楽芸術			●※		●	●	300点	※小論文は理論専攻のみ	500点
文芸	30	—						●	100点		300点
演劇	26	舞台構想				●		●	200点		400点
		演技舞踊					●	●	200点		400点
		デザイン技術					●	●	200点		400点
放送	50	—				●		●	200点		400点
デザイン	20	—					●	●	300点		500点

試験科目は、小論文、作文、実技、面接等で、学科・コース（専攻）により実施内容が異なります。詳細については次ページを参照してください。

## 5 合格発表及び入学手続

### 1 合格判定

すべての学科とも、学力検査及び専門試験の総合得点により合格判定を行います。

### 2 合格発表期日、発表方法及び入学手続

合格発表日時	発表方法	入学手続締切期日
2月16日（月） 13：00	オンライン合否案内	3月5日（木）

所定の手続を行うことにより、3月18日（水）まで入学手続を延期することができます（二段階手続方式）。

学科・コース		科目
写 真		面接 (A4判の芸術学部面接票を1枚および写真学科面接資料2枚を記入する時間を設けます 制限時間40分)
映 画	映像表現・理論コース	①小論文(80分・800字程度) ②面接
	監督コース	①小論文(80分・800字程度) ②面接
	撮影・録音コース	①小論文(80分・800字程度) ②面接
	演技コース	①実技(基礎的な音声及び身体表現) ②面接
美術 (2月3日試験 2月9日試験 共通)	絵画コース	絵画専攻 ①実技(油彩・アクリル・木炭・鉛筆のいずれかを選択し、人物を描く〔5時間30分〕) ②実技に関するレポート(30分・400字以内) ③面接
		版画専攻 ①実技(デッサン 鉛筆・木炭のいずれかを選択し、静物を描く〔5時間30分〕) ②実技に関するレポート(30分・400字以内) ③面接
	彫刻コース	彫刻専攻 ①実技(デッサン 鉛筆・木炭のいずれかを選択し、モノと空間を描く〔5時間30分〕) ②実技に関するレポート(30分・400字以内) ③面接
		地域芸術専攻 ①小論文(60分・800字以内) ②面接
※各コースとも、出願後すみやかに、受験する専攻及び画材を選択してください(詳細は『一般選抜募集要項』で指示します) ※実技については、出願時に選択した描画材料を持参してください ※キャンパス(F15号)、画用紙または木炭紙、カルトン、イーゼル、クリップは大学で用意します ※木炭紙の下敷きの用意はありません		
音 楽	情報音楽コース	①口頭試問 ②面接
	音楽芸術コース	作曲専攻 ①実技(作曲) ②口頭試問(持参動画による演奏審査を含む) ③面接
		理論専攻 ①口頭試問(持参動画による演奏審査を含む) ②小論文(80分・1,000字程度) ③面接
		音楽文化 マネジメント専攻 ①実技(グループディスカッション) ②口頭試問(事前課題に対する審査を含む) ③面接
		声楽専攻 ①実技(声楽) ②面接
		ピアノ専攻 ①実技(ピアノ) ②面接
		弦楽器専攻 ①実技(専攻する弦楽器の演奏審査) ②面接
		木管楽器専攻 ①実技(専攻する木管楽器の演奏審査) ②面接
		金管楽器専攻 ①実技(専攻する金管楽器の演奏審査) ②面接
打楽器専攻 ①実技(専攻する打楽器の演奏審査) ②面接		
※課題曲等の詳細については、40~43ページの『2026年度音楽学科実技課題曲案内』に従ってください ※受験曲目等を学科サイトより別途入力してください(詳細は『一般選抜募集要項』で指示します)		
文 芸 (2月2日試験, 2月9日試験共通)		面接(当日面接前に、自己アピールとして「これまで頑張ってきたこと」「これから成し遂げたいこと」 「印象に残った本」等を記入する時間を設けます。制限時間30分)
演 劇	舞台構想コース	①作文(60分・600字) ②面接
	演技舞踊コース	①実技((1)身体を使ったウォーミングアップ (2)台詞, ダンス, 舞踊のいずれかを用いた自由表現 (3分程度)) ②面接 ※希望する専攻に応じた格好(稽古着, レオタード, 着物等, シューズ可)で参加してください
	デザイン技術コース	①実技(プレゼンテーション) ②面接
放 送		①作文(60分・600字程度) ②面接
デザイン (2月2日試験, 2月9日試験共通)		①実技 鉛筆によるデッサン(4時間)またはデザインプレゼンテーション(4時間)のいずれかを選択 ※実技試験科目のいずれかを事前に選択する必要がありますので『一般選抜募集要項』内で指定され たWebサイトより別途入力してください(詳細は『一般選抜募集要項』で指示します) ※選択にかかわらず、デッサン用鉛筆、クリップ、消しゴム(練ゴム)、カッターナイフ等を持参して ください(デッサン及びデザインプレゼンテーションとも定規やコンパスの使用は不可) ※デッサン用具以外に使用する道具については大学で用意します ②面接

■ 持参作品等

音楽学科情報音楽コース、音楽芸術コース作曲専攻・理論専攻・音楽文化マネジメント専攻、演劇学科デザイン技術コース及びデザイン学科志願者は面接試験及び口頭試問の参考資料とするため、自作作品等を出願時に提出あるいは専門試験日当日に持参してください(下表参照)。

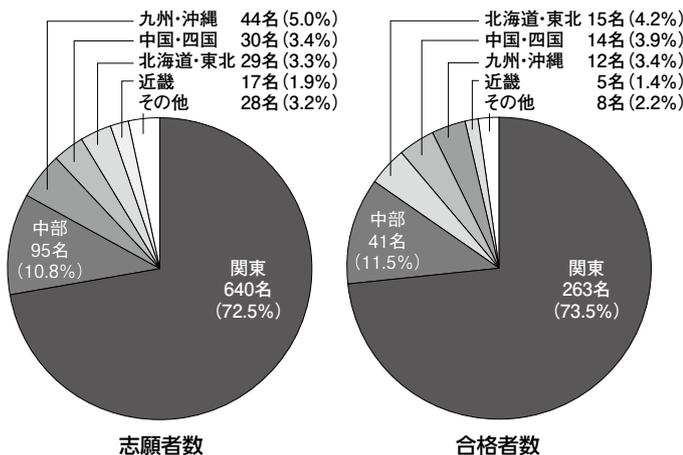
学 科	持 参 作 品 等
音 楽	情報音楽コース志願者は、自身が演奏している映像をスマートフォン、タブレット端末、PC等で再生できるよう準備して持参してください(口頭試問で参考にします)
	音楽芸術コース作曲専攻・理論専攻志願者は、楽器または声楽の演奏動画(3分以内)を志願者本人であることがはっきり確認できる形で作成し(演奏部分は編集しないこと)、志願者本人が持参するスマートフォン、タブレット、PC等で再生できるよう準備して持参してください(口頭試問で参考にします)
	音楽芸術コース音楽文化マネジメント専攻志願者は、600字程度の文章を事前に提出してください ※課題等の詳細については、『2026年度音楽学科実技課題曲案内』に従ってください
演 劇	デザイン技術コース志願者は、自分の芸術活動にちなんだポートフォリオ(A4サイズ)
デザイン	自作作品5点。なお、映像作品については、タブレット端末またはノートPC持参での発表は可とします

※持参作品については、面接試験終了後に返却します

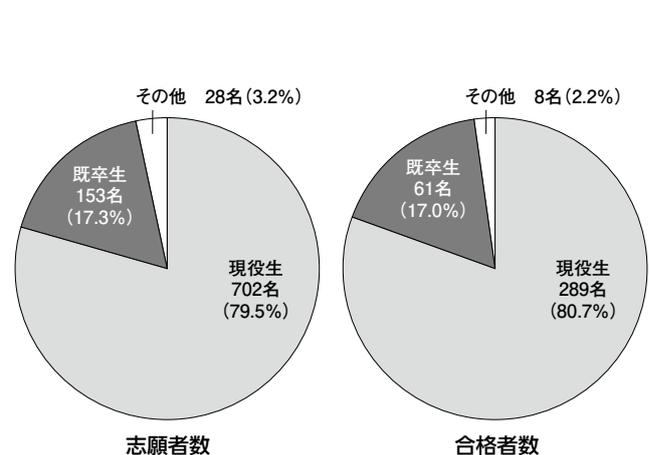
学科・コース	項目 募集人員	志願者数	受験者数(A)	合格者数(B)	競争率 (A/B)	2024年度 競争率	総点	合格者最低点		
								2025年度	2024年度	
写真学科	15	43 ( 22)	42 ( 21)	31 ( 17)	1.4倍	2.1倍	400	218	277	
映画学科	映像表現・理論コース 監督コース 撮影・録音コース 演技コース	40	63 ( 30)	57 ( 28)	21 ( 14)	2.7倍	4.6倍	350	208	242
			46 ( 13)	43 ( 11)	6 ( 2)	7.2倍	5.1倍		240	229
			38 ( 22)	37 ( 21)	13 ( 10)	2.8倍	2.6倍		216	232
			58 ( 40)	56 ( 39)	4 ( 2)	14.0倍	9.5倍		231	226
	計	40	205 ( 105)	193 ( 99)	44 ( 28)	—	—	—	—	
美術学科	(2/2試験) 絵画コース (2/10試験) コース計	14	—	—	—	—	2.6倍	500	—	325
			—	—	—	—	3.5倍		—	314
			80 ( 48)	76 ( 46)	22 ( 15)	3.5倍	—		326	—
			—	—	—	—	5.0倍		—	333
	(2/10試験) 彫刻コース コース計	8 ( 5)	7 ( 4)	6 ( 3)	1.2倍	—	332	—		
計	14	88 ( 53)	83 ( 50)	28 ( 18)	—	—	—	—		
音楽学科	作曲・理論コース 音楽教育コース 声楽コース ピアノコース 弦管打楽コース 情報音楽コース	25	10 ( 4)	10 ( 4)	9 ( 4)	1.1倍	1.0倍	500	272	386
			10 ( 7)	8 ( 6)	5 ( 4)	1.6倍	2.4倍		262	337
			6 ( 4)	6 ( 4)	4 ( 2)	1.5倍	1.5倍		298	334
			5 ( 4)	4 ( 4)	4 ( 4)	1.0倍	2.0倍		324	362
			9 ( 6)	9 ( 6)	8 ( 6)	1.1倍	1.4倍		264	308
	74 ( 23)	71 ( 22)	22 ( 12)	3.2倍	4.4倍	340	356			
計	25	114 ( 48)	108 ( 46)	52 ( 32)	—	—	—	—		
文芸学科	30	86 ( 36)	73 ( 30)	55 ( 22)	1.3倍	2.4倍	300	148	190	
演劇学科	舞台構想コース 演技コース 舞台美術コース 舞踊コース	36	37 ( 29)	37 ( 29)	13 ( 10)	2.8倍	2.0倍	400	244	254
			63 ( 41)	62 ( 41)	17 ( 12)	3.6倍	2.4倍		214	250
			13 ( 12)	13 ( 12)	6 ( 5)	2.2倍	1.6倍		232	203
			10 ( 7)	9 ( 7)	5 ( 3)	1.8倍	1.6倍		253	260
	計	36	123 ( 89)	121 ( 89)	41 ( 30)	—	—	—	—	
放送学科	56	145 ( 89)	139 ( 86)	75 ( 48)	1.9倍	2.6倍	400	196	233	
デザイン学科	20	79 ( 48)	73 ( 45)	32 ( 23)	2.3倍	3.8倍	500	340	358	
合計	236	883 ( 490)	832 ( 466)	358 ( 218)	—	—	—	—	—	

( ) 内は女子内数

【出身校地域別人数】



【現役生・既卒生等別人数】

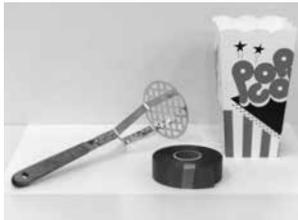


学科・コース		時間	字数	課 題
映 画 (演技を除く)		80分	800字程度	<p>&lt;小論文&gt; 次の文章を参考に“じぶん”(解答者や特定の人物を指しているわけではない)について論じなさい。 ※土屋淳二「モードの社会学(上)ーファッション帝国の〈裸のプチ王様〉」学文社, 2009年, 97~98ページ</p>
美 術 (地域芸術) (2月3日試験)		60分	800字以内	<p>&lt;小論文&gt; 日本国内, 国外に限らず, あなたの考える地域をあげ, その場で行われる芸術祭やイベントなどを行う場合において, 下記にある言葉の中から2つ以上を用いて, 必要な問題点を述べてください。</p> <p>地域活性化 文化の継承 インクルーシブデザイン 多様性 文化的背景 アートツーリズム 資金調達 持続可能性 地域交流 商業化 ボランティア 観光資源 フォトスポット 土地利用</p>
美 術 (地域芸術) (2月10日試験)		—	—	【当該専攻志願者なし】
音 楽	作曲・理論 (理論)	80分	1,000字程度	<p>&lt;小論文&gt; 次の三つのテーマの中から一つを選び, 1,000字程度の小論文を書きなさい。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 私と音楽</li> <li>2. 研究したい音楽とその理由</li> <li>3. 音楽学を選んだ理由</li> </ol>
	音楽教育	60分	800字程度	<p>&lt;小論文&gt; 次のテーマから1つを選び, 800字程度の小論文を書きなさい。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 現在の中学・高校で必要とされる音楽教育について</li> <li>2. 地域社会と学校の関わりの中で音楽教育が果たすことができる役割について</li> <li>3. 生涯学習としての音楽の役割について</li> </ol>
演 劇 (舞台構想)		60分	600字	<p>&lt;作文&gt; 「初心者」をタイトルとし, あなたの思うことや物語を自由に作文してください。ただし, 以下, 三つの言葉を必ず文中に使用すること。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 俳優</li> <li>2. 観客</li> <li>3. ドラマ</li> </ol>
放 送		60分	600字程度	<p>&lt;作文&gt; 「おはよう」</p>

※上記は, 昨年度試験内容であるため, 2026年度実施の試験内容では科目が変更となっている場合があります。

※著作物に該当するため原文等は掲載いたしません。

学科・コース	科目・課題
<p>映画 (演技)</p>	<p>基礎的な音声及び身体表現  <b>発声1</b> 次の内容をはっきりと述べてください。          受験番号( )番、(氏名)です。出身は(都道府県名)で、学校は(学校名)高校を卒業する予定です。年齢は、( )歳です。  <b>発声2</b> 次の文章を朗読してください。          ※仲代達矢「からだひとつ ここまで来たからもう一歩」株式会社ハルメク、2018年、110ページ  <b>動作</b> 次の内容をしぐさのみで表現してください。          [設定] 友人たちと学校からの帰り道。お腹が空いたのでコンビニに立ち寄った。          友人たちの分もまとめて買って、コンビニから出てきた。          ところが、コンビニの前で待っていたはずの友人たちがいない。          どこに行ったのか探すと、車道を渡ったそばの空き地に居た。          買ったものを持って車道を渡ろうとする。          車がクラクションを鳴らしながら、前を横切る。          その反動で荷物を落としそうになる。          何とか耐え、友人たちのもとへ行こうと前を見ると、皆が笑ってこちらを見ていた。          車道を渡り、友人たちの元へ駆け寄る。          (そのまま退場してください)</p>
<p>美術 (2月3日試験)</p> <p>絵画 (絵画専攻)</p>	<p>①<b>実技</b>(油彩・アクリル・木炭・鉛筆のいずれかを選択し、人物を描く)(5時間30分)          ≪油彩・アクリル選択者はF15号キャンバス、          木炭選択者は木炭紙65cm×50cm、鉛筆選択者は画用紙65cm×50cm≫  <b>[モチーフ]</b>          人物(コスチューム)          コスチューム：パーカー、ワイドパンツ、スニーカー          布を敷いたモデル台(白) ×1          椅子 ×1          ②<b>実技に関するレポート</b>(30分・400字以内)</p> 
<p>美術 (2月3日試験)</p> <p>絵画 (版画専攻)</p>	<p>①<b>実技</b>(デッサン 鉛筆・木炭のいずれかを選択し、静物を描く)(5時間30分)          ≪画用紙または木炭紙 65cm×50cm≫  <b>[モチーフ]</b>          ポトス ×1          レモン ×3          水差し ×1          布 ×1          ②<b>実技に関するレポート</b>(30分・400字以内)</p> 
<p>美術 (彫刻専攻)</p>	<p>①<b>実技</b>(デッサン 鉛筆・木炭のいずれかを選択し、モノと空間を描く)          (5時間30分) ≪画用紙または木炭紙65cm×50cm≫  <b>[モチーフ]</b>          鉄製台座 ×1          フィロデンドロン ×1          ②<b>実技に関するレポート</b>(30分・400字以内)</p> 
<p>美術 (2月10日試験)</p> <p>絵画 (絵画専攻)</p>	<p>①<b>実技</b>(油彩・アクリル・木炭・鉛筆のいずれかを選択し、人物を描く)(5時間30分)          ≪油彩・アクリル選択者はF15号キャンバス、          木炭選択者は木炭紙65cm×50cm、鉛筆選択者は画用紙65cm×50cm≫  <b>[モチーフ]</b>          人物(コスチューム)          コスチューム：ニット、リブニットスカート、スニーカー          布を敷いたモデル台 ×1          椅子 ×1          ②<b>実技に関するレポート</b>(30分・400字以内)</p> 
<p>絵画 (版画専攻)</p>	<p>【当該専攻志願者なし】</p>

学科・コース		科目・課題	
美術 (2月10日試験)	彫刻 (彫刻専攻)	①実技(デッサン 鉛筆・木炭のいずれかを選択し、モノと空間を描く) (5時間30分) <木炭紙または画用紙 65cm×50cm> [モチーフ] 鉄製台座 ×1 モンステラ ×1	
		②実技に関するレポート(30分・400字以内)	
音楽	作曲・理論(作曲)	①作曲(80分) 次の旋律を冒頭におき、オーボエ独奏(ピアノ伴奏無し)のための小品を作りなさい。 ②口頭試問	
	作曲・理論(理論)	口頭試問	
	音楽教育	ピアノ	
	声楽	声楽(声楽曲)	
	ピアノ	ピアノ	
	弦管打楽	それぞれの専攻する弦楽器、管楽器または打楽器	
	情報音楽	口頭試問	
演劇	演技	演技(音感・リズム感を含む) ①演技 次のシーンを演じてください。 ※注1 「大学生」「乱腐」「珍腐」「淫腐」の全てを順番に演じます。 ※注2 テキストは持ったままで構いません。 ※注3 相手役と事前に打ち合わせをすることはできません。 ※注4 自由に動いて構いませんが、部屋にあるものには触れないでください。 ※唐十郎「唐版 風の又三郎」『唐十郎 I 少女仮面 唐版風の又三郎 少女都市からの呼び声』早川書房、2019年、98～99ページ	
		②音感・リズム感 【音感】アカペラで一人ずつ歌う。(自由課題) 【リズム感】振付を通じた身体表現	
	舞台美術	プレゼンテーション 別紙の戯曲を上演するとして、あなたの考える舞台空間を提案しなさい。 ※松田正隆「月の岬」戯曲デジタルアーカイブ、1997年、2～20ページ	
	舞踊(日舞)	日本舞踊曲または日本の伝統舞踊(郷土芸能を含む)の実演	
	舞踊(洋舞)	リズム運動、舞踏的身体運動及びイメージ表現 ①基本運動 (1)受験生による自由なウォーミングアップ(約15分) (2)振付によるムーヴメント(30分) ②イメージによる動き(インプロヴィゼーション) 課題『変幻自在』 ◆課題から着想したテーマを考え、自由な発想のもと動きをデザインする(10分間) ◆デザインした課題による身体表現(1人2分以内) ◆発想の説明(1人1分以内)	
デザイン (2月2日試験)		鉛筆によるデッサン(4時間)またはデザインプレゼンテーション(4時間)のいずれかを選択。 ①鉛筆によるデッサン(4時間) <B3画用紙> 与えられたモチーフ、「ポップコーンカップ」、「ポテトマッシャー」、 「カラーリボン(赤)」、「上質PPC用紙(B4版・白)」を以下の条件にもとづき、 台紙の上にセットし鉛筆でデッサンしなさい。 定規、コンパス、デッサンスケールは使用不可とする。 [モチーフ] ポップコーンカップ ×1 ポテトマッシャー ×1 カラーリボン(赤) ×1 上質PPC用紙(B4版・白) ×1 【条件】 (1)モチーフは「ポップコーンカップ」、「ポテトマッシャー」、「カラーリボン(赤)」、「上質PPC用紙(B4版・白)」とする。 (2)配布された「カラーリボン(赤)」は、配布時の状態からセロファンテープをはがし、リボンの先端を約1m程度引き出したうえで任意に配置して使用すること。(続く)	

学科・コース	科目・課題
<p>デザイン (2月2日試験)</p>	<p>(続き)                      (3)「上質PPC用紙(B4版・白)」は、任意の角度で直線的に一度だけ折り目をつけ、折り目がわかるように開いた状態で他のモチーフの下に敷いてセットすること。                      (4)モチーフの固定には、持参したねりゴムを使用してもよい。                      (5)配布された白の台紙は描かなくてよい。                      (6)配布した白いコピー用紙(A3版)は下描きに使ってもよい。                      (7)定規、コンパス、デッサンスケールは使用不可とする。ただしはかり棒の使用は可。                      (8)用紙は名前の記入欄が右上になるように横位置にて使用すること。</p> <p>②<b>デザインプレゼンテーション</b>(4時間) &lt; B3ケント紙+PMパッド1枚 &gt;                      私たちをとりまく環境と衣類にかかわる問題を見つけ出し、あなたが考えたデザインによる「問題提起」もしくは「問題解決」をなさい。                      環境と衣類との関連性を考慮し、人間と両者との間にどのような問題があり、どうしたらそれをデザインで解決できるのか具体的に提案してください。または、気づきにくい問題点や面白さに着目し広く知ってもらうための提案でも構いません。                      例えば、新しい「製品」「空間」「サイン表示」、または「問題点や面白さを知ってもらうための広告」など、あなたが得意とする分野での実現可能な提案を求めます。</p> <p><b>【条件】</b>                      (1)用紙は2枚あり、PMパッド(薄い紙)1枚はアイデアやメモとして自由に使い、ケント紙には最終回答を記入すること。                      (2)表現方法は自由(持参した鉛筆、および配布された色鉛筆を使用すること。定規類やコンパスの使用は不可とする)                      (3)用紙は氏名欄が右上になるように横位置で使用し、氏名欄に回答が被らないようにすること。                      (4)用紙は2枚ともすべて提出とし、2枚の総合評価とする。</p>
<p>デザイン (2月10日試験)</p>	<p><b>鉛筆によるデッサン(4時間)またはデザインプレゼンテーション(4時間)のいずれかを選択。</b></p> <p>①<b>鉛筆によるデッサン</b>(4時間) &lt; B3画用紙 &gt;                      与えられたモチーフ、「チップスター」、「ステンレスつくだに盛り」、「フリーボックス(ホワイト)」、「Aがプリントされた上質紙(B4版)」を以下の条件にもとづき、台紙の上にセットし、鉛筆でデッサンしなさい。</p> <p><b>【モチーフ】</b>                      チップスター ×1                      ステンレスつくだに盛り ×1                      フリーボックス(ホワイト) ×1                      Aがプリントされた上質紙(B4版) ×1</p> <p><b>【条件】</b>                      (1)モチーフは「チップスター」、「ステンレスつくだに盛り」、「フリーボックス(ホワイト)」、「Aがプリントされた上質紙(B4版)」とする。                      (2)配布された「チップスター」は、蓋を外さずに配布時の状態のまま任意に配置して使用すること。またパッケージのロゴなどの印刷部分はできるだけ正確に描写すること。                      (3)「フリーボックス(ホワイト)」の上蓋は任意の角度に折り曲げて使用してよい。ただし、箱を完全には閉じず、中の内側の一部、もしくは全体が見える状態で固定すること。                      (4)「Aがプリントされた上質紙(B4版)」は、他のモチーフの下に敷いてセットすること。                      (5)モチーフの固定には、持参したねりゴムを使用してもよい。                      (6)配布された白の台紙は描かなくてもよい。                      (7)配布した白いコピー用紙(A3版)は下描きに使ってもよい。                      (8)定規、コンパス、デッサンスケールは使用不可とする。ただしはかり棒の使用は可。                      (9)用紙は名前の記入欄が右上になるように横位置にて使用すること。</p> <p>②<b>デザインプレゼンテーション</b>(4時間) &lt; B3ケント紙+PMパッド1枚 &gt;                      私たちの身近にある公共空間と伝達にかかわる問題を見つけ出し、あなたが考えたデザインによる「問題提起」もしくは「問題解決」をなさい。                      公共空間と伝達との関連性を考慮し、人間と両者との間にどのような問題があり、どうしたらそれをデザインで解決できるのか具体的に提案してください。または、気づきにくい問題点や面白さに着目し広く知ってもらうための提案でも構いません。                      例えば、新しい「製品」「空間」「サイン表示」、または「問題点や面白さを知ってもらうための広告」など、あなたが得意とする分野での実現可能な提案を求めます。</p> <p><b>【条件】</b>                      (1)用紙は2枚あり、PMパッド(薄い紙)1枚はアイデアやメモとして自由に使い、ケント紙には最終回答を記入すること。                      (2)表現方法は自由(筆記用具は鉛筆および配布された色鉛筆を使用すること。定規類やコンパスの使用は不可とする)                      (3)用紙は氏名欄が右上になるように横位置で使用し、氏名欄に回答が被らないようにすること。                      (4)用紙は2枚ともすべて提出とし、2枚の総合評価とする。</p>



※上記は、昨年度試験内容であるため、2026年度実施の試験内容では科目が変更となっている場合があります。  
 ※著作物に該当するため原文等は掲載いたしません。

(期日はすべて2026年となります)

## 1 出願手続

学 科	出 願 期 間
全学科・コース	1月6日(火)～2月25日(水)

※ 映画、美術、音楽、演劇の各学科を志望する者は、コースを1つだけ選択してください  
 ※ 出願方法、提出書類等の詳細は「一般選抜募集要項」を確認してください

## 2 選考日及び試験科目

試験科目は学科により異なります。また、本試験では学科専門試験を実施しません。

選考日	学科 [コース]	募集 人員	教 科	科 目※1	時間	配 点
3月4日 (水)	映画 [全コース]	2	国語	「現代の国語・言語文化(漢文を除く)」	60分	100点
			外国語	「英語コミュニケーションⅠ, 英語コミュニケーションⅡ, 英語コミュニケーションⅢ, 論理・表現Ⅰ, 論理・表現Ⅱ, 論理・表現Ⅲ」	60分	100点
	文芸	3	地理歴史	「歴史総合・日本史探究」「歴史総合・世界史探究」「地理総合・地理探究」	60分	100点
			公民	「公共, 政治・経済」		
	演劇 [全コース]	2	数学①	「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A(図形の性質, 場合の数と確率)・数学B(数列)・ 数学C(ベクトル)」		
			理科	「物理基礎・物理」「化学基礎・化学」「生物基礎・生物」		
	放送	2	理科	のうちから1科目選択 ※2		
	写真	2	国語	「現代の国語・言語文化(漢文を除く)」	各 60分	200点 (100点 ×2)
			外国語	「英語コミュニケーションⅠ, 英語コミュニケーションⅡ, 英語コミュニケーションⅢ, 論理・表現Ⅰ, 論理・表現Ⅱ, 論理・表現Ⅲ」		
			地理歴史	「歴史総合・日本史探究」「歴史総合・世界史探究」「地理総合・地理探究」		
公民			「公共, 政治・経済」			
数学①			「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A(図形の性質, 場合の数と確率)・ 数学B(数列)・数学C(ベクトル)」			
デザイン	2	数学②	「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A(図形の性質, 場合の数と確率)・ 数学B(数列)・数学C(ベクトル, 平面上の曲線と複素数平面)」			
		理科	「物理基礎・物理」「化学基礎・化学」「生物基礎・生物」			
		理科	のうちから2科目選択 ※2 (ただし, 「理科」間の組合せは不可)			
美術 [全コース]	1	国語	「現代の国語・言語文化(漢文を除く)」	60分	100点	
音楽 [全コース]	2	外国語	「英語コミュニケーションⅠ, 英語コミュニケーションⅡ, 英語コミュニケーションⅢ, 論理・表現Ⅰ, 論理・表現Ⅱ, 論理・表現Ⅲ」	60分	100点	

※1 選択科目を指定科目数以上受験した場合は、高得点の科目を合否判定に使用します。  
 ※2 「理科」については、医学部併願者は2科目選択、その他の出願者は1科目のみ選択となります。2科目受験する場合は、解答順に「第1解答科目」「第2解答科目」に区分し、合否判定に使用する場合は、「第1解答科目」のみを使用します。

## 3 合格発表及び入学手続

### 1 合格判定

すべての学科とも、学力検査の総合得点により合格判定を行います。

### 2 合格発表期日、発表方法及び入学手続

各期日については、下表を参照してください。  
 入学手続については、二段階手続は行いません。

合格発表日	入学手続締切期日
3月13日(金)	3月18日(水)

#### 本試験についての注意事項【重要】

各学科の試験教科及び科目については上記に記載のとおりですが、同一時間割での実施の場合は、受験可能な科目が制限されます。また、併願する学部(学科)により受験教科及び科目が異なりますので、これらの点も含めた本試験の詳細については、[日本大学ホームページ](#)、[一般選抜募集要項](#)等で必ず確認してください。

一般選抜N全学統一方式(第2期)結果

学科・コース	項目 募集人員	志願者数	受験者数(A)	合格者数(B)	競争率 (A/B)	2024年度 競争率	総点	合格者最低点		
								2025年度	2024年度	
写真学科	2	41 ( 19)	36 ( 16)	2 ( 1)	18.0倍	6.0倍	200	161	171	
映画学科	4	映像表現・理論コース	33 ( 18)	29 ( 15)	2 ( 1)	14.5倍	6.0倍	300	212	197
		監督コース	13 ( 4)	7 ( 2)	1 ( 1)	7.0倍	9.0倍		218	238
		撮影・録音コース	5 ( 1)	5 ( 1)	0 ( 0)	—	—		—	—
		演技コース	18 ( 10)	17 ( 9)	1 ( 0)	17.0倍	13.0倍		236	213
計	4	69 ( 33)	58 ( 27)	4 ( 2)	—	—	—	—	—	
美術学科	1	絵画コース	18 ( 11)	11 ( 7)	1 ( 0)	11.0倍	—	200	161	—
		彫刻コース	14 ( 5)	12 ( 4)	0 ( 0)	—	4.0倍		—	89
	計	1	32 ( 16)	23 ( 11)	1 ( 0)	—	—	—	—	—
音楽学科	2	作曲・理論コース	10 ( 4)	9 ( 3)	4 ( 2)	2.3倍	—	200	128	—
		音楽教育コース	2 ( 1)	2 ( 1)	0 ( 0)	—	—		—	—
		声楽コース	3 ( 3)	3 ( 3)	0 ( 0)	—	—		—	—
		ピアノコース	0 ( 0)	0 ( 0)	0 ( 0)	—	—		—	—
		弦管打楽コース	0 ( 0)	0 ( 0)	0 ( 0)	—	—		—	—
		情報音楽コース	34 ( 13)	30 ( 11)	1 ( 0)	30.0倍	9.5倍		155	125
計	2	49 ( 21)	44 ( 18)	5 ( 2)	—	—	—	—	—	
文芸学科	3	29 ( 14)	25 ( 13)	3 ( 1)	8.3倍	14.3倍	300	218	138	
演劇学科	2	舞台構想コース	17 ( 12)	14 ( 10)	2 ( 2)	7.0倍	3.0倍	300	209	119
		演技コース	22 ( 12)	19 ( 10)	0 ( 0)	—	9.0倍		—	156
		舞台美術コース	6 ( 5)	3 ( 2)	0 ( 0)	—	—		—	—
		舞踊コース	4 ( 2)	3 ( 2)	0 ( 0)	—	—		—	—
計	2	49 ( 31)	39 ( 24)	2 ( 2)	—	—	—	—	—	
放送学科	2	41 ( 25)	29 ( 17)	5 ( 4)	5.8倍	35.0倍	300	198	210	
デザイン学科	2	63 ( 32)	47 ( 23)	4 ( 1)	11.8倍	17.5倍	200	155	135	
合計	18	373 (191)	301 (149)	26 ( 13)	—	—	—	—	—	

( )内は女子内数

## 募集学科・コース及び募集人員

学 科	コ ー ス	募集人員		
		外国人留学生	帰国生	校友枠
写 真		若干名	若干名	若干名
映 画	映像表現・理論, 監督, 撮影・録音, 演技			
美 術	絵画, 彫刻			
音 楽	情報音楽, 音楽芸術	5名		
文 芸		若干名	若干名	
演 劇	舞台構想, 演技舞踊, デザイン技術			
放 送		10名		
デザイン		10名		

※ 映画, 美術, 音楽, 演劇の各学科を志望する者は, コースを1つだけ選択してください

なお, 学科・コースの併願はできません

※ 外国人留学生・帰国生選抜の文芸学科及びデザイン学科募集人員は, 両方の入学者選抜の合計数となります

## 外国人留学生・帰国生選抜

出願資格・出願方法等の詳細は, 日本大学ホームページを確認してください。

なお, 出願受付は日本大学本部学務部入学課 (03-5275-8311) にて行います。

## 試験諸日程

内 容	期 日
出 願 期 間	~2025年10月31日(金) ※1
一 次 試 験 日	2025年12月7日(日) ※2
一次試験合格発表日	2025年12月9日(火) (オンライン合否案内) ※2
選 考 日	2025年12月14日(日) ※3
合 格 発 表 日	2025年12月22日(月) (オンライン合否案内)
入 学 手 続 期 間	2025年12月22日(月)~2026年1月16日(金) ※4

※1 出願受付開始日については, 日本大学ホームページを確認してください

※2 外国人留学生選抜デザイン学科志願者のみ対象とします

※3 外国人留学生選抜デザイン学科については二次試験日

※4 所定の手続を行うことにより, 2026年3月11日(水)まで入学手続を延期することができます(二段階手続方式)

## 校友枠選抜

出願資格・出願方法等の詳細は, 7月上旬頃より公開予定の「校友枠選抜要項」で確認してください。

なお, 事前に日本大学校友会本部事務局にて, 出願資格の確認手続が必要となります。

## 試験諸日程

内 容	期 日
出 願 期 間	2025年11月17日(月)~11月21日(金)
選 考 日	2025年12月14日(日)
合 格 発 表 日	2025年12月22日(月) (オンライン合否案内)
入 学 手 続 期 間	2025年12月22日(月)~2026年1月16日(金) ※

※ 入学時納入金は, 校友枠選抜は入学手続期間内に一括納入となります

**編入学・転部試験**

本学部では、「欠員補充」という形で編入学試験（2年次，3年次）及び本学学部在学学生を対象とした転部試験（2年次）を実施しています。

募集人員はいずれも若干名で，募集する学科・コースは年度により異なる場合があります。

なお，編入学試験（2年次）及び転部試験については，過去3年間において全学科・コースでの募集を行っています。

また，編入学試験（3年次）の過去3年間の募集状況については，美術・音楽・デザイン学科で募集がありました。

2026年度の募集については，5月頃に公開する予定です。詳細については，本学部ホームページを確認いただくか，本学部入試係までお問い合わせください。

**編入学・転部試験結果**

[昨年度参考]

**2025年度**

※募集人員は，各学科すべて若干名

項目 学科・コース		編入学試験（2年次）			転部試験（2年次）			編入学試験（3年次）		
		志願者数	受験者数	合格者数	志願者数	受験者数	合格者数	志願者数	受験者数	合格者数
写真学科		5 ( 2 )	3 ( 2 )	0 ( 0 )	2 ( 2 )	2 ( 2 )	0 ( 0 )	実施せず		
映画学科	映像表現・理論コース	3 ( 2 )	2 ( 2 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	実施せず		
	監督コース	1 ( 1 )	1 ( 1 )	0 ( 0 )	2 ( 0 )	2 ( 0 )	0 ( 0 )			
	撮影・録音コース	4 ( 0 )	3 ( 0 )	0 ( 0 )	2 ( 0 )	2 ( 0 )	0 ( 0 )			
	演技コース	2 ( 1 )	1 ( 0 )	0 ( 0 )	2 ( 1 )	2 ( 1 )	0 ( 0 )			
	計	10 ( 4 )	7 ( 3 )	0 ( 0 )	6 ( 1 )	6 ( 1 )	0 ( 0 )			
美術学科	絵画コース	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	1 ( 0 )	1 ( 0 )	0 ( 0 )	2 ( 2 )	2 ( 2 )	0 ( 0 )
	彫刻コース	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	2 ( 1 )	1 ( 1 )	0 ( 0 )
	計	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	1 ( 0 )	1 ( 0 )	0 ( 0 )	4 ( 3 )	3 ( 3 )	0 ( 0 )
音楽学科	作曲・理論コース	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	3 ( 0 )	3 ( 0 )	1 ( 0 )	1 ( 0 )	1 ( 0 )	0 ( 0 )
	音楽教育コース	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )
	声楽コース	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	1 ( 0 )	1 ( 0 )	0 ( 0 )
	ピアノコース	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )
	弦管打楽コース	1 ( 0 )	1 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )
	情報音楽コース	7 ( 0 )	7 ( 0 )	0 ( 0 )	7 ( 1 )	7 ( 1 )	0 ( 0 )	2 ( 2 )	2 ( 2 )	0 ( 0 )
	計	8 ( 0 )	8 ( 0 )	0 ( 0 )	10 ( 1 )	10 ( 1 )	1 ( 0 )	4 ( 2 )	4 ( 2 )	0 ( 0 )
文芸学科		6 ( 2 )	6 ( 2 )	1 ( 0 )	1 ( 0 )	1 ( 0 )	0 ( 0 )	実施せず		
演劇学科	舞台構想コース	3 ( 1 )	3 ( 1 )	0 ( 0 )	1 ( 0 )	1 ( 0 )	0 ( 0 )	実施せず		
	演技コース	2 ( 2 )	2 ( 2 )	1 ( 1 )	1 ( 1 )	1 ( 1 )	0 ( 0 )			
	舞台美術コース	1 ( 1 )	1 ( 1 )	1 ( 1 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )			
	舞踊コース	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )			
	計	6 ( 4 )	6 ( 4 )	2 ( 2 )	2 ( 1 )	2 ( 1 )	0 ( 0 )			
放送学科		5 ( 3 )	5 ( 3 )	0 ( 0 )	5 ( 4 )	5 ( 4 )	1 ( 1 )	実施せず		
デザイン学科		3 ( 2 )	3 ( 2 )	2 ( 2 )	1 ( 0 )	1 ( 0 )	0 ( 0 )	6 ( 5 )	4 ( 3 )	1 ( 1 )
合計		43 ( 17 )	38 ( 16 )	5 ( 4 )	28 ( 9 )	28 ( 9 )	2 ( 1 )	14 ( 10 )	11 ( 8 )	1 ( 1 )

各種選抜等

( )内は女子内数

音楽学科出願者は、全員が曲目届けを登録する必要があります。コースを問わず、出願時に受験曲目届けを登録してください(すべての入学者選抜共通)

<https://music.art.nihon-u.ac.jp/exam.html>



### 情報音楽コース

総合型選抜/学校推薦型選抜(公募制) /  
学校推薦型選抜(附属高等学校等) /  
N全学統一方式専門試験併用型 /  
外国人留学生・帰国生/校友枠選抜

#### ①口頭試問

持参した演奏動画(3~5分程度)に対する口頭試問自身が演奏している動画をスマートフォン、タブレット端末、PC等で再生できるよう準備して持参してください。動画はソロでも合奏、バンド演奏でも構いませんが、演奏している受験生の顔及び全身が確認できるものとします。楽器や楽曲は自由で1曲とします。また、動画の音源は編集しないこと。演奏動画と演奏音が一致していることが条件です。

#### ②面接

### 音楽芸術コース

#### 作曲専攻

##### 総合型選抜

#### ①実技(作曲・80分)

与えられた短い旋律を冒頭の素材とした、指定された楽器のための独奏曲(ピアノ伴奏なし)の作曲

#### ②口頭試問(持参する自作品の審査を含む)

作品1曲(編成・長さは自由)を作曲し、楽譜のコピーを3部、綴じた形で試験当日に持参。楽譜は返却しません。

#### ③面接

学校推薦型選抜(公募制) /  
学校推薦型選抜(附属高等学校等) /  
外国人留学生・帰国生選抜/校友枠選抜

#### ①実技

##### (1)作曲(80分)

与えられた短い旋律を冒頭の素材とした、指定された楽器のための独奏曲(ピアノ伴奏なし)の作曲

##### (2)任意の器楽曲の演奏

作曲専攻・理論専攻志願者実技共通課題に準じる。

#### ②面接

##### N全学統一方式専門試験併用型

#### ①実技(作曲・80分)

与えられた短い旋律を冒頭の素材とした、指定された楽器のための独奏曲(ピアノ伴奏なし)の作曲

#### ②口頭試問(持参動画による演奏審査を含む)

楽器または声楽の演奏動画(3分以内)を志願者本人であることがはっきり確認できる形で作成し(演奏部分は編集しないこと)、志願者本人が持参するスマートフォン、タブレット、PC等で再生できるよう準備して試験当日持参。その動画に対して口頭試問を行います。

#### ③面接

#### 理論専攻

##### 総合型選抜

#### ①実技(任意の器楽曲の演奏)

作曲専攻・理論専攻志願者実技共通課題に準じる。

#### ②口頭試問(持参する音楽に関するレポートの審査を含む)

音楽に関するレポート1点(書式・長さは自由、手書きに限る)を作成し、コピーを3部、綴じた形で試験当日に持参。レポートは返却しません。

#### ③面接

学校推薦型選抜(公募制) /  
学校推薦型選抜(附属高等学校等) /  
外国人留学生・帰国生選抜/校友枠選抜

#### ①実技(任意の器楽曲の演奏)

作曲専攻・理論専攻志願者実技共通課題に準じる。

#### ②小論文(80分・1000字程度)

音楽に関する小論文

#### ③面接

##### N全学統一方式専門試験併用型

#### ①口頭試問(持参動画による演奏審査を含む)

楽器または声楽の演奏動画(3分以内)を志願者本人であることがはっきり確認できる形で作成し(演奏部分は編集しないこと)、志願者本人が持参するスマートフォン、タブレット、PC等で再生できるよう準備して試験当日持参。その動画に対して口頭試問を行います。

#### ②小論文(80分・1000字程度)

音楽に関する小論文

#### ③面接

#### 【作曲専攻・理論専攻志願者実技共通課題】

器楽の楽曲、1曲の演奏。音楽のジャンル、選曲、楽器の種類は自由。ただしピアノ伴奏はつけられません。演奏は途中で止める場合もあります。楽譜を見ながらの演奏も認めます。大型楽器で音楽学科が準備できるものはピアノのみになります。アンプ、スピーカー、マイクといった機材等や伴奏用カラオケ音源の使用は認めません。  
※不明点がある場合は必ず音楽学科まで問い合わせてください。

#### 音楽文化マネジメント専攻

総合型選抜/学校推薦型選抜(公募制) /  
学校推薦型選抜(附属高等学校等) /  
N全学統一方式専門試験併用型 /  
外国人留学生・帰国生/校友枠選抜

#### ①実技(グループディスカッション)

試験会場にて音楽、芸術活動、アートマネジメントに関連するテーマを提示します。そのテーマについて、少人数でディスカッションを行います。

②口頭試問 (事前課題に対する審査を含む)

あなたが生まれ育った音環境や音楽環境、そしてこれまでどのように音楽と関わってきたかについて、600字程度の文章(400字詰め原稿用紙2枚使用、手書きに限る)を作成し、出願締切日までに郵送にて提出すること(簡易書留郵便に限る・出願締切日必着)。口頭試問では、提出された文章をもとに質疑応答を行います。なお、提出された文章は返却しません。

- 郵送先 〒176-8525 東京都練馬区旭丘2-42-1  
日本大学芸術学部音楽学科  
音楽文化マネジメント専攻入試事前提出係

③面接

音楽専攻

総合型選抜 / 学校推薦型選抜 (公募制) /  
学校推薦型選抜 (付属高等学校等) /  
N全学統一方式専門試験併用型 /  
外国人留学生・帰国生 / 校友枠選抜

①実技 (音楽)

音楽専攻実技共通課題に準じる。

②面接

【音楽専攻実技共通課題】

次の課題曲A・課題曲Bより各1曲ずつ選曲してください。当日は、課題曲に続けて自由曲1曲を歌ってください。自由曲は課題曲Aまたは課題曲Bより選曲しても構いませんが、選択した2曲と重複してはいけません。いずれも原語で暗譜とします。また、各曲の調性は任意とします。伴奏楽譜(全3曲)については伴奏楽譜の提出についての要領に従って郵送してください。

課題曲A. イタリア歌曲

1	MANCIA, L.	Star vicino
2	SCARLATTI, A.	Già il sole dal Gange
3	SCARLATTI, A.	Sento nel core
4	BONONCINI, G. B.	Per la gloria d'adorarvi
5	GASPARINI, F.	Lasciar d'amarti
6	DURANTE, F.	Vergin, tutto amor
7	作者不詳	Nina
8	GASPARINI, F.	Caro laccio
9	PAISIELLO, G.	Nel cor più non mi sento
10	GIORDANI, T.	Caro mio ben

※作曲者は全音楽譜出版社のイタリア歌曲集 [新版] による

課題曲B. 日本歌曲

1	土井晩翠 作詞	滝廉太郎 作曲	荒城の月
		山田耕筰 編曲	
2	武島羽衣 作詞	滝廉太郎 作曲	花
3	吉丸一昌 作詞	中田章 作曲	早春賦
4	勝田香月 作詞	杉山長谷夫 作曲	出船
5	鹿島鳴秋 作詞	弘田竜太郎 作曲	浜千鳥
6	林古溪 作詞	成田為三 作曲	浜辺の歌(2番まで)
7	北原白秋 作詞	山田耕筰 作曲	鐘が鳴ります
8	北原白秋 作詞	山田耕筰 作曲	この道
9	清水重道 作詞	信時潔 作曲	行々子
10	北見志保子 作詞	平井康三郎 作曲	平城山

楽譜は下記の出版社のものを使用してください。

●A. イタリア歌曲

全音楽譜出版社 イタリア歌曲集 [新版]

●B. 日本歌曲

全音楽譜出版社 日本名歌110曲集

●自由曲

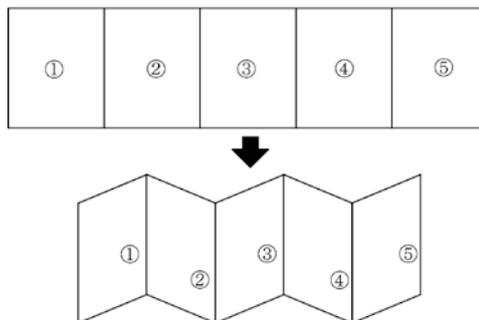
オペラ・アリアを歌う場合、作曲者、オペラの題名、アリアの題名を明記し、原語・原調で歌うこと(ただし、習慣的に認められている歌劇「連隊の娘」をイタリア語版で歌うことや、歌劇「セビリアの理髪師」より「今の歌声は」をへ長調で歌うことは認める。わからないことがある場合は必ず確認すること)。オペラ・アリア集、または総譜(スコア)として出版されている楽譜をコピーして提出すること。

伴奏楽譜の提出について

●伴奏楽譜は、演奏の都合上、ヨコ22cm、タテ30cmの台紙に、楽譜を貼付してください。楽譜が2ページ以上のときは、全ページに台紙を貼りテープ等で折本仕立てに製本してください(図を参照)。ページの欠損に注意して、当日演奏できる完成品を送付してください。なお、表紙に志望コース、受験番号(事前に分かっているとき)、氏名、曲名、調性を必ず記入してください。※移調などの理由で楽譜を自作する場合は、指定する出版社のものに準じ、鮮明な自筆又はコンピュータ浄書のもの製本してください。伴奏譜は返却できません。

製本の仕方(5ページの場合)

- ・表紙裏を楽譜1ページ目にしてください。
- ・楽譜のつなぎ目をマスキングテープ等で貼ってください。



- 郵送先 〒176-8525 東京都練馬区旭丘2-42-1  
日本大学芸術学部音楽学科入試伴奏譜係

ピアノ専攻

総合型選抜 / 学校推薦型選抜 (公募制) /  
学校推薦型選抜 (付属高等学校等) /  
N全学統一方式専門試験併用型 /  
外国人留学生・帰国生 / 校友枠選抜

①実技 (ピアノ)

バロック・古典・ロマン・近現代の4つの時代区分の中から、1曲または複数曲を組み合わせ、6分~10分程度演奏すること。

- ※すでに出版されている作品であること
- ※10分以上の選曲可、ただし演奏を途中で止めることがある
- ※繰り返しは省略し、暗譜で演奏すること
- ※ソナタや組曲の抜粋可、変奏曲の抜粋は認めない

②面接

## 弦楽器専攻

総合型選抜 / 学校推薦型選抜 (公募制) /  
学校推薦型選抜 (付属高等学校等) /  
N 全学統一方式専門試験併用型 /  
外国人留学生・帰国生 / 校友枠選抜

- ①実 技 (専攻する弦楽器の演奏審査)  
専攻楽器を次から選択し、任意の専攻楽器の楽曲 (伴奏なし) を演奏してください (暗譜の必要はありません)。
- ヴァイオリン
  - ヴィオラ
  - チェロ
  - コントラバス
  - クラシック・ギター

## ②面接

## 木管楽器専攻

総合型選抜 / 学校推薦型選抜 (公募制) /  
学校推薦型選抜 (付属高等学校等) /  
N 全学統一方式専門試験併用型 /  
外国人留学生・帰国生 / 校友枠選抜

- ①実 技 (専攻する木管楽器の演奏審査)  
専攻楽器を次から選択し、任意の専攻楽器の楽曲 (伴奏なし) を演奏してください (暗譜の必要はありません)。
- フルート
  - オーボエ
  - クラリネット
  - サクソフォーン
  - ファゴット

## ②面接

## 金管楽器専攻

総合型選抜 / 学校推薦型選抜 (公募制) /  
学校推薦型選抜 (付属高等学校等) /  
N 全学統一方式専門試験併用型 /  
外国人留学生・帰国生 / 校友枠選抜

- ①実 技 (専攻する金管楽器の演奏審査)  
専攻楽器を次から選択し、任意の専攻楽器の楽曲 (伴奏なし) を演奏してください (暗譜の必要はありません)。
- ホルン
  - トランペット
  - トロンボーン
  - ユーフォニアム
  - チューバ

## ②面接

## 打楽器専攻

総合型選抜 / 学校推薦型選抜 (公募制) /  
学校推薦型選抜 (付属高等学校等) /  
N 全学統一方式専門試験併用型 /  
外国人留学生・帰国生 / 校友枠選抜

- ①実 技 (専攻する打楽器の演奏審査)  
各楽器の課題曲は次の通りです (暗譜の必要はありません)。

## a. 小太鼓受験者

次の [1] 及び [2] を演奏してください。

[1] 基本奏法—1つ, 2つ, 5つ打ちより当日指定します (本学所有の練習台を使用します)

[2] 任意の楽曲または練習曲

※小太鼓受験者は, [2] で使用する自身の小太鼓, それに付随する必要なもの (スタンド, スティック等) を持参してください。

[1] で使用する練習台は, 本学で用意します。

## b. マリンバ受験者

次の [1] 及び [2] を演奏してください。

[1] 小太鼓の基本奏法—2つ打ち (本学所有の練習台を使用します)

[2] 任意の楽曲または練習曲 (本学所有のマリンバを使用します)

※マリンバ受験者は [1] で使用するスティック, [2] で使用するマレット等を持参してください。

## ②面接

## 【弦楽器専攻・木管楽器専攻・金管楽器専攻共通】

●試験曲目の参考として, 過去の課題曲が下記 URL 及び QR コードから参照できます。

[https://www.art.nihon-u.ac.jp/admission/recruitment/general/pdf/2023\\_music\\_kadai.pdf](https://www.art.nihon-u.ac.jp/admission/recruitment/general/pdf/2023_music_kadai.pdf)



## 編入学試験 (含む転部試験) について

編入学 (含む転部) は旧学則のコース編成となるため, 一部カリキュラムが異なります。

詳細は音楽学科までお問い合わせください。

## 作曲・理論コース

## 編入学試験 (含む転部試験) 2 年次 / 編入学試験 3 年次

## a. 作曲志願者

## ①書類選考

## ②実 技 (作曲・80分)

与えられた短い旋律を冒頭の素材とした, 指定された楽器のための独奏曲 (ピアノ伴奏なし) の作曲

## ③口頭試問 (持参する自作品の審査を含む)

作品 1 曲 (編成・長さは自由) を作曲し, 楽譜のコピーを 3 部, 綴じた形で試験当日に持参。楽譜は返却しません。

## ④面接

## b. 理論志願者

## ①書類選考

## ②実 技 (任意の器楽曲の演奏)

作曲・理論志願者実技共通課題に準じる。

- ③ **口頭試問**(持参する音楽に関するレポートの審査を含む)  
音楽に関するレポート1点(書式・長さは自由, 手書きに限る)を作成し, コピーを3部, 綴じた形で試験当日に持参。レポートは返却しません。

④ **面接**

**【作曲・理論志願者実技共通課題】**

器楽の楽曲, 1曲の演奏。音楽のジャンル, 選曲, 楽器の種類は自由。ただしピアノ伴奏はつけられません。演奏は途中で止める場合もあります。楽譜を見ながらの演奏も認めます。大型楽器で音楽学科が準備できるものはピアノのみになります。アンプ, スピーカー, マイクといった機材等や伴奏用カラオケ音源の使用は認めません。  
※不明点がある場合は必ず音楽学科まで問い合わせてください。

**音楽教育コース**

**編入学試験(含む転部試験)2年次**

- ① **書類選考**  
② **小論文**(60分・800字程度)  
音楽に関する小論文  
③ **実技(ピアノ)**  
W. A. MozartまたはL. v. Beethovenのピアノソナタの中から任意の第1楽章または終楽章を演奏してください(繰り返しなしで, 暗譜とします)。  
④ **面接**

**編入学試験3年次**

- ① **書類選考**  
② **小論文**(60分・800字程度)  
音楽に関する小論文  
③ **面接**

**声乐コース**

**編入学試験(含む転部試験)2年次**

- ① **書類選考**  
② **実技(声乐)**  
P41 総合型選抜/学校推薦型選抜(公募制)/学校推薦型選抜(附属高等学校等)/N全学統一方式専門試験併用型/外国人留学生・帰国生/校友枠選抜の声乐専攻実技共通課題に準じる。  
③ **面接**

**編入学試験3年次**

- ① **書類選考**  
② **実技(声乐)**  
任意の自由曲(5分程度)  
③ **面接**

**ピアノコース**

**編入学試験(含む転部試験)2年次**

- ① **書類選考**  
② **実技(ピアノ)**

バロック・古典・ロマン・近現代の4つの時代区分の中から, 1曲または複数曲を組み合わせ, 6分~10分程度演奏すること。

- ※すでに出版されている作品であること  
※10分以上の選曲可, ただし演奏を途中で止めることがある  
※繰り返しは省略し, 暗譜で演奏すること  
※ソナタや組曲の抜粋可, 変奏曲の抜粋は認めない

③ **面接**

**編入学試験3年次**

- ① **書類選考**  
② **実技(ピアノ)**  
8分以上の自由曲  
③ **面接**

**弦管打楽コース**

**編入学試験(含む転部試験)2年次**

- ① **書類選考**  
② **実技**(それぞれの専攻する弦楽器, 管楽器または打楽器) 任意の楽曲または練習曲(伴奏なし)を演奏してください(暗譜の必要はありません)。  
③ **面接**

**編入学試験3年次**

- ① **書類選考**  
② **実技**(それぞれの専攻する弦楽器, 管楽器または打楽器) 8分以上の自由曲  
③ **面接**

- 試験曲目の参考として, 過去の課題曲が下記URL及びQRコードから参照できます。

[https://www.art.nihon-u.ac.jp/admission/recruitment/general/pdf/2023\\_music\\_kadai.pdf](https://www.art.nihon-u.ac.jp/admission/recruitment/general/pdf/2023_music_kadai.pdf)



**情報音楽コース**

**編入学試験(含む転部試験)2年次/編入学試験3年次**

- ① **書類選考**  
② **口頭試問**  
持参した演奏動画(3~5分程度)に対する口頭試問自身が演奏している動画をスマートフォン, タブレット端末, PC等で再生できるよう準備して持参してください。動画はソロでも合奏, バンド演奏でも構いませんが, 演奏している受験生の顔及び全身が確認できるものとしします。楽器や楽曲は自由で1曲としします。また, 動画の音源は編集しないこと。演奏動画と演奏音が一致していることが条件です。  
③ **面接**

# 【写真学科】専門試験参考資料

2026年度写真学科入学者選抜区分の概要とポイント（詳しい日程等は各ページをご確認ください）

## ●総合型選抜

写真に対する意欲に溢れた人であれば、年齢や経験にかかわらず出願可能です。学力だけでは測れない意欲や感性、想像力などを総合的に評価します。

2023年度選抜から実技に変わり「ポートフォリオに関する口頭試問」が加わりました。写真に対する情熱を見たいという考えからです。持参する〈作品ポートフォリオ〉は、一眼レフ等のカメラで撮影したものでなくても、スマートフォンで撮影した写真でも全く問題はありませぬ。技術だけではなく、あなたがどんな写真を好んでいるのか、どのような感性をもっているのかを重要視しています。〈作品ポートフォリオ〉をもとにあなた自身を積極的にアピールしてください。「面接」では〈学びのポートフォリオ〉や〈小論文〉を参考にしながら、高校時代の活動など、あなたがこれまでの経験の中で得たこと、努力してきたことなどを評価します。合わせて相手に分かりやすく伝える力やコミュニケーション力も見ています。写真制作が未経験という方も勿論受験可能です。

※ポートフォリオの詳細は右ページをご確認ください。

## ●学校推薦型選抜（公募制）

高等学校または中等教育学校等を2026年3月卒業見込みの方が受けられる区分です。下記のA～Cのいずれかに条件を満たす方が出願できます。

- A. 全体の学習成績の状況が3.0以上の者
- B. 「全国高等学校総合文化祭写真部門」に出展し、高等学校文化連盟写真専門部の推薦書があり、全体の学習成績の状況が2.7以上の者
- C. 全国高等学校写真選手権大会「写真甲子園」のブロック予選に出場した選手で、全国高等学校写真選手権大会「写真甲子園」（東川町写真の町課）の推薦書があり、全体の学習成績の状況が2.7以上の者

※出願資格の詳細については17ページをご確認ください。

出願には学校長の推薦が必要です。基本的にはこれまで積極的な写真活動をしていた方が対象となりますが、意欲があれば、本格的な写真制作が未経験でも構いません。試験内容は「面接」と「小論文」です。「面接」では、〈学びのポートフォリオ〉を参考に高校時代にあなたが夢中になったこと、課外活動、これまで取り組んだ写真活動、そして写真に対する熱意を聞かせてもらいます。「小論文」では、あなたの写真に対する考え方や理論性を確認しながら創造性を評価しています。

## ●外国人留学生・帰国生選抜

外国人留学生や帰国生向けの区分です。「面接」と「小論文」による試験を行います。「面接」にはポートフォリオや作品の持ち込みは出来ません。教員との面談を通してあなたの写真に対する熱意、どんなことを学びたいと考えているか等を伝えてください。「小論文」では発想力や考察力などに着目しています。いずれの試験でも専門性と合わせて日本語能力やコミュニケーション力を評価しています。

## ●一般選抜N全学統一方式（第1期）専門試験併用型

学力検査（国語・英語）と「面接」で評価します。ポートフォリオの準備は必要ありません。「面接」では写真に対する意欲や情熱、コミュニケーション力などを評価します。なぜ日芸で写真を学びたいかを伝えてください。

## ●一般選抜N全学統一方式（第1期・第2期）

学部・学科間併願だけでなく、同一学部内の複数学科への併願が可能な区分です。一回の受験で複数の学科を併願することができるメリットがあります。学力検査のみで評価します。小論文が苦手な方、学力に自信がある方に向いています。

\*他にも日本大学付属高等学校所属の方向けの「**学校推薦型選抜（付属高等学校等）**」や校友の法定血族を含む2親等内直系血族が出願できる「**校友枠選抜**」などがあります。出願には条件がありますので詳細は別紙「**学校推薦型選抜（付属高等学校等）資料**」「**校友枠選抜要項**」及びホームページ等でご確認ください。

\*右ページでは〈学びのポートフォリオ〉と〈作品ポートフォリオ〉について解説していますが、いずれも制作意図やポイントを書いています。制作の目的を理解した上であなたらしい創造性溢れるポートフォリオをつくってください。

## 学びのポートフォリオ

- ・総合型選抜，学校推薦型選抜（公募制/付属高等学校等），校友枠の区分で受験する方に必要なポートフォリオです。
- ・このポートフォリオは作品集ではありません。写真作品ではなく〈あなた自身〉をプレゼンテーションするための一冊を制作してください。

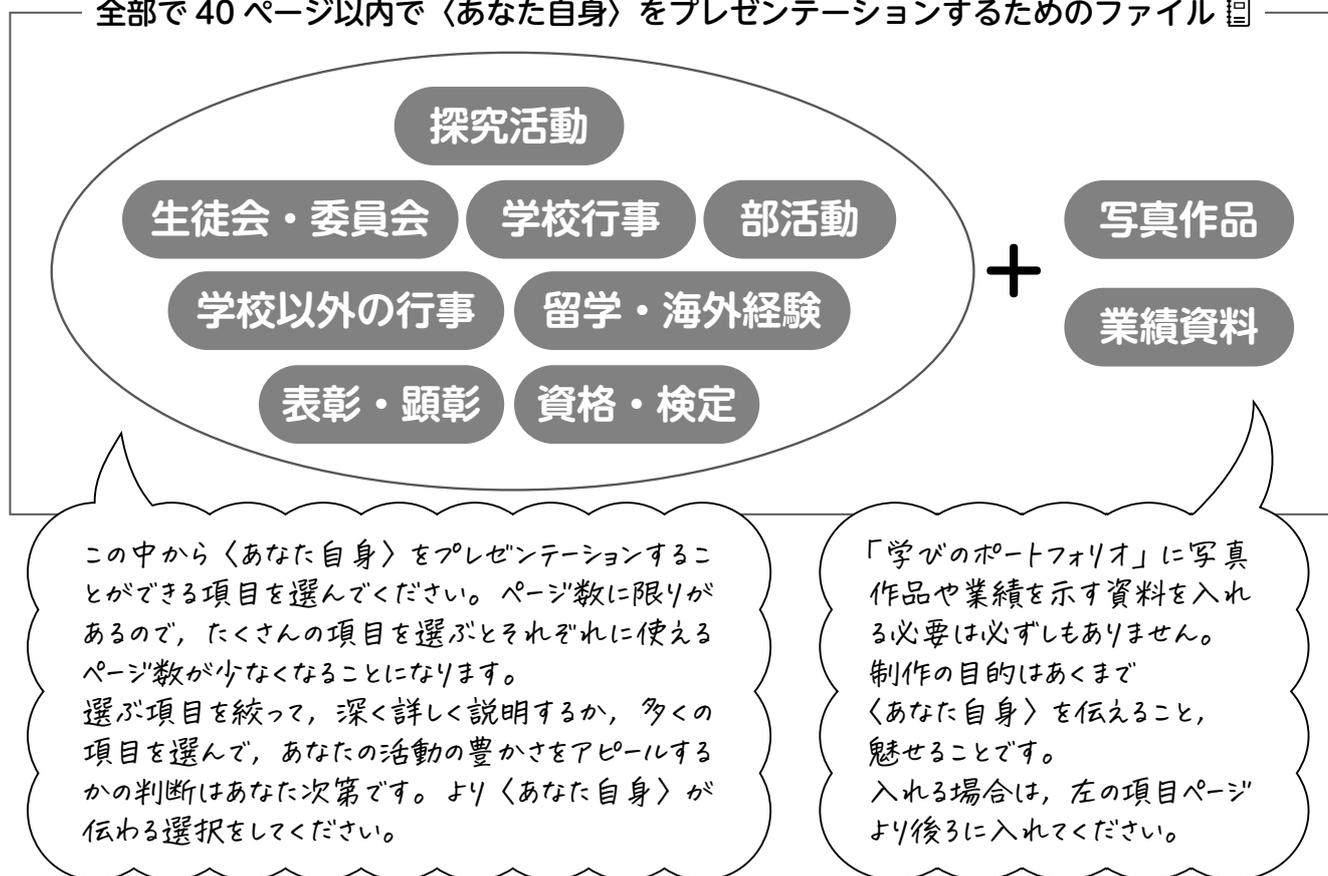
### 写真学科が指定する「学びのポートフォリオ」

探究活動，生徒会・委員会，学校行事，部活動，学校以外の行事，留学・海外経験，表彰・顕彰，資格・検定の8項目から，自身の学びのテーマに関連する項目を選択し，あなた自身をプレゼンテーションできるポートフォリオを制作してください。写真作品のみを入れるのではなく，これまでの各分野での経験や写真活動が分かるようにしてください。写真作品や写真関連の業績がある場合には前述頁以降に加えてください。

ポートフォリオはA4サイズのポケットファイル（20ポケット・40頁以内）とする。ポケットファイルは透明度の高いものを使用し，資料や写真が見えやすいようにしてください。また，ファイルの形状が変わってしまうような厚みのある資料は入れないでください。業績を示すための賞状等はコピーで構いません。

↓つまり，こういう理解です。

### 全部で40ページ以内で〈あなた自身〉をプレゼンテーションするためのファイル



- ・「学びのポートフォリオ」の1頁目には，受験番号や高校名，氏名をご記入いただきます。詳細は写真学科ホームページに7月中頃に掲載予定ですので，制作前に必ずご確認ください。

## 作品ポートフォリオ

- ・総合型選抜の区分で受験する方のみ必要なポートフォリオです。これは写真作品をみせるための一冊です。
- ・写真のみせるための一冊なので，ポケットファイルを使用する場合は透明度の高いものをご活用ください。

### 写真学科が指定する「作品ポートフォリオ」

A4サイズのポケットファイルを使用し10枚以上の写真で構成されている形式，もしくはフォトブックでも構いません。自分の撮影した写真（スマートフォンで撮影した写真も可）を他者に見せられる形式にしてください。

# 【映画学科】専門試験参考資料

## [ 映像表現・理論コース, 監督コース, 撮影・録音コース ]

### 小論文及び面接

#### 【総合型選抜】(60分・600字)

次の文章を読んで、自由な観点から論じてください。

※千葉雅也「センスの哲学」文藝春秋, 2024年, 202~204ページ

#### 【学校推薦型選抜(公募制)】(100分・1,000字程度)

なぜ人間は得体の知れないものに憧れると思いますか?あなたの考えを述べなさい。

※「天声人語」朝日新聞日刊, 2024年4月21日記事より抜粋, 朝日新聞社

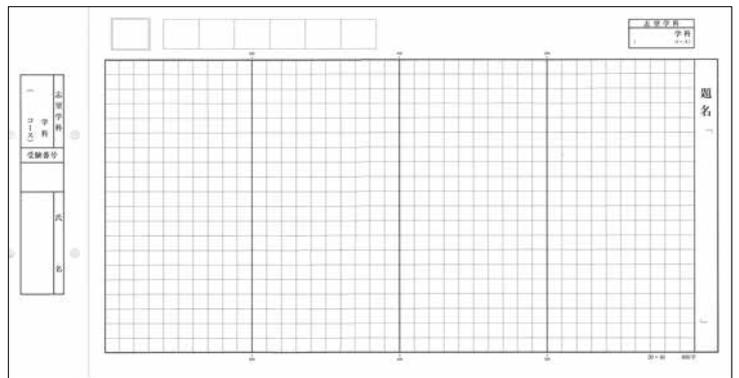
#### 【一般選抜N全学統一方式(第1期)専門試験併用型】(80分・800字程度)

次の文章を参考に“じぶん”(解答者や特定の人物を指しているわけではない)について論じなさい。

※土屋淳二「モードの社会学(上)ーファッション帝国の〈裸のプチ王様〉」学文社, 2009年, 97~98ページ

#### 小論文

小論文試験の試験問題に選ばれる題材には、決まった傾向はありません。映画や映像の知識の有無を測る訳でもありません。まずは、原稿用紙の使い方や、誤字脱字がないかといった基本的な文章能力が見られていると思ってください。さらに、出題意図をよく理解できているかどうかという読解力や、文章を論理的に展開できるかどうかという思考能力も見ています。



小論文解答用紙 ▲

#### 面接試験 (演技コースも同様)

面接試験では、自分の思いをしっかりと伝え、

質問には端的に答えてください。試験監督は普段通りの姿を見たいので、リラックスして臨んでください。

## [ 演技コース ]

### 実技

#### 【総合型選抜】

##### 発声1

次の内容をはっきりと述べてください。

受験番号( )番, ( 氏名 )です。出身は( 都道府県名 )で、学校は( 学校名 )高校を卒業する予定です。年齢は( )歳です。

##### 発声2

次の文章を朗読してください。

※「王道貫いた『SHOGUN』」日本経済新聞記事より抜粋, 2024年9月18日

##### 動作

次の内容をしぐさのみで表現してください。

〔設定〕部活が終わって帰宅する途中にゲリラ豪雨に遭った。なんとか家まで辿り着いたが、傘を持っていなかったのでびしょ濡れだ。

カバンの中から鍵を探し出し、ドアを開け家に入る。

シャワーを浴びようと浴室へ向かう。

浴室の電気を点け、タオルを準備しようとするとう電気が消えた。

電気のスイッチをもう一度押してみるが点かない。

暗がりの中を手探りでタオルを探し出す。

停電か、と窓外を確認するが外の様子はここからでは伺えない。

手探りでリビングに向かおうとすると、何かに躓いた。

咄嗟に壁に手を付き、倒れるのを免れた。

玄関のチャイムが鳴る。

両親も外出から帰ってきたようだ。鍵を開けるために玄関へと向かう。

(そのまま退出してください)

## 実技

試験内容は、「発声」・「動作」の二種類です。

「発声」は、書かれている文章をしっかりと理解し、はっきりと滑舌良く試験官に伝えてください。無理に感情を込める必要はありません。受験生がどのような声なのか、どのように声で表現するのかを見ています。

「動作」は、文章にあるシチュエーションや感情を仕草のみで表現します。試験内容を覚えていただき、書かれている内容を抜かすことなく確実に表現してください。

仕草のみと言っても決してパントマイムやジェスチャーではありません。「動作」の試験では、受験生が俳優として気持ちを含めた動作が出来るかどうかの素養を見ています。

映画や映像作品では、リアリティのある自然な演技が求められています。映画学科の実技試験では、いつも通りの自然な姿を見せて下さい。

「発声」と「動作」の実技試験は同じ会場を通して行い、試験の所要時間は5分程度です。試験問題が渡されてから、10分間の練習時間があります。

更衣室は設けていませんので、動きやすい普段着で来てください。



演技コース  
実技説明動画

### 発声 ▼



### 動作 ▼



## [ 絵画コース絵画専攻 ]

### 【総合型選抜】

**実技** 油彩・アクリル・木炭・鉛筆のいずれかを選択し 静物を描く

### 出題意図と評価のポイント

実技試験の課題は「静物を描く」です。静物を描いてもらうことによって、絵画における構成力や描写力等を総合的に判断します。画材は油彩・アクリル・木炭・鉛筆のいずれかを事前に選択していただきます。油彩・アクリルを用いた色彩による表現では、特に色感や配色について評価します。木炭・鉛筆を用いた素描による表現では、特にトーン（調子）の幅や的確さについて評価します。

静物のモチーフは卓上に配置してあります。各モチーフの形体の把握や質感の違いを描き分けることなども重要な要素ですが、まずは物がテーブルの上のしっかりと乗っているように描かれていること、背景が壁であるならば、そこに壁を感じることで、そして手前の物が手前にあるように、また奥の物が奥にあるように描かれていることなどが肝要です。



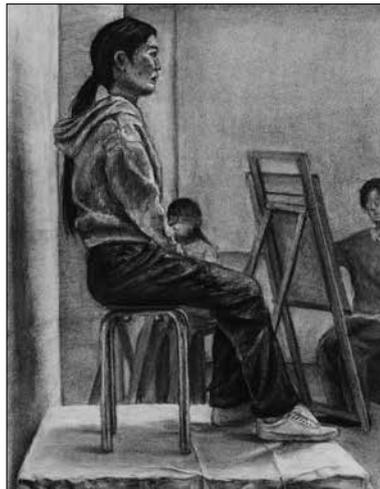
### 【一般選抜N全学統一方式（第1期）専門試験併用型】

**実技** 油彩・アクリル・木炭・鉛筆のいずれかを選択し 人物を描く

### 出題意図と評価のポイント

実技試験の課題は「人物を描く」です。人物を描いてもらうことによって、絵画における構成力や描写力等を総合的に判断します。画材は油彩・アクリル・木炭・鉛筆のいずれかを事前に選択していただきます。油彩・アクリルを用いた色彩による表現では、特に色感や配色について評価します。木炭・鉛筆を用いた素描による表現では、特にトーン（調子）の幅や的確さについて評価します。

モデル台の上に人物モデルがポーズをとっています。人物モデルの形体の把握と同時に、そのポーズのもつ重心や軸を見出すことが肝要です。人物モデルが台の上のしっかりと立っている（あるいは座っている）ように描かれていること、背景が壁であるならば、そこに壁を感じることで、画面上に手前と奥を感じるように描かれていることなどを評価します。



## [ 彫刻コース地域芸術専攻 ]

### 【全試験共通】

**小論文** (60分・800字以内)

日本国内、国外に限らず、あなたの考える地域をあげ、その場で行われる芸術祭やイベントなどを行う場合において、下記にある言葉の中から2つ以上を用いて、必要な問題点を述べてください。

地域 里山 集落 高齢化 少子化 過疎 伝統 SNS 若者 都市 アート 継続  
学校 SDGs 災害 ガイドツアー オーバーツーリズム 自然環境 多様性 五感

【総合型選抜】

### 出題意図と評価のポイント

試験によって提示される出題の言葉が少し変わることがあります。下記にある言葉とは、どの試験にも共通して出される言葉とその時点で社会問題になっている言葉が20ほど提示されます。自分の住んでいる地域の問題や関わったイベント、訪れたことのある芸術祭などから、自ら感じている問題点を自らの言

葉で述べてください。社会に関わっていくことを日常的に意識していると簡単に述べられると思います。

また国内外で行われている芸術祭の資料集や関連する図書などを読み、それぞれの特徴や意義などを知っておくこともおすすめします。

## [ 絵画コース版画専攻 ]

### 【全試験共通】

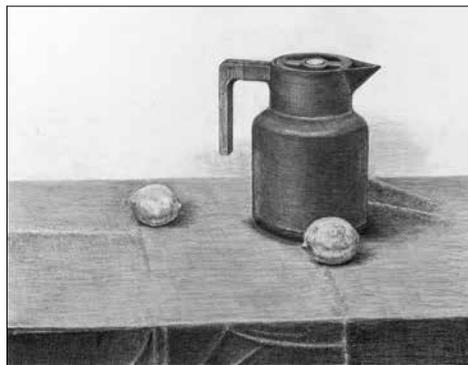
**実技** デッサン 鉛筆・木炭のいずれかを選択し 静物を描く

### 出題意図と評価のポイント

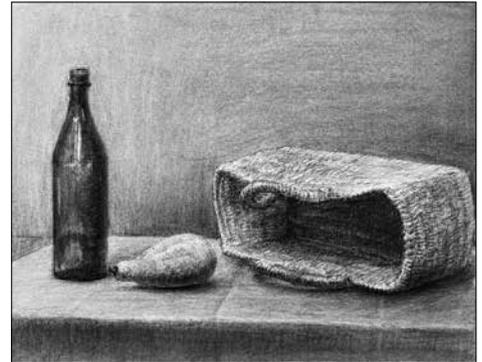
実技試験の課題は「静物を描く」デッサンです。画材は鉛筆または木炭のいずれかを事前に選択していただきます。モノクロの世界をどのように表現するかは、実技課題の静物モチーフと専門試験参考資料を参考して下さい。

台の上に置かれている静物を、どのように画面の中に入れるかを考えること(構図)からはじめます。次に、モチーフの形体や質感、モノとモノの関係性を的確に捉えているかどうかなどを総合的に判断します。

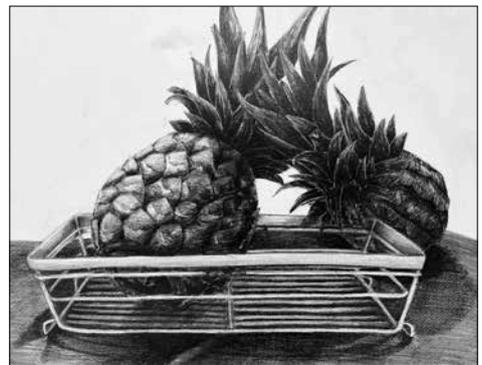
基礎的なデッサン力を身につけるには、良く観察して、感じることを、素材の質感や台との接点など気をつけて、丁寧に描く事が大切なポイントです。入学試験の際は、普段練習してきたことを最大限発揮出来るように、デッサンの枚数を重ねる事も自信に繋がります。



【学校推薦型選抜】



【総合型選抜】



【一般選抜N全学統一方式(第1期)専門試験併用型】

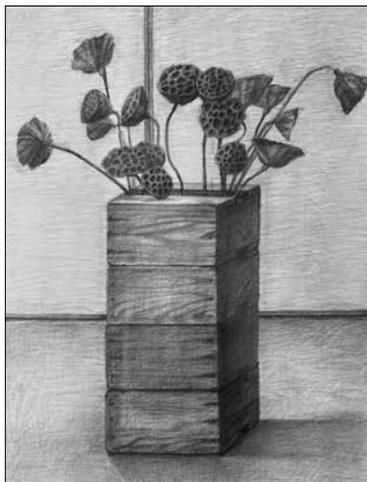
## [ 彫刻コース彫刻専攻 ]

### 【全試験共通】

**実技** デッサン 鉛筆・木炭のいずれかを選択し モノと空間を描く



【総合型選抜】



【学校推薦型選抜】



【一般選抜N全学統一方式(第1期)専門試験併用型】

### 出題意図と評価のポイント

試験会場に、モチーフが置かれます。植物と木箱など様々なものが出題されます。「もの」と空間を描く」という問題は、モチーフが作り出す空間全体を把握し、描画する画面に十分に構成されているかを見ていくことになります。種類によっては、「モチーフ全体を中央に一つ、部分を周辺に複数描きなさい」という問題の場合もありますし、「モチーフ全体を切ることなく大きく描きなさい」という場合もあります。どんなモチーフであっても、

ものの構造をよく観察することが重要で、全体と細部の関係性、面の大きさ、向き、捻れなどそれぞれの特徴を捉える能力が必要になります。モチーフを的確に捉えデッサンで伝える技術も重要ですが、自分で読み取った情報をデッサンとして表現できているかも重要な観点となります。モチーフを自分が彫刻として作るという制作者の観点でデッサンの練習を進めます。

# 【音楽学科】専門試験参考資料

音楽学科入学者選抜の課題については「音楽学科実技課題曲案内」(40～43ページ)を確認してください。  
また、学部Q&A(63ページ)も併せて確認してください。

## 〔情報音楽コース〕

### □ 口頭試問



### ◀ □ 口頭試問

情報音楽コースの口頭試問では、受験生が音楽にどのように接してきたかを審査します。

審査方法はあらかじめ用意してきた演奏動画を視聴しながら、質問に答えてもらうかたちです。動画は当日、スマホ、タブレット、ノートPCなどのデバイスを持参していただき、試験室に入室後再生してもらいます。演奏動画の内容に関してはどのようなものでも結構ですが、必ず受験者自身の演奏シーンが撮影されていることが条件です。

演奏曲のジャンルは自由で、ソロでもアンサンブルやバンドでも構いません。ただし、先ほど記載した通り、吹奏楽部の演奏会のような大人数の場合は、必ず受験生が確認できる画質の動画としてください。試験時間は5分から8分くらいですので、動画の長さは3～5分を目安とします。また、複数楽曲を審査対象としたい場合は、複数楽曲をひとつの動画にして再生してください。

自身が演奏しているシーンがあれば、どんなものでも良いというのが基本ですが、この基本に対してどれくらい勝負してくるかもみています。

動画撮影に関しては、演奏の部分差し替えなどの編集は避け、ワンテイクのものを用意してください。ただし、複数楽器の重ね録りは可能です。また、映像編集も可能ですが、ご自身の演奏かどうかがわからないような編集は認めません。

## 評価のポイント

評価ポイントは下記の3つです。録音技術や編集技術は基本的には評価には反映されません。

- ①音楽に対してどれくらい真剣に取り組んできたか
  - ②表現することに対して高い意識があるか
  - ③音楽を通じて人の心を動かすだけのパッションがあるか
- の3点です。

①に関してはこれまで音楽にどのように接し、どれくらい真剣に音楽制作や演奏、パフォーマンスに取り組んできたかを評価します。

②は演奏楽曲に対してどれくらいその音楽性を考え、演奏に反映させているかを評価します。

③は演奏された楽曲のクオリティに関わる部分で、演奏技術や音楽に対する理解度を評価します。

## 〔音楽芸術コース 音楽文化マネジメント専攻〕

### グループディスカッション

音楽文化マネジメント専攻では、チームで活動したり、実習を通じて学内外の人々と交渉したりする機会が多いため、高いコミュニケーション能力が求められます。この試験では、提示されたテーマについて少人数でディスカッションを行います。以下の点を重視し、受験生の能力を審査・評価します。

- ①傾聴力
- ②発信力
- ③質問力
- ④チームワーク・協調性
- ⑤リーダーシップ

### 評価のポイント

- ①他者の話をよく聞き、適切に応答できているか
- ②わかりやすく自分の意見を伝えられているか
- ③相手の意見を引き出すための適切な質問ができているか
- ④グループの一員として円滑な議論に貢献できているか
- ⑤適切な場面で議論をまとめ、方向性を示す役割を果たしているか

### □頭試問



◀ □頭試問

音楽文化マネジメント専攻の□頭試問では、受験生が事前に提出した600字程度の文章をもとに、質疑応答を行います。以下の点を重視し、受験生の能力を審査・評価します。

- ①これまでの音楽経験と音楽との関わり
- ②音楽への考え方や姿勢
- ③思考力・論理性
- ④表現力・説明力
- ⑤コミュニケーション力

### 評価のポイント

- ①どのような音楽環境で育ち、どんな経験をしてきたかを具体的に説明できるか
- ②音楽をどのようにとらえ、どんな価値を見出しているかを具体的に説明できるか
- ③自身の経験や考えを論理的に説明できるか
- ④わかりやすく自分の言葉で伝えられるか
- ⑤質問に対して的確に回答し、会話のやりとりができるか

写真はあくまでもサンプルとなります。実際の試験とは異なる場合もありますので予めご了承ください。  
また感染症等の状況により実施方法が異なる場合もあります。

## 作文 (800字以内) の解答例

課題 [2025年度学校推薦型選抜より]

次の二つのうちから一つを選んで文章を書いてください。  
(タイトルは自分でオリジナルのものをつけてください)

- ①「気づいてはならないこと」がある話を作文してください。〈作文〉
- ②「承認欲求」について自由に論じてください。〈小論文〉

題名「アンテナ」(①を選択)

窓の外では大粒の雨が、これでもかと言うくらい強く降っている。滝のような水のシャワーは、まるで世界の全てを飲み込んでしまおうみたいだ。ベランダの、屋根のあるギリギリの所へ出る。二十階建ての高層マンションの十八階、ここから下を見下ろすとかなり怖い。ただ立ち尽くして、何も感じないアンテナのことを考える。私には物心ついた時から、「アンテナ」があった。何か特別な事が起きる日の朝には、「今日は何かあるな」という勘が働く。幼い頃は言いたい放題言うタイプで、家族が用意してくれていた誕生日プレゼントの隠し場所を言い当てたら後で知り合いに、「可愛くない子どもね」と言われたことがあった。でも、ユキは違った。私の言う「アンテナ」の話を面白がって聞いてくれた、唯一の理解者。お互いもういい年になっても未だに週三のペースで会うくらいだ。もしユキに何かあったら、私はきつと頭がおかしくなってしまうから飛び降りると思う。そんなことを言ったら、ユキは言った。

「その時は私の命を代わりにあげるよ！」

ユキは冗談のつもりで言ったのだろうが、それでは意味がない。というか、元々病弱で入院しがちだったユキが言うに余計に笑えなかった。「やめてよ、もう」と言った後の笑い声が懐かしい。

「ピロン」

携帯の画面に、ネットニュースの通知が表示された。「都内で大規模な事故、巻き込まれた大勢のうち四十代女性一名死亡」とある。

「こんな雨の日にかわいそう」

呑気な独り言は雨音でかき消されて聞こえなかった。遠くの方で明るい灯りがついたと思えば、次第にサイレンの音が近付いてくる。ふとユキとの予定を思い出して、メッセージを送る。

「明日、何時にする?..」

中々既読にならない画面を見ながら、何も感じないアンテナのことを思った。

※この解答例は、読みやすさに配慮し、一部の記述を原文から変更しています。

## 出題意図と評価のポイント

作文は、短い小説あるいはエッセイ風の文章を書く課題です。論理性や客観性が重視される小論文に対し、作文ではユニークな発想、限られた文字数で読者の心に訴える構成力、描写の力などが求められます。とくに描写は、「説明」と混同しやすい点に注意。例えば「彼は悲しそうだった」と書くのが説明であり、涙を流す様子や声色の変化などを具体的に描き、読者に「彼は悲しそうだ」と感じてもらうのが描写です。本作は、予知のような超常的な力、それに伴う孤独、唯一の理解者たる友人、そしておそらくはその死という多彩な要素を組み合わせ、無常感と静謐な悲しみを描き

出している点が評価できます。「アンテナ」によって特別なことを察知できる主人公が、最も大切な人物の死は察知できない皮肉。さらに、その喪失を間もなく突き付けられるであろうこと。これらが暗示されることで奥行きのある読後感が生まれています。しかし改善すべき点も。設定が複雑であるがゆえ、もう一歩丁寧な説明や描写が必要な箇所が散見されます。例えば「お互いもういい年」といった記述はあるものの、事故死した40代女性=友人と直感するにはあと少し情報が欲しいところ。特にここは物語の鍵であるため、より慎重な設計が求められる局面でした。

## 小論文 (800字以内) の解答例

課題 [2025年度学校推薦型選抜より]

次の二つのうちから一つを選んで文章を書いてください。  
(タイトルは自分でオリジナルのものをつけてください)

- ①「気づいてはならないこと」がある話を作文してください。(作文)
- ②「承認欲求」について自由に論じてください。(小論文)

※ 800文字の作文・小論文を選択できるのは、学校推薦型選抜(付属高等学校等)、学校推薦型選抜(公募制)、学校推薦型選抜(日本大学競技部)、校友枠選抜となります。

### 題名「自戒」(②を選択)

他者に認められたい。それは人間の持つ当たり前の感情だ。私たちは人生の分岐点、すなわち受験や就活において他己評価でその先の自らを決定づけられている。そのような社会で生きている以上、承認欲求を抱くことはごく自然なことだと感じる。しかし、承認欲求という言葉は否定的な意味として使われることが多い。その理由は肥大化してしまったSNSにあると考える。

SNSは誰もが気軽に発信でき、情報も簡単に手に入る便利なツールだ。しかし、それを裏返すと、真偽不明な情報を誰もが発信、入手できるということになる。他者に良く思われたいという感情は当然皆ある。それに左右されることもある。ただ、SNSはその評価があまりにも分かりやすく可視化されてしまうのだ。その結果、正しいか判断できない、会ったこともない他人の情報が良く見えてしまったり、不快になってしまったりすることになる。自戒の念もこめた上で、どうして私たちは顔も見えない相手に評価されたいと、望んでしまうのだろうか。それは、「顔が見えない」からこそ、発信されている情報のみが、その人の全てだと思いきんでしまうことが、主な要因だ。対面で人と接する場合には、言動だけではなく、仕草、服装、食べている物、その他無数の情報から相手がどんな人間か推測することができる。一方SNSにおいては、相手が発信したくて都合の良い情報でしか判断できない。しかし、その情報に多くの好意的な反応があると、まるで正しく、素晴らしいものかのように錯覚してしまい、自らもその評価を求めるようになっていくのだ。

承認欲求が満たされると一時的な幸福が得られる。ただその感情は他者と比較するものではない。自分の全てを表すものでもない。他己評価以外のことで己を信じ、肯定することは、困難といえるが、それが叶ったとき、真に「承認欲求」が満たされたというのだろう。

※この解答例は、読みやすさに配慮し、一部の記述を原文から変更しています。

## 出題意図と評価のポイント

小論文は、根拠をもとに自身の主張を述べる課題です。評価のポイントは、主張に対して論理的かつ客観的な根拠が示されていること。それに加え、自分なりの視線で問いを立て、考えをまとめているか、すなわち「なぜ?」の発見に伴う独創性があることも評価を高める上で重要です。本論は、人が承認欲求を抱くのは「自然なこと」でありつつも、なぜ現状は否定的なニュアンスが伴うのかという問いから出発し、SNSの構造的な問題を論じることでその理由を説明しています。SNSと承認欲求の関係はかねてから広く議論されており、論旨の独創性が高いとは言えません。しかし、

あらゆる評価が数値化・可視化されるSNSの特性とその利用者における人間心理についてしっかりと考察がなされており、一定の説得力を見出せます。改善すべき点もあります。ひとつは、SNSが肥大化した社会とはいえ、実生活ではSNS以外のコミュニケーションで承認欲求が満たされる機会もあるはずで、その位置付けに対する筆者の考えが不明瞭であることです。また、筆者は結論として「他己評価以外のことで己を信じ、肯定する」ことの重要性を指摘していますが、これを実現するための具体的なアイデアを提示することで小論文の完成度がより高まったはずで

## 【舞台構想コース】



▲ グループディスカッションイメージ

### 出題意図と評価のポイント

舞台構想コースは、劇作、演出、企画制作、合計3つの専攻から構成されています。いずれも、舞台創造の根幹をなすセクションです。伸び伸びとしたアイデアと、実現へ向けた現実的なプランの両方が必要です。作文・実技試験では以下のポイントに注目します。

- グループディスカッション：発信力・傾聴力

自分と他者のアイデアを皆で共有し、意見を交わしながらブラッシュアップしてゆく過程。

- 作文：省察力・構成力

自分の知っていること、これから学ぼうとすることを、論理的に組み立て、他者に伝わる文章にすること。

## 【演技舞踊コース】



▲ 実技イメージ①

### 出題意図と評価のポイント

演技舞踊コースは、演技、舞踊、合計2つの専攻から構成されています。舞台表現のフロントに立つセクションです。実技試験では以下のポイントに注目します。

- 演技舞踊にかかわるもの：表現技術・創造性
- 実技表現課題：想像力・構合力

どちらも、演技専攻志望者は台詞表現、舞踊専攻志望者は舞踊による身体表現を原則とする。両専攻ともに、舞台上で必要となる表現技術と創造性の両立、さらに将来性を評価のポイントとする。将来、社会の中で他者とともに舞台表現創作を実現できる能力を大切にします。



▲ 実技イメージ②

## 【デザイン技術コース】



▲ プレゼンテーションイメージ

## 出題意図と評価のポイント

デザイン技術コースは、美術、照明、衣裳、音響、舞台監督、合計5つの専攻から構成されています。上記5つの専攻は、舞台芸術の創作及び上演において、互いに補完し合いながら芸術性を高めていきます。実技試験では以下のポイントで注目をします。

- グループディスカッション：相互理解  
自身のアイデアを、集団創作に生かすことができるかどうか。
- 口頭試問：省察力  
これまでの芸術に関する活動や感動をどう捉え、今後どうしようとしているか。
- プレゼンテーション：読解力・発想力  
与えられた課題を正しく読み解き、オリジナルな視点で分析できているか。

## 【出題のねらい】

制作者（送り手）の思いや考えをテレビ・ラジオの視聴者（受け手）に伝える力が放送人には求められます。その力を発揮するためには、受け手を意識することが大切です。放送学科の作文試験のねらいは、放送の世界を志す者として、ひとりよがりの文章ではなく、読む人を意識した文章が書けるかどうかを見ることにあります。また、その人が何を思い、何を考え、どのような感性を持っているのかなども見ます。

## 【試験について】

課題（作文の題名）は試験開始直前に試験監督者から発表されます（課題用紙を配布する場合があります）。提示された課題について、どのような作文を書くか考え、指定の時間（60分）・字数（600字）で取り組みます。その際、下書き用紙も配布します。なお、採点は複数の教員で行い、客観的に評価をしています。

## 【作文に求められる力】

作文に求められる力は、大きく3つです。

- 1, 着眼点 : 課題から発想した文章に自分らしい視点があること
- 2, 構成力 : 指定の字数で文章を構成し、まとめ上げる力
- 3, 表現力 : 自分の思いや考えが相手に伝わるよう、言葉にする力

自分の思いや考えを伝えるために言葉を適切に使い、決められた時間・字数の中に文章を収めること。そして、文章の中にありきたりではない自分らしい視点があること。これらは放送番組を企画、制作する上でも必要なことです。番組作りと重なる点があることから、放送学科では作文を専門試験としています。

## 【合格者の声】

試験日に初めて知る問題に対応するには、発想力と計画性が必要だと思います。

まず、発想力を高めるにはマインドマップがおすすめです。キーワードを中心に置き、そこからイメージを繋げることで思考を豊かにすることができ、作文のアイデアが浮かびやすくなります。

そして文章を書き始める前には、簡単な骨組みを作り、計画してから書くのがおすすめです。作文用紙を4つに分けて「起承転結」を割り振り、全体像をイメージしておくと、あとから書き直すことが減ると思います。また、私は塾の先生に作文を見せて添削してもらっていました。

読んでもらう人に伝わりやすい文章を心がけて練習することが、作文の上達の近道だと思います。

私は感性の積み重ねが文章になると思います。なぜ感動したのか、どこが面白いのか、普段素通りしている感情と向き合ってみてください。俯瞰的に捉えたり、細かく追求してみたり、複数の視点から感じたり、考えたことを言葉にすることを繰り返し、楽な言葉で逃げない習慣を身につけてください。日本語特有の繊細さを楽しむ好奇心が語彙力を高めます。

そして、良い文章を書こうと思わないでください。創作意欲や小手先の技術だけが先行してしまうと、本心とは離れた場所で文章ができてしまいます。目指すべき文章を知ることが大切ですが、一度自分から生まれる言葉を認めてあげてください。言葉に責任を持ちつつ、正直に自分と対話してみてください。あなたを感じることができた時、きっと心を動かす文章になっています。

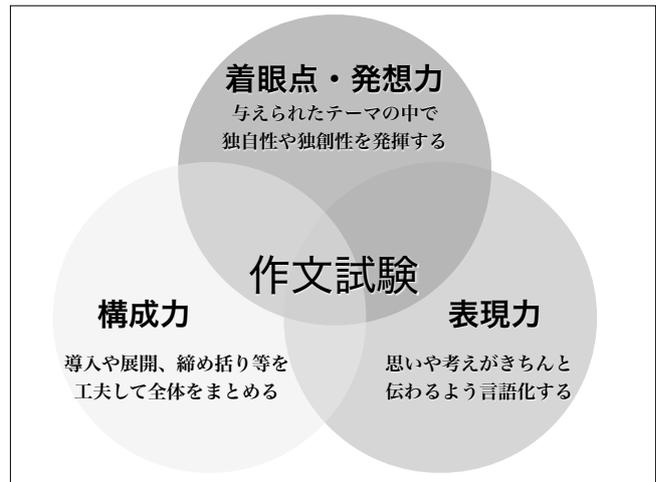
私が作文試験で意識して取り組んだことは「指定されたテーマからいかに発展させた題材で書くことができるか」で、マインドマップを使って他の人が気づけない視点をテーマから探し出す練習をしていました。

例えば私が受験した時のテーマだった「桜」だと、春、入学式、お花見など題材はいろいろ思いつきますが、私は「葉桜」を題材にし、桜の花よりも葉桜が好きだという私の母について書きました。花のイメージが強い桜で敢えて葉に焦点を当てて書いた人は他にいなかったのではと思います。

テーマが指定されていると聞くと構えてしまうかもしれませんが、文章のどこかにそのテーマがわかるものが紛れていれば成立します。気負わずに、自分の面白さを最大限表現してみてください。

## ■ あなたにしか書けない作文を

例えば「嘘」がテーマ(題名)の作文試験で求められるのは、「嘘とは何か」「人はなぜ嘘をつくのか」といった説明文や小論文ではありません。あなたなりの着眼点や発想にもとづいて書かれた「嘘」という作文の中に、読み手に伝えたいことや共感して貰いたいことがしっかり書かれているかどうかを見たいです。これまで積み重ねてきた経験、抱えてきた事情・葛藤、感じてきた喜怒哀楽、培ってきた価値観・美意識・問題意識等々はあなた固有のものであります。その一端をあなたなりの発想力・表現力・構成力を駆使して作文にまとめてください。それは、あなたにしか書けない作文のはずです。



## ■ 構成の全体像をイメージして書く

作文そのものに苦手意識はないものの、字数や時間に制限が設けられると「うまくまとめられない」という人もいます。書きながら次の展開を考えているため、行き当たりばったりの書き方をしてしまう。そういう人は、作文の全体像を明確にイメージしてから書き始めるようにしてみましょう。おすすめは、起承転結を象徴する4枚の「絵」や「映像」で全体像をイメージしてみる。そして、それらが情景としてありありと目に浮かぶような作文としていくのです。実は、テレビ番組の構成台本やドラマの脚本も、場所や情景、人物の様子や動き等の「映像」を指定しながら書きます。この書き方のコツを掴めば、作文試験だけでなく、将来放送業界に進んでからもきっと活かせるはずですよ。

### アドバイス ①

読み手にイメージさせたい情景を「絵・映像」として具体的に思い浮かべながら全体の構成を練ると、よりわかりやすく、より伝わりやすい作文になります。

- ▶ 起承転結の構成とするなら、各段落を象徴する4枚の「絵」を念頭に置く(4コマ漫画のようなもの)
- ▶ テレビ番組に置き換えるなら、どんなオープニング映像やナレーションで視聴者を食いつかせるか、またどんな展開を経て番組のクライマックスへと繋ぐか、そしてエンディングをどう締めくくするか考えてみる

書きながら次の展開を考えるのではなく、書き始める前に全体像をイメージしておくことが大切

## ■ 具体的な事実やエピソードにもとづいて

「母校の甲子園出場のために一生懸命応援したが、負けてしまい悔しかった」。このような文章は、読み手に大雑把な理解しかもたらしません。「一生懸命」「悔しい」といった形容動詞・形容詞は、様子や心情を大雑把に言い表しているに過ぎない言葉なのです。読み手の理解と共感を得るためには、それに見合う具体的な事実やエピソードを盛り込みながら、その時々様子や心情を表現することが大切です。例えば、「チアリーダーとして炎天下の球場で汗まみれになってダンスとパフォーマンスを繰り広げた」といった具体的な事実、また「野球部のみんなが整列して応援席に一礼したとき、幼馴染の背番号1が顔をくしゃくしゃにして泣いているのが見え、気がついたら自分も号泣していた」といったエピソード。それらを作文の読み手と共有することによって、はじめて共感が得られるのです。

### アドバイス ②

賑やか 華やか 静か 楽しい 面白い 嬉しい 悲しい

こうした形容動詞・形容詞だけでは、その場の様子や心情を読み手にきちんと伝えたことになりません。

- ×「東京ドームは、広くて賑やかだった。楽しかった」
- ×「ディズニーランドは、広くて賑やかだった。楽しかった」
  - 東京ドームとディズニーランドが、文章表現のうえで全く同じ場所になってしまう

広さや賑やかさについて、実際その場で見聞きした具体的な事実や体験したエピソードで表現するようにしてみましょう

自分で決めた題名で構いません。時間を正確に計って作文試験と同じ600字・60分で作文を書いてみましょう。そして、身近な人に読んでもらい、率直な感想を聞いてみてください。読み手を意識して書くことの積み重ねが、あなたに実力と自信を必ずもたらします。

# 【デザイン学科】 専門試験参考資料

## 一般選抜N統一方式専門試験併用型 実技(デッサン)

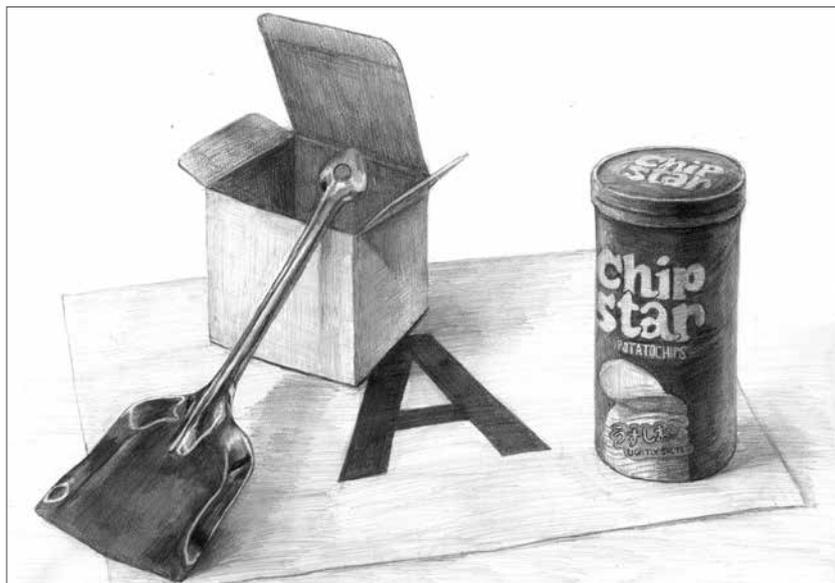
**課題** 与えられたモチーフ「チップスター」、「ステンレスつくだに盛り」、「フリーボックス(ホワイト)」、「Aがプリントされた上質紙(B4版)」を以下の条件にもとづき、台紙の上にセットし鉛筆でデッサンしなさい。

注：定規、コンパス、デッサンスケールは使用不可とする。ただしはかり棒の使用は可。

- 条件**
- 配布された「チップスター」は、蓋を外さずに配布時の状態のまま任意に配置して使用すること。またパッケージのロゴなどの印刷部分はできるだけ正確に描写すること。
  - フリーボックス(ホワイト)の上蓋は任意の角度に折り曲げて使用して良い。ただし、箱を完全には閉じず、中の内側の一部、もしくは全体が見える状態で固定すること。
  - 「Aがプリントされた上質紙(B4版)」は、他のモチーフの下に敷いてセットすること。



(条件詳細は35ページを参照)

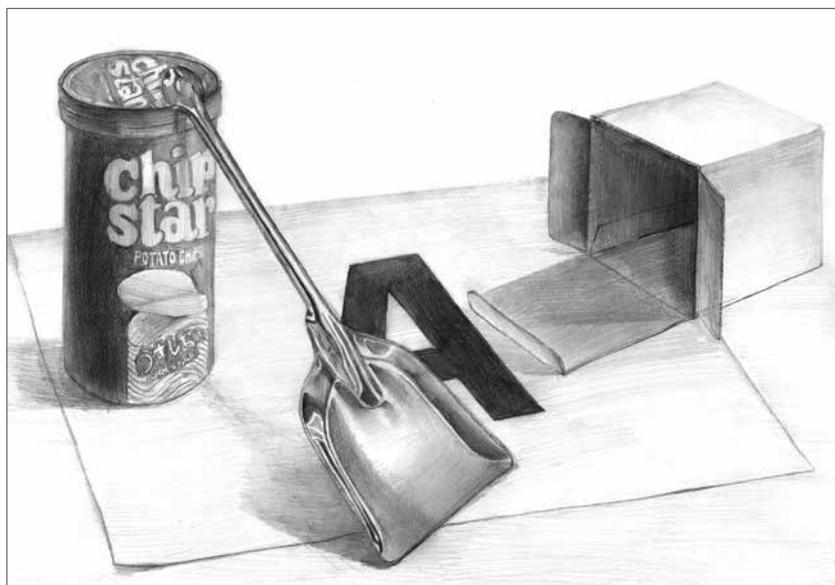


### ◀ 解答例 I

卓上での構成デッサンではまず、水平な床に対してモチーフが垂直に立ち上がっている台の構造がしっかりと捉えられているかが重要です。モチーフのパスや楕円はもちろんのこと、印刷された文字や図がしっかりと面に即しているかどうか大切な確認事項です。この作例はその点において自然にモノが置かれた状態が描かれており安定感を感じさせます。また、ステンレス佃煮盛りが、フリーボックスに立てかけたことによってできた三角の隙間の空間にできる光と影の関係もよく観察できており、空間の魅力を美しく描こうとする作者の意図をうかがわせます。

### 解答例 II ▶

出題されたデッサンのモチーフの固有色や、影色の濃淡、シャープなハイライトの捉え方など、明度の色幅を上手にコントロールし、しっかりとメリハリを感じさせる作品に仕上がっています。チップスターの箱の上面のレタリングがやや面に即しておらず、起き上がってみえてしまう点や、ステンレス佃煮盛りの構造的な見え方に、やや形の歪みを感じられる難点はあるものの、コントラストの効いたアイキャッチのポイントの設定が目をひきました。卓上構成としての演出力が評価された作品です。



## 出題意図と評価のポイント

すべての受験者が共通のモチーフを用い、時間内で制作します。モチーフはセットで一人ずつに渡されますので各自が自分の机の上でモチーフを組み、カルトンに画用紙をセットしてのデッサンになります。デザイン学科のデッサンは日常的に身の回りにあるモチーフを配布や想定で描く構成デッサンを出題します。問題を正しく理解した上でデザイナーとして必要な読解力、観察力、想像力、構成力、描写力を基盤とする総合的な造形力を採点判断の基準とします。

〈読解力〉 問題文の内容や意図の理解。

〈観察力〉 モチーフの形や大きさ、構造などの正確さや、質感、光と影の関係性など。

〈想像力〉 想定したモチーフや状況をイメージし視覚化する。

〈構成力〉 モチーフの扱い方や見せ方、組み合わせのバランスを考慮した構成や配置。

〈描写力〉 そこに存在する自然さとリアリティのある関係性の表現。

# 一般選抜N統一方式専門試験併用型 実技(デザインプレゼンテーション)

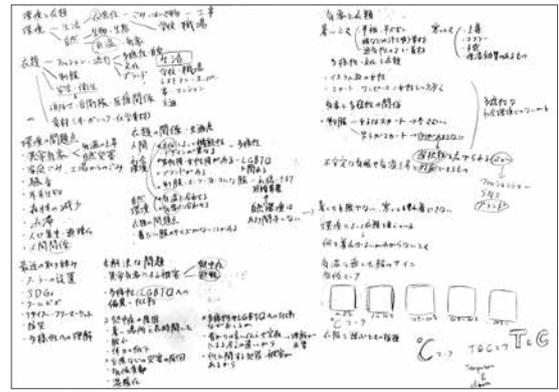
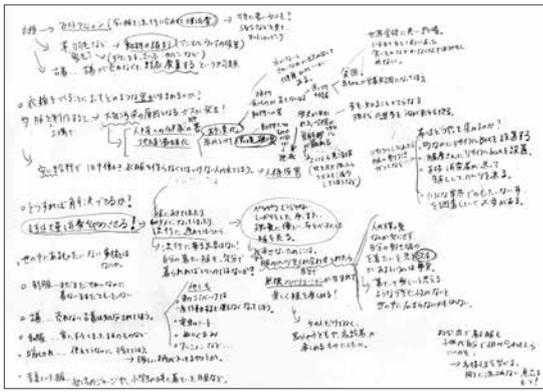
**課題** 私たちをとりまく環境と衣類にかかわる問題を見つけ出し、あなたが考えたデザインによる「問題提起」もしくは「問題解決」をなさい。

環境と衣類との関連性を考慮し、人間と両者との間にどのような問題があり、どうしたらそれをデザインで解決できるのか具体的に提案してください。または、気づきにくい問題点や面白さに着目し広く知ってもらうための提案でも構いません。例えば、新しい「製品」「空間」「サイン表示」、または「問題点や面白さを知ってもらうための広告」など、あなたが得意とする分野での実現可能な提案を求めます。(条件詳細は35ページを参照)

## ▼解答例Ⅰ



## ▼解答例Ⅱ



私たちが生きていく上で無くてはならない衣食住のうちの「衣」についての出題ですが、単にスタイルなどの外見のことや流行、好みの問題として捉えるのではなく、出題意図としては「環境」という切り口から問題点を見つけ出すことを促しています。したがって環境をどのように捉えるかによって衣類との接点を探ることになります。例えば、地球規模で注目されている大量の衣類のゴミやリサイクルに関連した問題や、地球の温暖化や気候変動、災害などの自然現象の問題など、さまざまな着眼点で衣類との関係を探ることが想定されます。

以上の観点から、解答例Ⅰは大量に消費されゴミと化している衣類の問題に着目し、使い捨てるのではなく、飽きずに長く使い続けることができる洋服の仕組みの提案です。洋服をパーツ化してそのパーツをパッチワークのように簡単に組み合わせることでアレンジすることができます。またパーツになる襟や袖なども古着やリサイクル素材によって再生されるという仕組みも提案されています。

一方、解答例Ⅱは、自然現象と衣類との関係に着目し、気温と天候にあわせた服選びが誰にでも容易にできるようにと、気温と天候をイラストで指標化するサービスを提案しています。その指標の組み合わせを衣類にタグなどで表示することにより、子どもからお年寄り、外国人にまで容易に気温や天候に最適な洋服を提示することができます。オンラインショップでの服選びの間違いを無くすことも考えられています。

## 出題意図と評価のポイント

出題文から問題を見つける「問題発見能力」に加え、それを解決する「問題解決能力」が試されます。更にはその解決方法に「独自性」が認められるか、「想像力」に富んでいるか、その中に「発想力とアイデアの展開力(幅広い視点でたくさんのアイデアを出せるか)」という点も含まれます。最終的にはそれらをわかりやすく表現するための工夫がなされているかという「プレゼンテーション力」とともに、その最終案が独りよがりの思いではなく、客観

的に共感が得られるアウトプットを導き出しているかという「提案力」を評価します。そのため、1枚目の最終案をまとめた答案用紙だけではなく、もう1枚提出する最終案に至るまでのアイデア展開の過程を記入した答案用紙も重要となりますので、これには考えた問題点やそれを解決するアイデアを思いつくままできる限り書き記すことがポイントとなります。

実技課題 学部Q&A  
専門試験 参考資料

## ● 総合

Q 一般選抜N全学統一方式(第1期)専門試験併用型の場合、実技試験だけの基準点はありますか？

A 学力検査と専門試験を合わせた総合成績の上位から合格となるので、基準点はありません。

Q 小論文・作文試験について教えてください。

A 小論文は、与えられたテーマに対して、真正面から捉え、短時間に思考を整理し、与えられた字数の中で、自分の言葉で文章として論理的に表現できるか、ということが問われます。

作文は、与えられたテーマから受けたイメージを、決してテーマからそれることなく、自分の感性や創造力を十分に発揮しながら、文章を創作してゆくことを求められます。もちろん、自分が体験したことを率直に書いても構いません。

どちらも、自分らしく述べること(オリジナリティ)が必要ですし、原稿用紙の基本的な使い方も身につけておく必要があります。

Q 実技試験について教えてください。

A 映画学科演技コース、演劇学科演技舞踊コース(他コースでは、一部入学者選抜で実施)と、美術学科、音楽学科、デザイン学科において実施しています。

このうち、演劇学科演技舞踊コース舞踊専攻と、美術学科、音楽学科、デザイン学科の実技については、ある程度の経験を必要とします。これまで全く経験のない方については、人一倍の努力が必要となるでしょう。

一方、映画学科演技コース、演劇学科演技舞踊コース演技専攻については、全く経験のない方でも十分対応することが可能です。

Q 面接試験について教えてください。

A 一般選抜N全学統一方式(第1期・第2期)学力検査型を除くすべての学科・コースで実施します。

形式は、学科・コースによって若干異なりますが、受験生1人に対し複数の面接官を基本としています。

1人あたりの面接時間はおよそ10分から15分、結果については点数化し、その他の試験との総合点で判定を行います。配点は学科・コースにより異なります。

原則として、専門知識は問いません。熱意や目的意識、すなわち大学で何をやりたいか、将来何をめざしているのか、などを聞くのがねらいです。

Q 総合型選抜を受験して不合格となった場合、学校推薦型選抜(公募制)や一般選抜を受験することは可能でしょうか？また、その場合の志望学科は同じでなければならないのでしょうか？

A 総合型選抜に不合格となった場合でも、学校推薦型選抜(公募制)や一般選抜を受験することは可能です。また、その際の志望学科が異なっても構いません。実際、総合型選抜で不合格になっても一般選抜等で合格している受験生も多くいます。

## ● 写真学科

Q 実技試験はないようですが、写真技術の経験などがなくても大丈夫ですか？

A 写真を一から学べるカリキュラムになっていますので、写真の技術的な経験はなくても大丈夫です。入学後に、しっかり勉強して技術を習得すれば、写真を使いこなすことができます。もちろん、ある程度の専門知識や技術を持っていることは良いことです。

Q カメラなどの機材や制作施設は大学で借りられますか？

A 作品制作の中心となるデジタル一眼レフカメラ、パソコン、プリンター等は個人で所有をしていただきます。

フィルム用一眼レフカメラ、大判カメラ、大型デジタルプリンターについては大学のものを利用できます。また、スタジオや暗室、デジタルフォトラボも貸し出しを行っています。

Q カメラなどの機材は、どの程度のものを持っていればよいのでしょうか？

A 写真を専門的に学ぶためには、現状主流のデジタル一眼レフカメラやパソコン、プリンターなどの機材は必須です。また、自分自身の表現や研究のための機材ですので、自分自身の制作傾向、将来の目的に合った機材が必要となります。さらに、フィルムによる写真制作をしたい場合は、フィルムカメラなどの機材もあるといいでしょう。必要な機材については、入学後の授業で詳しくご紹介します。

Q 写真学科が指定するポートフォリオについて教えてください。

A 写真学科が指定するポートフォリオは以下の通りです。

「学びのポートフォリオ」

探究活動、生徒会・委員会、学校行事、部活動、学校以外の活動、留学・海外経験、表彰・顕彰、資格・検定の8項目から、自身の学びのテーマに関連する項目を選択し、あなた自身をプレゼンテーションできるポートフォリオを制作してください。写真作品のみを入れるのではなく、これまでの各分野での経験や写真活動が分かるようにしてください。写真作品や写真関連の業績がある場合には前述頁以降に加えてください。

ポートフォリオはA4サイズのポケットファイル(20ポケット・40頁以内)とする。ポケットファイルは透明度の高いものを使用し、資料や写真が見えやすいようにしてください。また、ファイルの形状が変わってしまうような厚みのある資料は入れないでください。業績を示すための賞状等はコピーで構いません。

\*総合型選抜には別途「作品ポートフォリオ」が必要です。A4サイズのポケットファイルを使用し10枚以上の写真で構成されている形式、もしくはフォトブックでも構いません。自分の撮影した写真(スマートフォンで撮影した写真も可)を他者に見せられる形式にしてください。

\*いずれも詳細を写真学科特設サイトにて7月中頃に掲載予定です。詳細はホームページをご確認ください。

Q 編入学・転部試験の持参作品等について教えてください。

A 今までに積極的な写真活動をしてきた方に、その成果を提示していただきます。コンクールでの受賞や入選の実績がある場合は、作品とともに賞状または作品が掲載された印刷物を持参してください。

受賞・入選作を含む持参作品は、A4からA3ノビ、六つ切から大四つ切の組写真あるいは単写真も含め10点程度とし、作品については必ずキャプションの解説をつけてください。また、活動を客観的に説明できるものとして、展覧会の記録写真や作品の掲載された資料などをお持ちいただいても結構です。

## ● 映画学科

Q 映画学科では、映画配給などの映像ビジネスについて、勉強することはできますか？

A 映像表現・理論コースでは、映画ビジネスやマネジメントに関する授業を開講します。特に理論・批評専攻では映像理論や映画史を学びながら、将来の映画ジャーナリストや映画研究者だけでなく、企画者や配給会社などの映画ビジネスに携わる人材の育成も目指しています。

Q 将来は脚本家をめざしているのですが、映画学科で脚本を学ぶには映像表現・理論コースを選択すればいいのですか？

A 映画学科では数多くシナリオに関連する講座を開講しています。映像表現・理論コースは2年次からシナリオ専攻があり、シナリオライターをめざした専門教育が用意されています。1年次は映像理論や創作研究と共にシナリオ執筆の基礎を学びます。

Q 映像表現・理論コースでは、2年次以降の専攻はどのように決めるのですか？

A 基本的には本人の希望を尊重しますが、1年次の授業出席や課題提出の期限厳守など、勉学に対する姿勢に鑑みながら、相談の上で決定します。

Q 映画学科の施設について教えてください。

A 同時録音可能な大・中撮影スタジオ、クロマキー撮影や物撮りが可能な小撮影スタジオ、16mm、35mm映写機に加えDLPシネマプロジェクターを備えた上映施設、現像の基礎となる工学・化学の研究、分析、処理を行う総合ラボラトリー、大小7つの録音スタジオ、アニメーション室、ネガ・ポジ編集室、ビデオ編集室、ハイビジョン制作システム、映画美術制作室、照明特殊機材倉庫、映画メーキャップ室など、映画制作に必要な環境が整っています。

Q 総合型選抜映画学科の適性試験とはどのようなものを行うのですか？

A コースによって試験内容が変わりますが、作文、実技(撮影、身体表現、文章による創作、プレゼンテーションなど)、批評などを含みます。どのような適性試験になるかは、その時の映画や映像を取り巻く環境によって変わります。

Q 演劇学科の演技舞踊コースと授業内容はどう違いますか？

A 俳優として必要な演技の“基礎”は両学科に共通ですが、映像と舞台に関する学科内容の違いから、映画学科の場合は「発声」、「音楽」、「日舞」、「洋舞」など、幅広く科目を設置している点に特徴があります。

- Q 映画学科ではフィルムによる映画制作について学べますか。
- A 映画学科では16mm・35mmのカラー・モノクロ現像施設があり実習や課題、卒業制作等で撮影した映画用フィルムを現像し、上映することができます。教育機関としては世界的にも類を見ない充実した施設となっています。撮影・録音コースでは1年次より16mmフィルムでの実習を行います。

- Q 演技コースの実技試験用に着替える部屋はありますか？
- A 特に着替えは必要とせず、動きやすい普段着で構いません（更衣室は設けません）。

- Q 実技試験に要する時間を教えてください。
- A 演技コースの受験生は、面接試験等の待ち時間も含め、ほぼ半日から一日の間拘束されます。一連の実技試験を同じ会場で通して行い、練習時間を最低10分設けています。試験の所要時間は5分以内です。

## ● 美術学科

- Q 美術学科の特徴を教えてください。
- A 絵画コース絵画専攻では、絵画の基礎および普遍性を重んじ、西欧近代以降の色、形、コンポジションそして絵画空間の考え方を主軸としたカリキュラムにより、4年間じっくりと腰を据えて「絵画」を学び「絵」を描くことができます。また、版画専攻では、「感性を刺激する」ために、イメージ描写やドローイング、基礎的な素材や色彩にこだわり「版表現」の可能性を探ります。そして、「表現を広げる」ために、活版による絵本制作やペン画、イラスト、ポートフォリオ、アートブックなどで、表現を深めていきます。彫刻コースは、彫刻専攻に加え新たに地域芸術専攻が加わりました。彫刻専攻では、造形芸術における形の問題を、昨今忘れがちな基礎の反復と研究によって追求し、自らの表現に繋げていきます。また地域芸術専攻では、社会が抱える問題をアートの力を使って、直接社会と繋がりがながら、人の心を豊かにするための実践力を身につけます。両専攻とも外部での発表を積極的に行っており、社会との接点を多数設けています。

- Q 絵画コースに日本画の専攻がありますか？
- A 日本画専攻はありません。ただし、特別講座として組みこまれています。

- Q 入試の木炭デッサンでは、木炭紙の下敷きはありますか？
- A 木炭紙の下敷きの用意はありません。必要であれば各自持参してください。

- Q 入試の画材登録はどのようにできますか？
- A 募集要項等で指定された期間に「美術学科画材選択・専攻選択入力フォーム」より登録してください。

美術学科画材選択・専攻選択入力フォーム ▶



- Q 実技に関するレポートについて教えてください。
- A 実技試験中に考えたこと、制作において工夫したこと、特に見て欲しい部分、自分なりに上手く描けた点や反省点などを文章に400字以内でまとめてください。

- Q 絵画コース版画専攻の受験を考えているのですが、版画に関わる実技経験は必要ですか？
- A 版画制作の経験がなくても、版画の初歩的な指導から、鉛筆デッサンやペン画、イラスト、絵本など版画以外にも授業では表現の幅を広げるために授業プログラムを用意しています。

- Q 彫刻コース地域芸術専攻の受験を考えているのですが、彫刻にかかわる実技経験は必要ですか？
- A 1年次のカリキュラムの中で、「デッサン基礎」や「造形基礎」などの初歩的な技術指導がありますので、受験段階での実技経験の有無は問いません。

## ● 音楽学科

Q 課題曲はいつごろ決まりますか？

A 課題曲については、40～43ページをご覧ください。



音楽学科から  
のお知らせ



受験曲目届

Q 受験曲目の届出は、いつ行うのですか？

A 音楽学科受験生は、全員、「**受験曲目等**」を指定された期日までに学科サイトより入力し、自分の受験曲目を届け出なければなりません。詳細については、各募集要項にて指示します。

Q 情報音楽コースについて教えてください。

A 情報音楽コースでは、プログラミングなどの情報処理技術とともに、音楽理論や音楽表現を十分に学習します。詳細については、情報音楽コースホームページをご覧ください ([www.micnuart.com](http://www.micnuart.com))。

Q ライブやコンサートの音響を学ぶことはできますか？

A スタジオでの音楽制作が中心ですが、ライブやコンサートの音響技術者になる者も多数います。

Q 情報音楽コースの映像データはどのような形で提出しますか？また、どのような映像が好ましいですか？

A データの事前提出はありません。口頭試問の際に動画を見せていただきます。試験当日に自分のスマートフォンやタブレット端末、PCで再生できるようにしてください。また、バンド活動などの映像でも構いませんが、必ず本人と分かる映像で、顔ならびに全身が確認できるものとします（以下のサンプル画像を参考にしてください）。演奏時間は3分～5分程度で結構です。詳細は入試案内の「音楽学科実技課題曲案内」、「【音楽学科】専門試験参考資料」を確認してください。



演奏動画サンプル

Q 音楽文化マネジメント専攻について教えてください。

A 「音楽文化マネジメント専攻」は、営利・非営利を問わず、音楽文化を支えるマネジメントスキルを学ぶ専攻です。音楽業界の構造、法律、マーケティングなどについて学び、音楽文化と社会をつなぐ人材を育成します。

## ● 文芸学科

Q 学生の作品発表の機会はありますか？

A 授業の中で年1回ゼミ雑誌を作成・発行する機会があり、その中で各自の創作を発表することができます。

さらに、文芸学科の学生は、入学と同時に江古田文学会の学生会員となり、文芸誌『江古田文学』（年2回発行、市販）において創作、批評などの執筆作品発表の機会があります。

Q 主な設備について教えてください。

A 文芸学科には、コンピュータを多数設置した専用施設があります。DTP（パソコン画面上での編集・版下制作）に使用されるソフトウェア（InDesign等）もインストールされ、ゼミ雑誌作成のほか、学生個人の創作物等にも利用が可能です。また、多くの文芸関係専門書を取りそろえた文芸学科資料室があり、読書・自習の場として活用されています。

Q 他大学の文学部と同じ内容でしょうか？

A 文学部とは違います。文学を小説や批評といった創作活動、またジャーナリズムの幅広い表現活動の両面でとらえ、その養成を目的とした、文芸表現主体の学科です。

Q 文芸学科ではどのような資格を取得できますか？

A 文芸学科では、中学校・高等学校の「国語」の教員免許状を取得するための科目を開講しています。また、図書館の司書資格、および学校図書館の司書教諭資格を取得するための課程も開かれており、文芸学科生も数多く履修しています。そのほか、博物館の学芸員資格を取得するための課程も設置されており、一部の文芸学科生は履修しています。

Q 「学科指定施設内の資料の参照も可」と書いてある試験がありますが、どのような試験形式でしょうか？

A 総合型選抜の小論文または作文試験では、辞書の持ち込みが可能（電子辞書は不可）なほか、文芸学科資料室に所蔵されている図書や雑誌等を、閲覧しながら解答することができます。

Q 小説家を目指しているのですが、文芸学科ではそのための勉強ができますか？

A 文芸学科では、多様な分野の文芸表現を対象とした授業を開講しており、小説関連の科目を重点的に選択することで、将来の希望に応じた学びが可能です（例：小説論、SF小説論、ミステリー小説論、幻想小説論など）。また、全学年で必修の「文芸研究」でも、小説を専門とするゼミが複数あり、少人数制での創作指導や合評の実践が行われています。小説家を育てる役割を担う現役編集者をゲストに招くこともあります。その他、表現領域を広げ、内容を深めるための発展的科目も開講しております。これらの学修を経て、実際に小説家として活躍している卒業生が何人もいます。

Q 将来は出版業界で働きたいのですが、文芸学科ではそのための勉強ができますか？

A 文芸学科では、出版業界の実務家が講師を務める講義科目や、雑誌編集のために必要な技術を学ぶ演習科目を開講しています。また、ゼミ雑誌を作成する際に、企画や編集などを学生が担当して一から誌面作りを経験することもできます。文芸学科での学びは、編集者や校閲者、ライター、ジャーナリストなど、出版業界に関わる多様なキャリアへ繋がります。

## ● 演劇学科

Q 各コース、専攻を決定する時期はいつですか？

A 舞台構想コースは入学時に、劇作、演出、企画制作のいずれかの専攻を申請していただきます。同じく、演技舞踊コースも入学時に、演技、舞踊のどちらかの専攻を申請していただきます。デザイン技術コースは、1年次には、希望する専攻を軸に様々なセクションに触れ、2年次に美術、照明、衣装、音響、舞台監督のいずれかの専攻を申請していただきます。

Q 希望する専攻によって入試の内容は変わりますか？

A 原則、各コースごとの入試内容ですので、希望専攻によって試験科目が変わることはありません。ただし、演技舞踊コースに関しては、実技の際、希望専攻にあった実技内容（台詞表現か身体表現）を求めます。

Q 日本舞踊は勉強できますか？

A カリキュラムの中に日本舞踊や古典芸能を学ぶことができる授業が用意されています。

Q 卒業後、プロになれますか？

A 何をもってプロとするのかは難しい問題ですが、卒業生には、芸能界、声優、エンターテインメントの世界、舞台芸術の世界、で活躍する人がキャスト・スタッフ問わず大勢います。

## ● 放送学科

Q 実習施設にはどのようなものがありますか？また、その施設では実際にどのような授業が行われているのか、教えてください。

A 施設としては4K対応を含むテレビスタジオ2つ、ドルビーアトモス対応などの録音スタジオ4つ、多数のビデオ編集室、MA室のほか、ビデオ収録車やCDライブラリーなどがあります。それぞれのスタジオは現在のテレビ局・ラジオ局とほぼ同じ機能を持っています。また、すべての施設をネットワークでつなぎ、多様な実習が行えるようになっています。

スタジオを使つての実習は、1年次から行われ、企画から番組完成までのプロセスをくり返し実作しながらトレーニングしていきます。さらには、受講生の個性的な企画も取り上げ、それぞれの創造力を引き出すよう配慮しています。また、テレビカメラをはじめとして、照明設備、音声調整卓の操作などの技術面の実習、屋外でのロケーションや取材・音楽録音の実習なども行います。

Q 実習の分野にはどのようなものがありますか？また、どのようにして履修するのか、教えてください。

A 放送学科は「テレビ制作」「ラジオ制作」「映像技術」「音響技術」「CM」「脚本」「アナウンス」の7つの実習を設置しています。これらの中から必ず1つを選び、1年次後期、2・3年次と段階制で履修します。また、実習を2つ履修する“ダブル受講”もできます。なお、第一志望で選択した実習については希望通り履修できますが、2つ目の実習については、各実習が設定している定員数に基づいてダブル受講希望者の募集実施有無を決め、希望者を募った場合は、実習を担当する教員が選抜を行います。

Q 声優やDJ（ラジオパーソナリティ）を目指しているのですが、放送学科ではそのための勉強はできますか？

A 声を使った職業は多岐にわたりますが、放送学科は放送局（テレビ・ラジオ）のアナウンサーを志望する者の育成をめざしています。人と話しをすることが好きで、自分の言葉で人に何かを伝えることに強い志を持つ者を求めます。声優やDJ（ラジオパーソナリティ）を育成するための授業は設けていません。

## ● デザイン学科

Q デザイン学科の特徴を教えてください。

A 1年次では、必修授業を通してデザインの基礎知識と技術の修得に専念します。併せてビジュアルコミュニケーション、プロダクト、建築等の各デザイン分野の基礎演習や実習からその概念や意義を修得し、専門領域での学びを深めるための基礎力をつけます。2年次以降は自らが選択した授業（専門領域）を核に、必要とする他の領域を自由に学びながらデザイン手法を修得し、多様な社会の要請に応えられるデザイン力を身につけることができます。

Q 面接の参考資料とするための自作作品が大型の場合どうすればいいでしょうか？また評価について教えてください。

A 持参できる大きさの物にしてください。または写真に撮って持参することも可とします。  
なお、持参作品は面接時の参考資料とし、作品そのものは採点しません。

Q 過去の一般選抜N全学統一方式（第1期）専門試験併用型の実技課題と評価ポイントについて教えてください。

A 2025年度（昨年度）の実技課題については、35ページを参照してください。  
評価ポイントについては、58、59ページの専門試験参考資料及びデザイン学科ホームページを参照してください。

# 授業等について

## 授業について

本学部の授業形態は、芸術に関する知識・理論を学ぶ「講義科目」、経験豊富な教員の指導の基に研究・創作を行う「演習科目」、学生自ら研究・創作の成果を作り上げる「実習科目」などを、最新鋭のスタジオ設備群や本格的な専門設備を完備した各種ホール、専用の展示施設等を使用して、4年間で実践的に学びます。

また、大きな特色の1つとして、学科の専門領域を超えて横断的に科目の履修が可能となる、「他学科公開科目」が設置され、学生個々の興味関心に合わせた科目履修が可能となっています。

さらに全学科の学生が履修可能な「芸術総合講座」では、芸術分野の専門家や社会の第一線で活躍されるクリエイター等を多数招き、リレー形式にて1つのテーマを様々な視点から学ぶ授業を開講しています。講座には有名企業へ訪問し、実務的授業を受講する等、貴重な社会経験を積む授業もあります。

こうした高度な専門性を養うカリキュラム、横断的な履修方式やユニークな授業科目など、多様な学びの在り方こそが、「日藝」ならではの授業＝創作活動の基盤です。

## 取得資格について

### ●学 位 学士(芸術)

### ●教員免許状(教職課程)

各学科においては、右表の免許状を取得できます。

### ●学芸員資格(学芸員課程)

本学部では、学芸員(博物館、美術館等で資料の収集や保管、展示及び調査研究を行う専門職員)の資格を取得するための課程を設けています。

### ●司書教諭資格(司書教諭課程)

学校図書館の運営・活用について中心的な役割を担

う司書教諭の資格を取得するための課程です。司書教諭の資格を得るためには、所定の科目を修得し、教育職員免許状(免許の種類・教科は問いません)の取得が必要となります。

### ●司書資格(司書課程)

都道府県や市町村の公立図書館等で図書館資料の選択、発注及び受け入れから、分類、目録作成、貸出業務、読書案内などを行う専門的職員の資格を取得するための課程です。

### ●一級建築士<デザイン学科>

所定の建築士試験指定科目を修めて卒業し、試験に合格したうえで、大学卒業後の建築実務経験を2年以上経ることにより、一級建築士として登録されます。

### ●二級建築士、木造建築士<デザイン学科>

所定の建築士試験指定科目を修めて卒業することで、受験資格を得られます。

学 科	中学校一種	高等学校一種
美 術	美 術	美術, 工芸
音 楽	音 楽	音 楽
文 芸	国 語	国 語
デザイン	美 術	美術, 工芸

## 転科・転コースについて

学部内で所属学科を変更することを「転科」と呼びます。転科試験については11月頃に受験資格、手続き要領などを掲示板に掲示します。また、学科内で所属コースを変更する「転コース」については、転科に準じて認められることがあります。

しかしながら、転科・転コースはあまり望ましいことではありません。入学者選抜の出願にあたっては、自分が何を目的としているか、何を学びたいのかといった視点から志望学科・コースを決めるようにしてください。

### ≪2025年度転科試験実施状況≫

転科希望学科	出願者数	受験者数	合格者数
写 真	0	0	0
映 画	1	1	0
美 術	0	0	0
音 楽	1	1	0
文 芸	0	0	0
演 劇	0	0	0
放 送	1	1	0
デザイン	0	0	0
合 計	3	3	0

本学部においては、卒業するために必要な単位数を124単位以上と定めています(令和7年度参考)。

科目区分		必要単位数	備考
全学共通教育科目		—	「自主創造の基礎」「日本を考える」 ※履修推奨科目
(各学科共通授業科目) 芸術教養課程科目	芸術教養科目	14単位以上	
	外国語科目	8単位以上	ただし、1か国語4単位を含む8単位以上
	保健体育科目	3単位以上	講義2単位、実技1単位は必修
所属学科授業科目・共通専門教育科目		58単位以上	
その他		41単位以上	日本大学相互履修科目、他学科公開科目などを含む
合計		124単位以上	

**全学共通教育科目**のうち、「自主創造の基礎」は、大学入学までの受動的な学習から転換を図り、「自ら学ぶ」「自ら考える」「自ら道をひらく」能力を養い、大学生としての能動的な学修を導くことを目的とした授業です。「日本を考える」は、異文化及び異分野の多様な価値を受容し、日本及び世界の中での自己の立ち位置や役割を意識し、以後の学修目標の明確化やモチベーションの向上を目的とした授業です。

**芸術教養科目**は、大学の学生としてもつべき基本的教養、各芸術分野にまたがる総合的視野を身につけるために設置されている科目です。

**外国語科目**は、基礎的な語学力を身につけるとともに、国際人としての基本的な教養を学ぶために設置されている科目で、英語・ドイツ語・フランス語・イタリア語・中国語・日本語(留学生のみ)だけでなく、韓国語・スペイン語・ラテン語や、各外国語の応用・実践クラスを自由に履修することができます。

**保健体育科目**は、講義と実技に分かれています。講義では日常の健康法やスポーツの歴史などを学び、実技ではスポーツの技術を修得します。実技科目には、各種球技やフィットネストレーニング・ボクササイズなどのほか、スキー・スケートなどのシーズンスポーツが開設されています。

**学科別授業科目**とは、各学科の専門科目のことです。どの学科の専門科目も、A 理論・歴史 B 研究 C 表現技術の3部門により構成されています。A部門では、各分野の芸術について、基本から応用までの理論と歴史を学びます。B部門では、それぞれの芸術に特有のテーマについて、各先生の研究成果をもとに、より専門的な授業が行われます。C部門では表現の技術を実践的に身につけるための演習・実習授業が、コース別・専攻別に行われます。

学科別授業科目は、自分の所属する学科以外の科目でも履修することができます。ただし、これには条件があり、学科別授業科目のうち、「他学科公開科目」として定められている科目に限られています。

また、特別プログラムとして「**芸術総合講座**」が開設され、さまざまな芸術領域の最新情報や技術を、オムニバス形式の授業により学ぶことができます。一部の授業では実際の作品創りやワークショップなど、実践的、創造的な授業を展開しています。

**共通専門教育科目**は、芸術プロジェクトをベースにした実践型・参加型の学習形態科目となり、芸術活動に必要なコミュニケーション力や課題探求力、自己表現力など様々なスキルを身につけ、初年次に全学共通教育科目や各学科の基礎科目で培った能力をさらに養い発展させる事を目的とした授業です。

このほか、卒業単位には含まれませんが、**教職課程**、**学芸員課程**、**司書教諭課程**及び**司書課程**の科目も設置されています。

大学での学習に何を求めるか、学生一人ひとりが主体的に考え、さまざまな授業科目を組み合わせ「自分だけの時間割」を作るところに、大学での学びの面白さがあります。学科・コースにより必修科目、必修ではないが履修することが望ましい科目がありますし、科目によっては履修する学年が指定されている場合もありますが、それでも各自の目的の違いによって、大学には学生の数だけの時間割が存在するといつて良いのです。

### インターンシップについて

芸術学部では、学生が自らの専門分野や将来のキャリアに関連した〈実社会の現場〉で業務体験を行うことを通じて、各自の〈職業観〉を身につけることを目的に、「芸術学部インターンシップ制度」を設けています。

写真、映画、デザイン学科においては、選択科目として年間の正規の授業に組み入れられており、原則的に3年生の夏休みに集中的に行われます。教室での授業では得られない実社会の体験を通して、社会人としての自覚を意識できるチャンスであり、また自分に合った職業を見つめ直すチャンスでもあります。

## 入学金・授業料等納入金について [2026年度]

入学者納入金は下表のとおりです。合格後、入学手続の際に必要な納入金は以下の「前学期計」の金額となります。  
 なお、2年次以降卒業年次までの納入金の年額については、原則として、入学金を除く入学年度の納入金と同額となります。  
 また、入学後の学費等の納入期限は、前学期は4月末日まで、後学期は9月末日までとなります。

(単位：円)

学科・コース	納入区分	入学金 (入学時のみ)	授業料	施設設備 資金	実験 実習料	後援会費	校友会費 [準会員]	前学期計 後学期計	初年度 年額	2年次以降 年額	
写 真	入学手続時(前学期)納入金	260,000	555,000	200,000	50,000	10,000	10,000	1,085,000	1,900,000	1,640,000	
	後学期納入金	—	555,000	200,000	50,000	10,000	—	815,000			
映 画	映像表 現・理論	入学手続時(前学期)納入金	260,000	570,000	200,000	50,000	10,000	10,000	1,100,000	1,930,000	1,670,000
		後学期納入金	—	570,000	200,000	50,000	10,000	—	830,000		
	監督, 撮 影・録音	入学手続時(前学期)納入金	260,000	570,000	200,000	75,000	10,000	10,000	1,125,000	1,980,000	1,720,000
		後学期納入金	—	570,000	200,000	75,000	10,000	—	855,000		
	演技	入学手続時(前学期)納入金	260,000	570,000	200,000	40,000	10,000	10,000	1,090,000	1,910,000	1,650,000
		後学期納入金	—	570,000	200,000	40,000	10,000	—	820,000		
美 術	入学手続時(前学期)納入金	260,000	550,000	200,000	60,000	10,000	10,000	1,090,000	1,910,000	1,650,000	
	後学期納入金	—	550,000	200,000	60,000	10,000	—	820,000			
音 楽	入学手続時(前学期)納入金	260,000	555,000	200,000	60,000	10,000	10,000	1,095,000	1,920,000	1,660,000	
	後学期納入金	—	555,000	200,000	60,000	10,000	—	825,000			
文 芸	入学手続時(前学期)納入金	260,000	520,000	200,000	25,000	10,000	10,000	1,025,000	1,780,000	1,520,000	
	後学期納入金	—	520,000	200,000	25,000	10,000	—	755,000			
演 劇	入学手続時(前学期)納入金	260,000	555,000	200,000	35,000	10,000	10,000	1,070,000	1,870,000	1,610,000	
	後学期納入金	—	555,000	200,000	35,000	10,000	—	800,000			
放 送	入学手続時(前学期)納入金	260,000	570,000	200,000	50,000	10,000	10,000	1,100,000	1,930,000	1,670,000	
	後学期納入金	—	570,000	200,000	50,000	10,000	—	830,000			
デザイン	入学手続時(前学期)納入金	260,000	550,000	200,000	45,000	10,000	10,000	1,075,000	1,880,000	1,620,000	
	後学期納入金	—	550,000	200,000	45,000	10,000	—	805,000			

※卒業予定年次後学期に、日本大学校友会正会員費初年度分として10,000円を代理徴収いたします。

### 奨学金制度・授業料減免制度

奨学金は、学業生活を充実させるための経済的支援です。

向学心があるにもかかわらず経済的な理由により修学が困難な場合や学業成績優秀者に奨学金を給付・貸与しています。

日本大学の奨学金制度や芸術学部独自の奨学金制度、また、学外の日本学生支援機構や地方公共団体・民間育英団体の奨学金制度も活用することができます。

なお、高等教育の修学支援新制度に採用となった場合、各奨学金制度との併給ができない可能性があります。



# 入学後のキャリア形成について ～卒業後の「職」を考える～

大学入学前の皆さんが卒業後のことを考えるのは難しいところもありますが、今では多くの大学で早期から「職業」に対する教育に力を入れています。本学部も芸術に関する専門的な教育はもちろんのこと、就職指導委員会とサポートセンターを中心に学生の就職活動に対しても全面的にバックアップする態勢を整えています。

## ■ キャリア形成に関する主なスケジュール [参考]

1年次生	2年次生	3年次生					
		4月	5月	6月	7月	8月	9月
幅広い芸術領域を授業で体験するとともに、ガイダンス等で、将来の進路も見据えます。 サポートセンターが実施する <b>キャリアガイダンス</b> （内容：「自己分析の仕方」ほか）を活用して、早い段階から「職」に「就く」意識を持てるようにしましょう。	具体的な進路先を決めるにあたり、何を参考にすればよいのかわからないという声があります。 サポートセンターが実施する <b>業界研究講座</b> （内容：各種業界紹介）を活用して、自分の適性や自分が希望する業界や職種などについて考えてみましょう。						
		就職指導講座 ※下記一覧参照			※下記一覧参照		
		自己分析、業界・企業研究、筆記試験対策					
		インターンシップ					

3年次生						4年次生											
10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
就職指導講座 ※下記一覧参照																	
自己分析、業界・企業研究、筆記試験対策																	
						会社説明会・エントリー											
インターンシップ						採用試験											
						内定											
採用																	

## ■ 就職指導講座（3年次生対象）の一部 [参考]

講座名	内容
就職活動スタートアップ講座	就職活動のスケジュールや事前の準備の進め方などを説明するとともに、併せて卒業生の主な就職先や業界を紹介する
インターンシップ講座	多種多様化するインターンシップの全体像を整理して説明するとともに、業界研究や企業研究の方法、インターンシップに参加するための選考対策方法などを具体的に解説。その他、代表的な就職情報サイトを紹介する講座も設ける
筆記試験対策講座	企業が使用する筆記試験の出題傾向と対策を解説
UIJターン講座	地方での就職を目指す人向けに知っておくべきポイントを解説
ポートフォリオ作り方講座	クリエイティブ職種希望者必須のポートフォリオ（作品集）の作成方法などのポイントを具体的に解説
動画選考等対策講座	最近増加している自己PR等の動画の作成方法について解説
マスコミ業界対策講座	多くの本学部の学生が就職を希望するマスコミ業界のうち、音楽・出版等の分野に焦点をあて、各回ごとにその分野に携わっているゲストを招いて業界の実情や採用動向などを解説
履歴書/エントリーシート書き方講座	就職活動において最も基本的かつ重要な書類である履歴書やエントリーシートの書き方を具体的に解説
面接/グループディスカッション基礎講座	面接やグループディスカッションを受ける際に必要な知識を学んだ後、さらに模擬形式で体験し現在の自分の準備状況を把握することで、弱点の修正を図る
面接/グループディスカッション実践講座	
教員採用試験対策講座	本番までの勉強スケジュール、筆記試験、論作文等の勉強法について解説
フリーランス・企業家入門ガイダンス	フリー・個人事業主等で働く場合の会社設立、税務処理等、注意点を解説

上記以外にも、各種講座を実施しています。

# 卒業制作等，学生の作品発表を見るには…

芸術学部では，教育の成果として，年間にわたり学生の作品が発表されています。写真・絵画・彫刻・デザインなどの展示，映画・放送等の映像作品の上映，芸誌ほか各学科研究誌の出版，音楽・演劇・舞踊の上演といったように，発表の形式・内容もバラエティに富んでおり，こうした作品の中には，学外の各種コンクールにおいて審査を受け，受賞するものも数多くあります。

学部では，各学科の実習内容を理解していただくためにも，これらの発表をぜひ見ていただきたいと願っています。

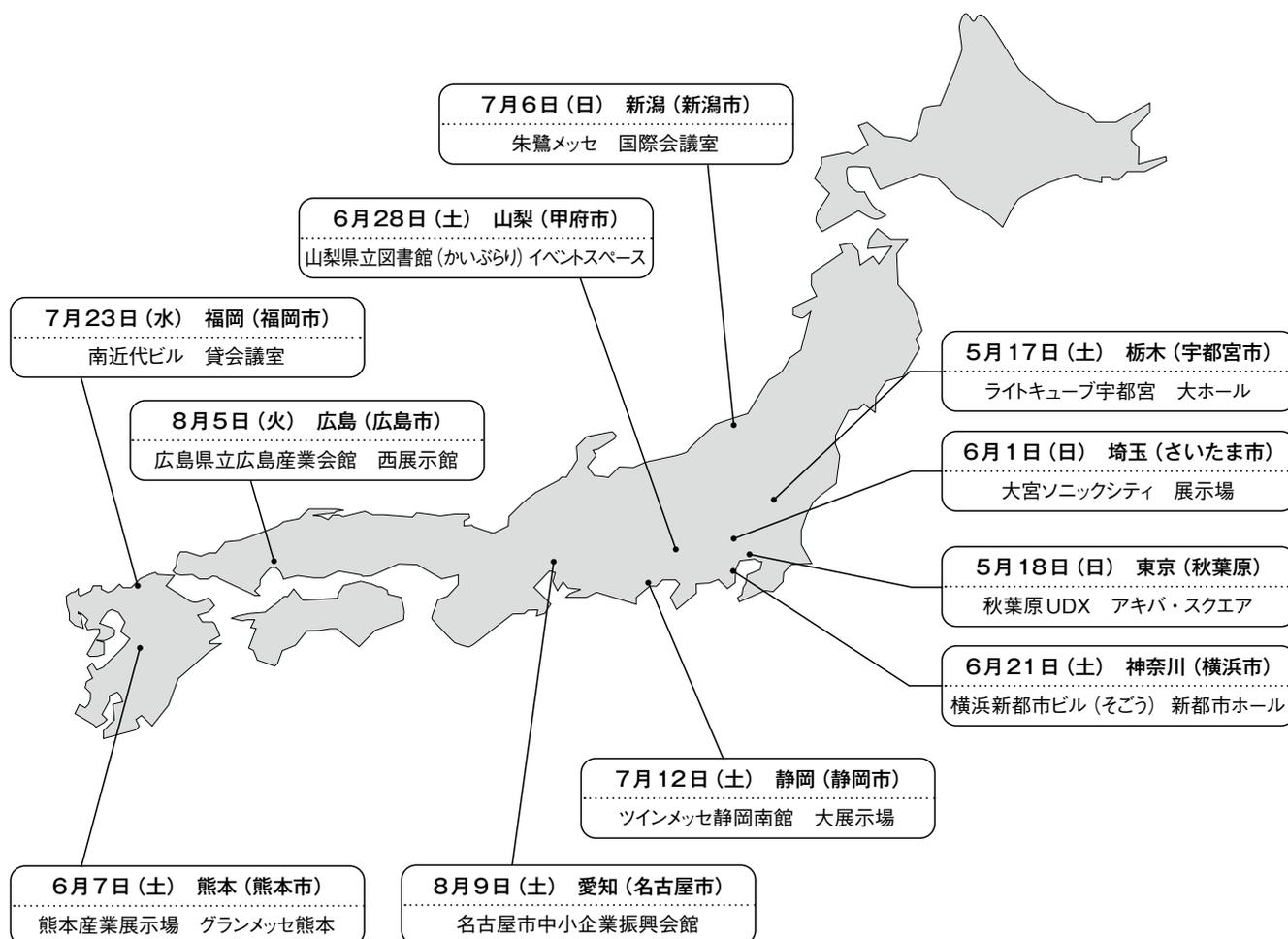
※2025年4月現在の予定について掲載しています。変更となる場合がありますので，詳細については，本学部または各学科ホームページをご確認ください。

学科	名称	時期	会場	内容
写 真	卒業・修了制作 優秀作品展	5月から随時 (ホームページにて ご確認ください)	学部校舎 写真ギャラリー	令和6年度の優秀作品(卒業制作・修了制作)の 展示(無料)
	GRIP2025 —学生選抜作品展—	6/19~25	ポートレートギャラリー	学内選考によって選ばれた学生による展示(無料)
	日芸祭写真展	11/1~3	学部校舎	学生の個人・グループによる作品展示(無料)
	卒業制作集 [LOCUS] <small>ルーカス</small>	毎年3月発行	学部校舎にて閲覧可	卒業制作・論文の抄録
	写真学科2026卒展	2026年3月下旬 (予定)	学部校舎 (ホームページにて 告知します)	学生作品の展示(無料) ※卒業制作の一部は写真学科公式ホームペー ジ内でも公開しています。
問合せ先 ☎03-5995-8210 (写真学科事務室) 写真学科公式ホームページ <a href="https://www.nuaphoto.com/">https://www.nuaphoto.com/</a>				
映 画	映画学科機関誌 「映像研究」	3月発行	学部校舎にて閲覧可	各年度の卒業論文，シナリオ，エッセイや作品 題目一覧等を掲載
	映像表現・理論コース 2年ゼミ誌 「書くことから」	4月発行	学部校舎にて閲覧可	映像表現・理論コース2年 理論・批評専攻， シナリオ専攻によるゼミ誌。理論・批評専攻は 約5,000字の批評，シナリオは15分程度の短編
	映像表現・理論コース 3年ゼミ誌 「言葉と映画のあいだに」	4月発行	学部校舎にて閲覧可	映像表現・理論コース3年 理論・批評専攻，シ ナリオ専攻によるゼミ誌。理論・批評専攻は約10,000 字の批評，シナリオは15分~30分程度の短編
	フォーカス イン FOCUS IN	3月中旬	学部校舎	成果物発表・上映会(無料)
問合せ先 ☎03-5995-8220 (映画学科事務室) 映画学科公式ホームページ <a href="http://nuart-cinema.info/">http://nuart-cinema.info/</a>				
美 術	「版画五美大2025 ポートフォリオ版画集と アートブック」展	11/10~21	学部校舎 A&D ギャラリー アートギャラリー	本学のほか，武蔵野美術大学，多摩美術大学，女 子美術大学，東京造形大学の版画を学ぶ学生による 版画集およびアートブックの展覧会(入場無料)。
	全国大学版画展	11/29~1/12 (※火曜休館， 12/29~1/3休館)	上田市立美術館	全国の大学の版画教育機関が参加する版画展 (有料)。
	北野教育振興会 彫刻奨学生作品展	11/24~12/13 (11/30・12/7休館)	学部校舎 芸術資料館	北野教育振興会彫刻奨学生受賞者による作品展 (入場無料)。
	造形芸術専攻修了制作展 (美術系絵画・版画・彫刻分野)	1/15~20 (1/18休館)	学部校舎 芸術資料館	絵画・版画・彫刻分野の修了制作展(入場無料)。
	美術学科卒業制作展 (絵画コース:絵画・版画専攻/ 彫刻コース:彫刻・地域芸術専攻)	1/22~27 (1/25休館)	学部校舎 芸術資料館	美術学科卒業生による卒業制作展(入場無料)。
	日芸版画修了・卒業制作展	1月下旬~ 2月初旬	ギャラリー川船	美術学科絵画コース版画専攻，造形芸術専攻版 画分野の学生による展覧会(入場無料)。
	東京五美術大学連合 卒業・修了制作展	未定	国立新美術館	本学のほか，武蔵野美術大学，多摩美術大学， 女子美術大学，東京造形大学が一堂に会する卒 業制作展(入場無料)。
日本大学芸術学部美術学科 絵画コース絵画専攻卒業生選抜 + 日本大学大学院芸術学研究科 造形芸術専攻絵画分野 修了生展	3月上旬	上野の森 美術館ギャラリー	美術学科絵画コース絵画専攻および造形芸術専 攻絵画分野の卒業・修了生による選抜展覧会(入 場無料)。	
問合せ先 ☎03-5995-8230 (美術学科事務室) 美術学科公式ホームページ <a href="http://www.art.nihon-u.ac.jp/department/finearts/">http://www.art.nihon-u.ac.jp/department/finearts/</a>				

学科	名称	時期	会場	内容
音 楽	第144回定期演奏会 (ソロ定期演奏会)	8/2	学部校舎音楽小ホール	試演会(公開実技試験)にて選ばれた学生の独奏・独唱・作品発表の学内演奏会(無料)
	第145回定期演奏会 (ソロ・コンチェルト・オーケストラ定期演奏会)	9/30	練馬文化センター大ホール	試演会(公開実技試験)や学期末試験で選ばれた学生がソリストを務める、ソロと学生オーケストラ演奏会(無料)
	第54回ピアノコンサート	11/12	練馬文化センター小ホール	試演会(公開実技試験)にて選ばれたピアノコース専攻生による演奏会(無料)
	第37回室内楽&吹奏楽 定期演奏会	11/25	練馬文化センター大ホール	弦管打楽コース学生による室内楽と吹奏楽演奏会(無料)
	第56回オペラ公演	12/3	練馬文化センター小ホール	声楽コース学生による公演(無料)
	第146回定期演奏会	12/23	練馬文化センター大ホール	合唱・オーケストラなど音楽学科全体公演(無料)
	第46回新作室内楽の会	2/28	学部校舎音楽小ホール	作曲専攻生の新作発表コンサート(無料)
	卒業・修了演奏会	3/4	練馬文化センター小ホール	作曲・声楽・ピアノ・弦管打楽各コース卒業生及び修士課程音楽芸術専攻の修了生より選ばれた学生による演奏会(無料)
	情報音楽フェス SWITCH2025	3/7・8	学部校舎音楽小ホール 他	情報音楽コースライブエレクトロニクスコンサート並びに音の展示作品発表(無料)
	音楽文化マネジメント専攻 新設記念キックオフセミナー	3/8	学部校舎	音楽芸術コース音楽文化マネジメント専攻の新設直前記念セミナー(無料)
問合せ先 ☎03-5995-8240(音楽学科事務室) 音楽学科公式ホームページ <a href="https://music.art.nihon-u.ac.jp/index.html">https://music.art.nihon-u.ac.jp/index.html</a>				
文 芸	ゼミ雑誌	12月頃発行	学部校舎にて配布 学部祭等でも配布	ゼミでの学生の創作・評論・詩等をまとめた文集(無料)
	演習授業による刊行物	1月頃発行	学部校舎にて配布	各演習授業の成果をまとめた雑誌(無料)
	文芸学科 「優秀卒業論文・作品集」	3月発行	学部校舎にて入手可	芸術学部長賞・奨励賞受賞作を収録した、優秀卒業論文・作品集
	『江古田文学』	年2回発行	全国の書店にて販売	学生や卒業生、教員の作品を発表している文芸誌
問合せ先 ☎03-5995-8250(文芸学科事務室) 文芸学科公式ホームページ <a href="https://www.nichigei-bungei.info/">https://www.nichigei-bungei.info/</a>				
演 劇	劇場実習	7/10~12	学部校舎中ホール	1~4年生演劇舞台発表
	総合実習A1	9/4~6	学部校舎中ホール	2・3年生演劇舞台発表
	総合実習ID	9/19~20	学部校舎小ホール	2年生演劇舞台発表
	卒業制作(演劇)	10/10~11	学部校舎中ホール	4年生演劇舞台公演
	卒業制作(洋舞)	11/1~3	学部校舎中ホール	4年生洋舞舞台公演
	総合実習IB	12/5~6	学部校舎中ホール	2年生洋舞舞台発表
	総合実習IIB	12/5~6	学部校舎中ホール	3年生洋舞舞台発表
	総合実習IIC	12/12~13	学部校舎中ホール	3年生創作舞踊(日舞)舞台発表
	卒業制作(日舞)	12/12~13	学部校舎中ホール	4年生創作舞踊(日舞)舞台公演
	総合実習IC	12/19~20	学部校舎中ホール	2年生創作舞踊(日舞)舞台発表
総合実習A2	2/19~21	学部校舎中ホール	2・3年生演劇舞台発表	
問合せ先 ☎03-5995-8260(演劇学科事務室) 演劇学科公式ホームページ <a href="http://theatre.art.nihon-u.ac.jp/">http://theatre.art.nihon-u.ac.jp/</a>				
放 送	卒業制作発表(朗読)	12月	学部校舎	卒業研究の朗読の発表会(無料)
	卒業制作発表と展示 (映像・音響・朗読・脚本など)	3月	学部校舎	卒業研究の映像作品の上映、音響作品と朗読の発表、脚本・アナウンス・論文の展示(無料)
	研究誌「放送と表現」	3月発行	学部校舎にて閲覧可	放送学科教員の論文や学生の優秀卒業論文、卒業制作の台本、脚本等の発表の場として発刊された研究誌
	授業内制作作品	常時	ウェブサイトにて公開	下記の放送学科公式ホームページよりご覧ください
問合せ先 ☎03-5995-8270(放送学科事務室) 放送学科公式ホームページ <a href="http://www.art.nihon-u.ac.jp/department/broadcast/">http://www.art.nihon-u.ac.jp/department/broadcast/</a>				
デ ザ イ ン	大学院修士2年 CD系グループ作品展	6/9~19	芸術資料館	大学院修士2年のグラフィック、CD系に在籍する院生の修了研究中間発表展示(無料)
	建築学生優秀作品展	8/29~9/13	学部校舎A&Dギャラリー	建築分野の学生による優秀作品の展示(無料)
	デザイン学科助手展	9/16~27	学部校舎A&Dギャラリー	デザイン学科助手による作品展示(無料)
	日藝祭 作品展	11/1~3	学部校舎	学生作品の展示(無料)
	大学院修了制作展	2/16~3/2	学部校舎A&Dギャラリー	大学院生の修士課程修了制作展(無料)
	卒業制作作品展	2月下旬~3月上旬	学部校舎	各デザイン分野の卒業制作作品展(無料)
問合せ先 ☎03-5995-8690(デザイン学科事務室) デザイン学科公式ホームページ <a href="http://www.art.nihon-u.ac.jp/department/design/">http://www.art.nihon-u.ac.jp/department/design/</a>				

## 外部進学相談会について

芸術学部は、全国で実施される下記の芸術系進学相談会に参加する予定です。



※日程・会場は追加・変更される場合があります。また、その他、資料参加のみの会場もあります。詳細については、本学部ホームページをご覧ください。本学部入試係までお問い合わせください。

※上記と別に、日本大学が実施・参加する進学相談会等があります。詳しくは日本大学ホームページをご覧ください。

## キャンパス見学について **予約制**

芸術学部では、事前予約制でキャンパス見学を行っています。ご希望の方は芸術学部ホームページをご覧ください。なお、修学旅行等の学校行事による見学希望については、学校単位での受付とさせていただきます。

### 1 見学可能日時

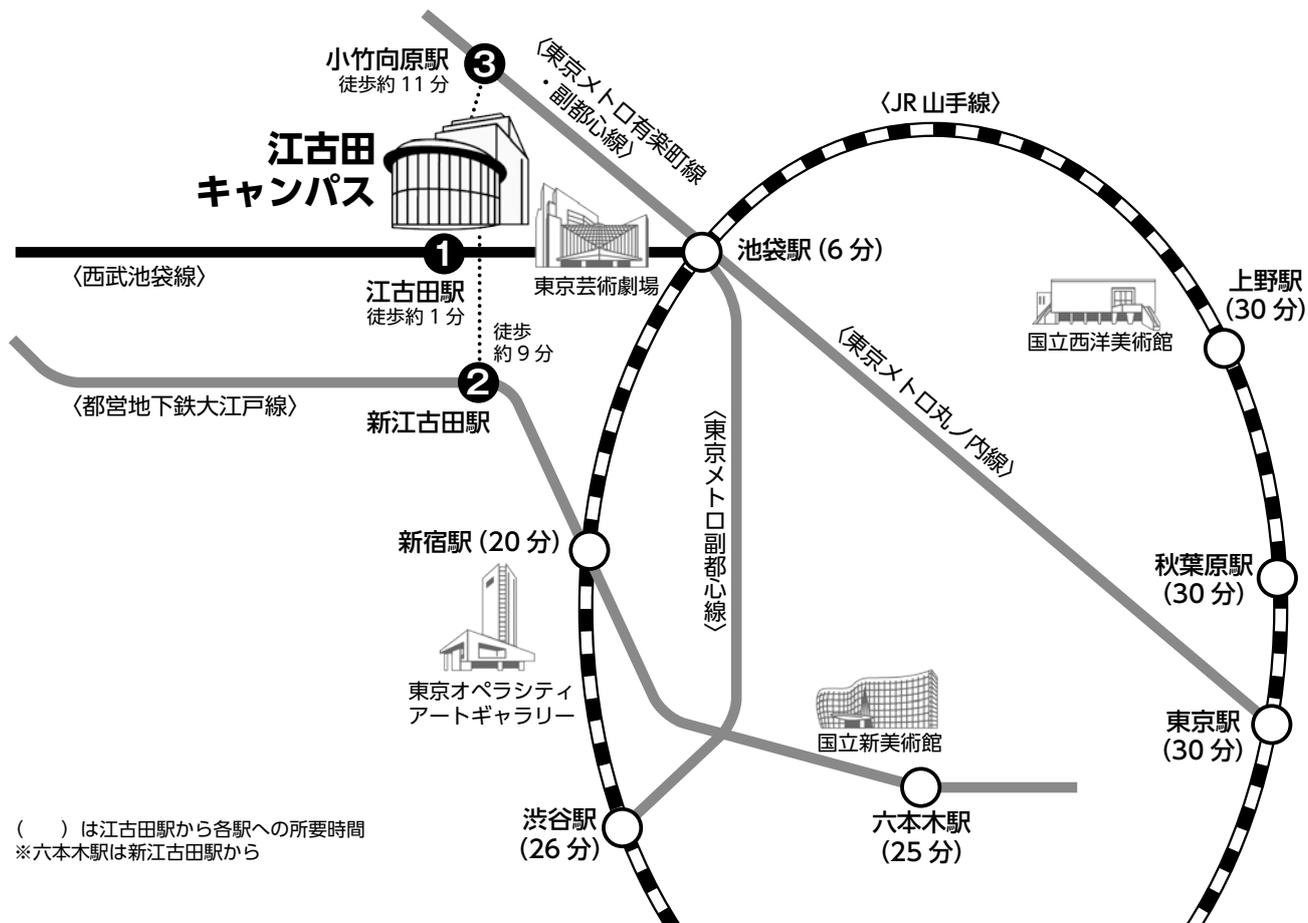
※日曜日・祝祭日及び学部事務休止日は、見学を休止しております

※芸術学部の諸行事や授業等の事情により見学いただけない場合、または見学内容を制限させていただく場合がございますのでご了承ください

### 2 見学の内容

学科施設案内及び説明

# 校舎案内



## アクセス

- 1 江古田駅 (西武池袋線) 池袋駅から各駅停車で約 6 分, 北口から徒歩約 1 分
- 2 新江古田駅 (都営地下鉄大江戸線) 新宿駅から約 20 分, A2 出口から徒歩約 9 分
- 3 小竹向原駅 (東京メトロ有楽町線・副都心線) 池袋駅から約 6 分, 2 番出口から徒歩約 11 分



WELCOME  
to  
NICHIGEI!



## Open Campus オープンキャンパス

2025年

6月22日(日)、8月2日(土)・3日(日)

模擬授業 ワークショップ 個別進学相談コーナー 他



## 日芸祭同時開催・入試相談会

2025年

11月2日(日)・3日(月・祝)

個別進学相談コーナー 他



## 春のオープンキャンパス

2026年

3月8日(日)

模擬授業 個別進学相談コーナー 他



8つのアート1つのハート

**N O U**  
Nihon University College of Art  
**A r t**

各イベントの詳細については  
本学部ホームページをご覧ください



日本大学藝術学部